Canon

PUB. DIJ-0368-000B

HD Video Camera

iVIS HF G10

使用説明書

本機の特長

高画質HD記録システム

207万画素、1/3型HDCMOSPROと高画質映像エンジン「DIGICDVⅢ」を搭載

有効画素数約207万画素（1920×1080）の1/3型単板式CMOSイメージセンサーと映像エンジン「DIGICDVⅢ」を搭載。低照度での画質に優れ、さまざまな撮影ニーズに応えます。

高画質ワイドズームレンズ

ワイド端30.4mmからのワイド撮影が可能。しかも最至近距離ズーム全域60cmですので、テレ端でのボケ味を活かした撮影も自在です。
さらに、8枚羽根の虹彩絞りにより、ボケ味も美しく表現できます。

映像をシネマの雰囲気に変える、多彩なシネマルックフィルター

9種類のフィルターを用意。画面を見ながらフィルターを選ぶだけでシネマ効果が得られます。

優れた操作性と汎用性

作品づくりに集中できる優れたマニュアル操作性

マニュアルフォーカスをアシストするフォーカスリングを搭載。後方にカスタムキーとカスタムダイヤルを配置することで、操作性が向上。

ノンカメラマンによる撮影時にも配慮した自由な構図を実現するフェイスキャッチテクノロジー

横顔に近い状態でも検出した顔を追尾してフォーカスする顔追尾機能。さらに、顔が検出されている間のみ顔にフォーカスするフェイスオンリー AF機能*を搭載。自由な構図で撮影できます。

* 顔が検出されていないときはマニュアルフォーカスになります。

長時間撮影と安心バックアップ機能

SDXCカードに対応したダブルスロット搭載。カードAからカードBへの連続記録（リレー記録）（📖 36）。カードAとカードBに同時記録して、安心のデータバックアップ（ダブルスロット記録）（📖 37）。

視野率100%の液晶画面とビューファインダー

視野率100%で確実にフレーミングが確認できる液晶画面とビューファインダー。液晶画面は3.5型92万画素で、マニュアルフォーカス時のピントを追い込めます。

画面の中のタッチした場所を適正露出にするタッチ露出

白トビしない範囲でタッチした場所を明るくするハイライトAE。簡単操作で露出を狙い通りにするノンカメラマンアシスト機能を充実させています。

使いやすさを向上させるさまざまな機能

- 正確な残量や寿命（劣化度）を確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリー。
- 高画質のまま記録可能な24p（23.98fps）モード。
- 撮影した映像を手軽にMPEG2データに変換。
- 用意されたシナリオに沿って撮影することで作品作りが簡単に。

Contents

はじめに

準　備

撮　影

「安全上のご注意」と「取り扱い上のご注意」を必ずお読みください(230 ～ 237ページ)。

カスタマイズ

再生／編集

映像作品の撮影／再生／編集

接　続

静止画

撮影データの保存／共有

メニュー

その他

本書の読みかた

映像作品を撮る ビデオ 写真

シナリオモード

シナリオモードでは、旅行、スポーツなどテーマに応じた10種類の撮影シナリオが用意され、撮影シナリオに沿って撮影することで、ストーリー性のある作品*を簡単に撮影できます。本機ではテーマは以下が用意されています。
旅行、キッズ、学校行事、ホビー、スポーツ、パーティー、イベント、メッセージ、ブログ、プロモーション
撮影した動画は、ギャラリー画面（📖 141）で作品ごとに再生できます。
* シナリオモードで、ある撮影シナリオに沿って撮影した一連の動画を「作品」と呼びます。

撮る 見る　モードスイッチ AUTO M CINEMA

■ 作品を新規に撮る

FUNC. 1 タッチする

2 シナリオモードを選ぶ
上下にドラッグして（シナリオモード）をタッチする。
● シナリオモードになる。

3 テーマを選ぶ
以前作成した作品があるとき
「新規作成」をタッチする。
左右にドラッグして、いずれかのテーマをタッチする。
● 選んだテーマのシナリオが出る。

4 「作品」を作成する
① 上下にドラッグしてシナリオシーン*を選ぶ。
* シナリオ内の各撮影項目をシナリオシーンと呼びます。
② シナリオシーンの右端の「OK」をタッチする。
タイトルを編集するとき
年月日をタッチする→画面上のキーボードから入力する（📖 153）。
③「はい」をタッチする。
●「作品」が作成され、①で選んだシナリオシーンの撮影一時停止状態になる。

126

映像作品を撮る

START/STOP 5 撮影する
START/STOPボタンを押して撮影を行う。
● 選択中のシナリオシーンの標準撮影時間（秒）を目安に撮影する。
● 選択中のシナリオシーンのシーンとして、動画が記録される。
● ビデオスナップ（📖 97）を撮ることもできる。
選択中のシナリオシーン
他のシナリオシーンのシーンを撮るとき
① シナリオシーンをタッチする。
● シナリオシーンが表示されていないときは をタッチする。
② 上下にドラッグしてシナリオシーンを選ぶ。
③ シナリオシーンの右端の枠（シーン数）をタッチする。

FUNC. 6 シナリオモードを終了する
① FUNC.→「シナリオモード」をタッチする。
②「はい」をタッチする。
● シナリオモードが終了し、通常の撮影一時停止画面が出る。

MEMO
● ビデオスナップを撮影する場合、「ビデオスナップ記録時間」メニュー（📖 202）の「シナリオ連動」を「ON」にしておけば、シナリオシーンの標準撮影時間分撮ると自動的に撮影一時停止になる。
● シナリオモード中は「リレー記録」「ダブルスロット記録」は使用できません。
● アサインボタンに「シナリオモード」を割り当てると、アサインボタンを押してシナリオモードで撮影することができます。

127

ビデオと写真のどちらで使えるかを示すマーク

ビデオ　動画の撮影や再生で使える機能。
写真　静止画の撮影や再生で使える機能。

モードスイッチやボタンの状態を示すマーク

撮る 見る

撮る/見るボタンを押すたびに、撮影と再生が切り換わる。この場合は撮影にする。

モードスイッチ AUTO M CINEMA

撮影時に選択するモード。この場合は**M**（マニュアル）に設定。ほかにAUTO（オート）とCINEMA（シネマ）がある。

コラムのマーク

必ず守っていただきたいこと

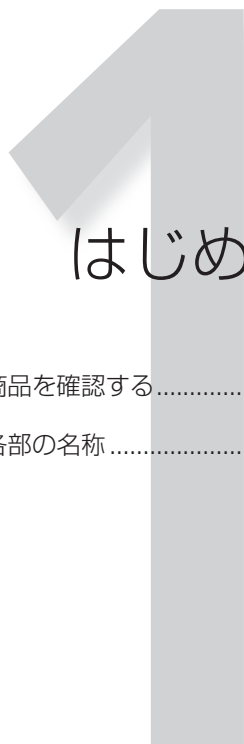
知っておいていただきたいこと

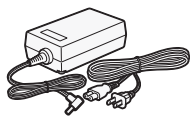
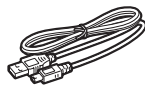
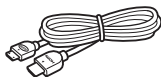
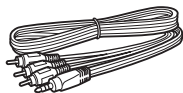
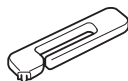
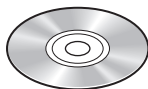
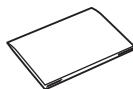
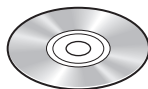
次のページに続くことを示すマーク

本文中の表記

📖	参照ページを示す
参考 ▶▶	参考になるページなどを示す
画面	ファインダーの画面、または液晶画面のこと
SDカード	SD/SDHC/SDXCメモリーカードのこと
メモリー	「内蔵メモリー」または「カード」のこと
Transfer Utility	付属のPIXELA社製ソフトウェア「Transfer Utility」のこと
VideoBrowser	付属のPIXELA社製ソフトウェア「VideoBrowser」のこと

● 作例写真はスチルカメラで撮影したものです。
● 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。

1 はじめに

商品を確認する

iVIS HF G10には、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものはないか確認してください。

＊1　ソフトウェアの説明書（PDF）が入っています。

＊2　このディスクに入っている音楽データは、付属の動画用ソフトウェアTransfer UtilityまたはVideoBrowserを使ってビデオカメラに転送して使用するためのものです。CDプレーヤーでは再生できません。詳しくはTransfer UtilityまたはVideoBrowserの取扱説明書（PDF）をご覧ください。

必ずためし撮りをしてください

映像を撮るときは、必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万一、ビデオカメラが正常に動作しないときは、「トラブルシューティング」（218）をご確認ください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラや記録メディアなどの不具合により、記録や再生ができなかった場合であっても、記録内容の補償はご容赦ください。

著作権にご注意ください

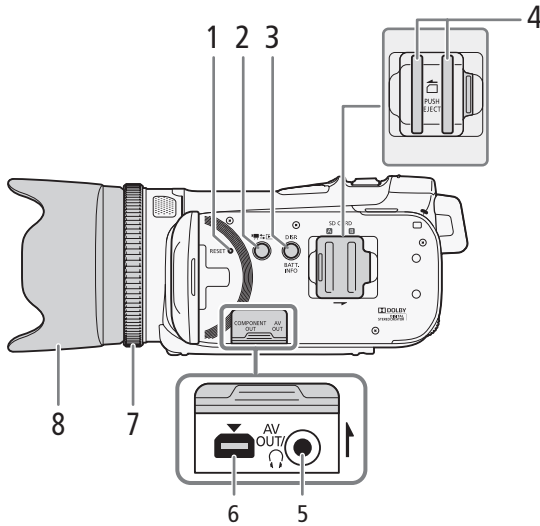
録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

液晶画面について

液晶画面は、非常に精密度の高い技術で作られています。
99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

各部の名称

各部の機能と使いかたについては、▶▶□に記載されているページをご覧ください。

本体の名称

1 RESET(リセット)ボタン ▶▶ □ 221

2 🎥⇆▶(撮る/見る)ボタン ▶▶ □ 115

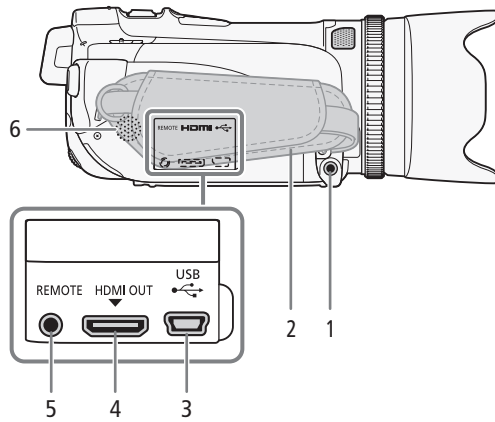
3 DISP.(ディスプレイ) ▶▶ □ 26、100 / BATT.(バッテリー情報)ボタン ▶▶ □ 23

4 カードスロット A / B ▶▶ □ 34

5 AV OUT ▶▶ □ 158、159 / 🎧(ヘッドホン)端子 ▶▶ □ 88

6 COMPONENT OUT(コンポーネント出力)端子 ▶▶ □ 158

7 フォーカスリング ▶▶ □ 55

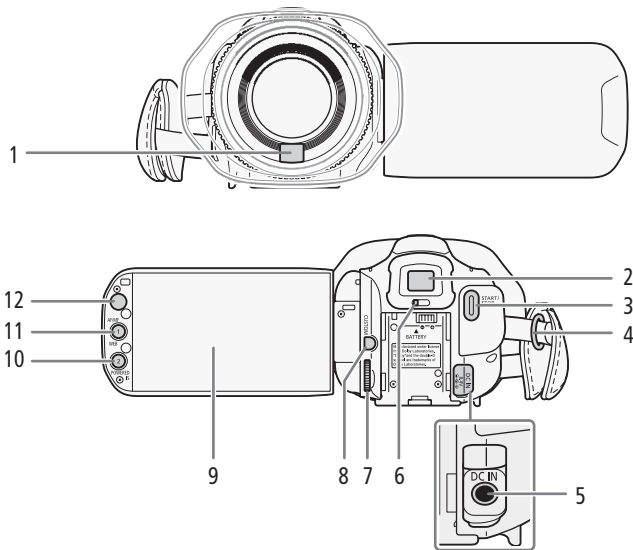
8 レンズフード ▶▶ □ 24

1 MIC（マイク）端子 ▶▶ 📖 147

2 グリップベルト ▶▶ 📖 26

3 USB端子 ▶▶ 📖 176

4 HDMI OUT端子 ▶▶ 📖 157

5 REMOTE（リモート）端子 ▶▶ 📖 94

6 内蔵スピーカー ▶▶ 📖 113

1 ハイスピードAF用外部センサー ⯈⯈ 🕮 59

2 ビューファインダー ⯈⯈ 🕮 24

3 START/STOP（スタート／ストップ）ボタン ⯈⯈ 🕮 43

4 ストラップ取り付け部 ⯈⯈ 🕮 27、28

5 DC IN端子 ⯈⯈ 🕮 20

6 視度調整レバー ⯈⯈ 🕮 24

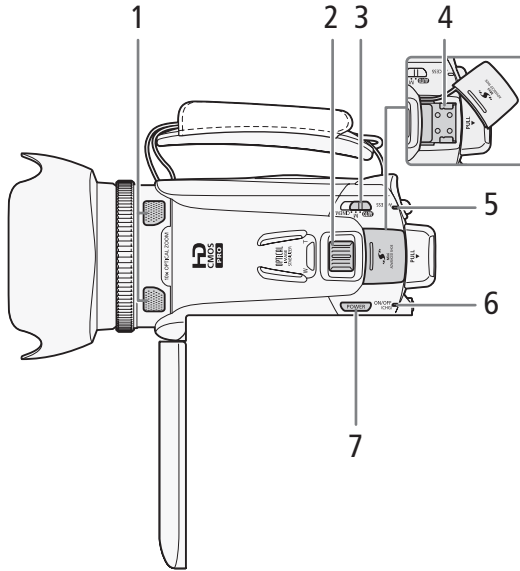
7 CUSTOM（カスタム）ダイヤル ⯈⯈ 🕮 104

8 CUSTOM（カスタム）キー ⯈⯈ 🕮 104

9 液晶画面（タッチパネル） ⯈⯈ 🕮 25、30

10 POWERED IS（パワードIS）／アサイン2ボタン ⯈⯈ 🕮 69、107

11 AF/MF切り換え／ WEB（ウェブ）／アサイン1ボタン ⯈⯈ 🕮 56、107、186

12 リモコン受光部 ⯈⯈ 🕮 29

1 内蔵マイク ▶▶ 🕮 85

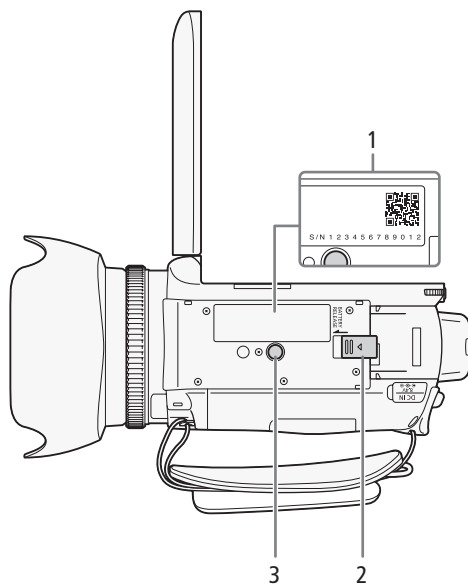
2 グリップズーム ▶▶ 🕮 63

3 カメラモード切り換えスイッチ ▶▶ 🕮 43

4 Mini ADVANCED SHOE（ミニアドバンストシュー）▶▶ 🕮 90

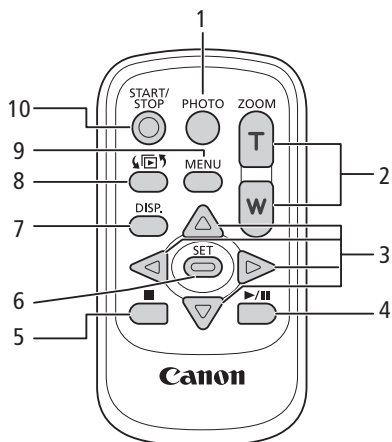
5 ACCESS（アクセス）ランプ ▶▶ 🕮 34

6 電源ランプ／ CHG（充電）ランプ ▶▶ 🕮 20

7 POWER（電源）ボタン ▶▶ 🕮 31

1 シリアル番号（機番）

2 BATTERY RELEASE（バッテリー取り外し）スイッチ ▶▶ 📖 21

3 三脚ねじ穴 ▶▶ 📖 29

リモコン WL-D89の名称

1 PHOTO(フォト)ボタン ➡ 📖 44

2 ZOOM(ズーム)ボタン ➡ 📖 63

3 ▲/▼/◀/▶ボタン

4 ▶/❚❚(再生/一時停止)ボタン ➡ 📖 113

5 ■(停止)ボタン ➡ 📖 113

6 SET(設定)ボタン

7 DISP.(ディスプレイ)ボタン ➡ 📖 26、100

8 (インデックス選択)ボタン ➡ 📖 116

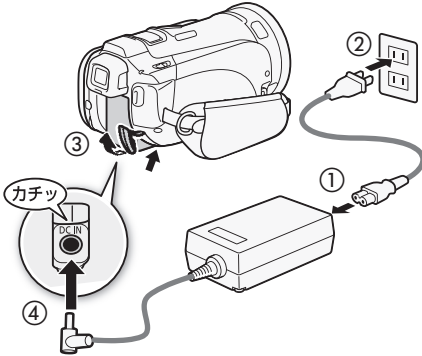
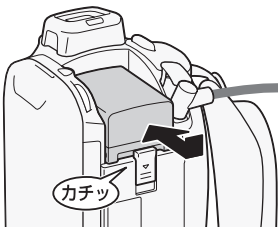
9 MENU(メニュー)ボタン ➡ 📖 32

10 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン ➡ 📖 43

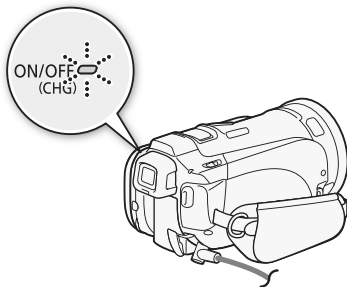
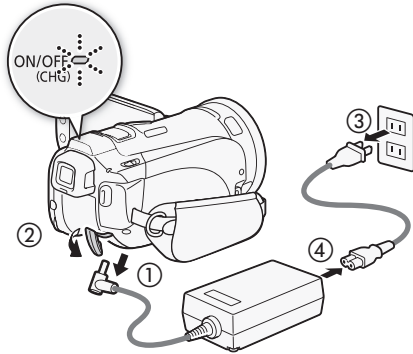
準　備

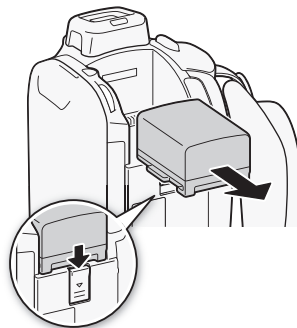
バッテリーを充電する

本機はバッテリーパックを取り付けるか、コンパクトパワーアダプターをつないで使用できます。
はじめてお使いになるときは、バッテリーパックを充電してから使います。

1 コンセントにつなぐ

2 バッテリーを取り付ける

3 電源OFFで充電開始

1秒に1回赤く点滅

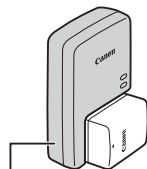
他のパターンで点滅しているときは、「トラブルシューティング」の「表示やランプ」（📖 220）をご覧ください。

4 点滅→消灯で充電おわり

バッテリーを取り外すとき

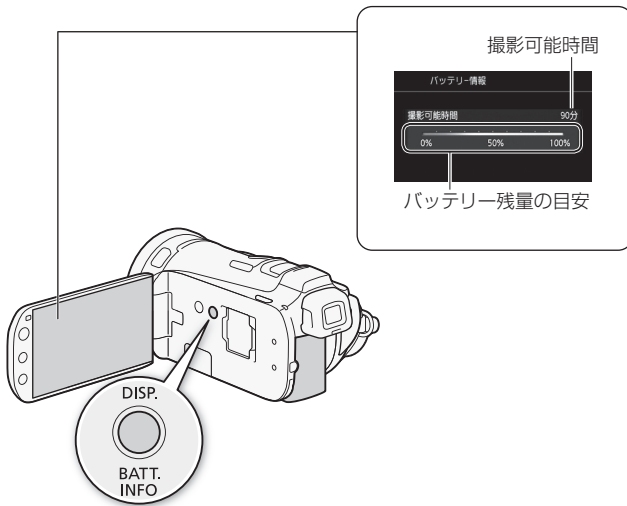
バッテリー取り外しスイッチを矢印の方向に押して取り外す。

電源プラグを抜き差しするときは、まず電源を切って、電源ランプが消えていることを確認してください。撮影したデータが破損する恐れがあります。

MEMO

- 10 ℃～ 30 ℃の場所で充電することをおすすめします。バッテリーや周囲の温度が約0 ℃～40 ℃（使用温度）の範囲外のときは、充電できません。
- 充電するときは電源を切ってください。電源が入っているときは充電できません。
- 充電中にコンセントまたはDC IN端子からプラグを抜いたときは、再び接続する前にCHG（充電）ランプの消灯を確認してください。
- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
- バッテリーをフル充電したときの使用時間は 247 ～ 248 ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- 撮影可能時間をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。
- 付属のバッテリー BP-808Dの充電時間は約150分です。なお、周囲の温度や充電状態によって異なります。

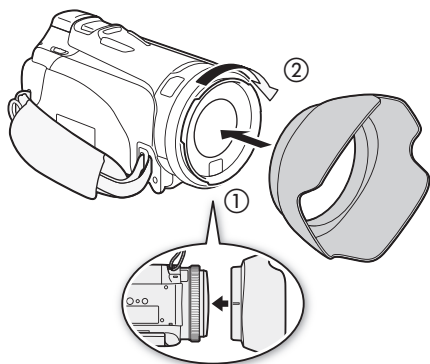
バッテリーチャージャー
CG-800D（別売）

- 別売のバッテリーチャージャー CG-800Dを使うと約105分で充電できます。詳しくはバッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。
- バッテリーの取り扱いについては、234ページをご覧ください。

POINT バッテリーの残量を確認するには

電源OFFのときにBATT.INFOボタンを押すと、バッテリーの残量と撮影可能時間が5秒間表示されます。ただしバッテリーが消耗していると表示されないことがあります。

カメラを準備する

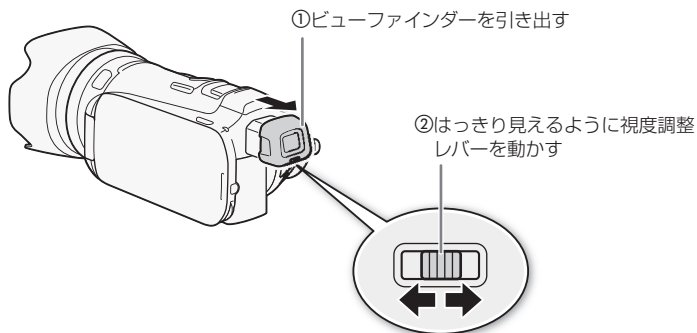
ここではグリップベルトやストラップの調整など、はじめに行うカメラの準備について説明します。ストラップを取り付ける際は、落下したりしないように、机などの安定した所で取り付けてください。

レンズフードを取り付ける

撮影時はレンズフードを取り付けてください。ゴーストやフレアなどの低減に効果的です。レンズキャップが付いていると、フードを取り付けることができません。レンズキャップを外してから、レンズフードを取り付けてください。

1 レンズ先端部にフードをはめ込み目印が真下に来るように取り付け（①）、時計方向に回す（②）

- フードの先端を軽く持って取り付けてください。強く握ると変形して、取り付け／取り外しにくくなります。

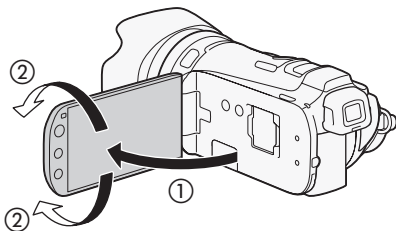
ビューファインダーの視度を調整する

ビューファインダーの映像がはっきり見えるように、視力に合わせて視度を調整します。電源を入れ（📖 43）、視度調整レバーを左右に動かして調整してください。

液晶画面を相手に見せながら撮る

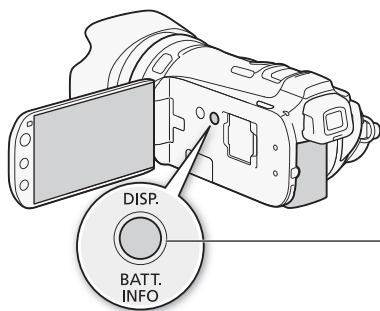
ビューファインダーを表示したまま、液晶画面をレンズ側に回転させると、相手に画面を見せながら撮影できます。
どのように映像が撮れているのか、お互いに確認ができて、より自由な撮影スタイルが楽しめます。

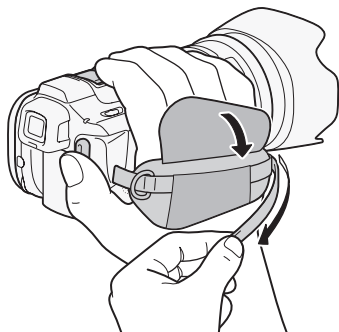
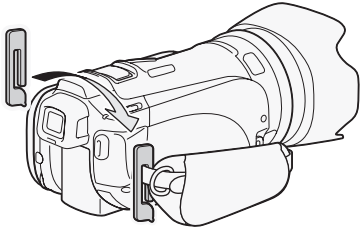
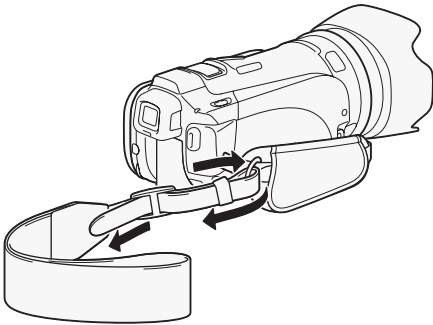
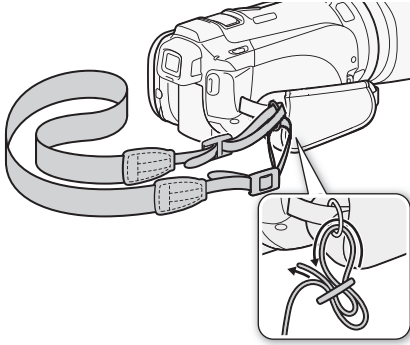
- 画面やビューファインダーの明るさを調整しても、記録される映像の明るさには影響しません。
- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。
- 画面の明るさはメニューの「液晶明るさ調整」で細かく調整できます。また、「バックライト低輝度」で画面をより暗くできます（206）。
- 液晶画面／ビューファインダーの取り扱いについては233ページを、お手入れについては238ページをご覧ください。

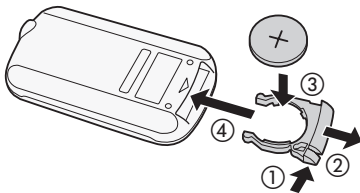
液晶画面を使う

液晶画面を開く

1 液晶画面を手前に引き出し、見やすい位置まで回転させる

画面の明るさを調整する

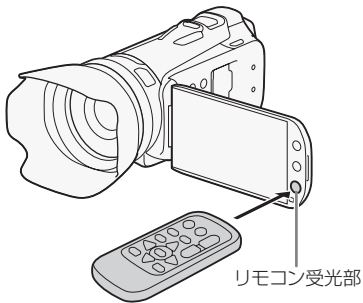
画面の明るさを2段階に切り換えられます。屋外撮影時、太陽光などで画面が見にくいときは明るくしてください。

■ グリップベルトを調節する

親指がスタート／ストップボタンに、人さし指がグリップズームに、ちょうど合うようにベルトの長さを調節します。

■ スタイラスペンを取り付ける

■ リストストラップ（別売）を取り付ける

ショルダーストラップ（別売）を取り付ける

リモコンを使う

電池を入れる

1 ツマミを押して（①）引き抜く（②）

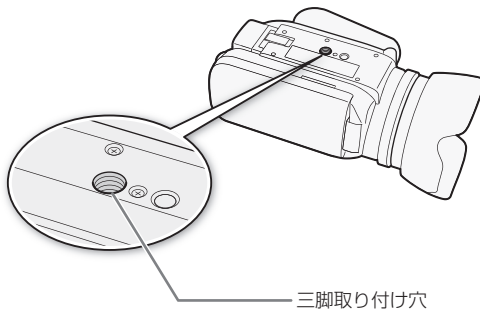
2 ＋側を上にして付属の電池を入れる（③）

3 リモコンに取り付ける（④）

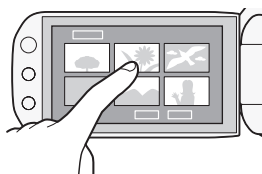
リモコンを使って操作する

リモコン受光部に向けて、リモコンのボタンを押す。

- リモコンのボタンを押しても動作しない、本体に近づかないと動作しないなどのときは、電池を交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。

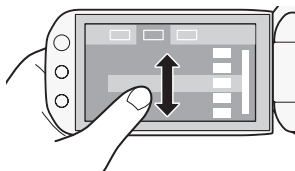
■ 本体を三脚に取り付ける

取り付けネジの長さが6.5mm以下の三脚を取り付けることができます。

タッチパネルで操作する

液晶画面（タッチパネル）を直接タッチして直観的に操作できます。
なお、付属のスタイラスペンで操作することもできます。

タッチ

液晶画面に表示される項目やボタンなどを指で押します。

- シーン（動画）の再生、項目の選択などに使います。

ドラッグ

液晶画面を押したまま上下または左右に指を移動します。

- 指の動きに合わせて画面の表示が変わります。画面スクロールやメニュー操作などに使います。

- **タッチパネルは圧力を感知するタイプです。確実にタッチしてください。**
- 次の場合は正常に動作しないことがあります。
  - 爪先やボールペンなどスタイラスペン（付属）以外のとがったもので操作をしたとき。
  - ぬれた手や手袋をしたままで操作したとき。
  - 強く押したまま擦る操作をしたとき。
  - 市販の保護シートやシールなどを貼った上から操作したとき。

時計を合わせる ビデオ 写真

時刻は、お住まいの地域と旅先の地域の2か所セットできます。海外旅行先の日時を指定しておくと、現地時間で記録できます（📖 240）。

* はじめて使うときのみ、AUTO でも操作できます。

1 ONにする

2 日時を設定する

① 項目（年月日時分）をタッチし、[↓] / [↑] をタッチして設定する。
- この操作を繰り返して日時を設定する。

② 必要に応じて、日時スタイルを設定する。
- 使用したいスタイルをタッチして選ぶ。

③「OK」をタッチする。

- 日時設定は、メニューの「日付/時刻」で変更できます。また、地域とサマータイムをメニューの「エリア/サマータイム」で設定できます（📖 205）。
- 本機を約3か月使わないと、内蔵の充電式電池が放電して、日時の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください（📖 235）。

メニューの設定を変える ビデオ 写真

本機のさまざまな機能の設定を、ご購入時の状態からメニューで変更できます。設定するときはM（マニュアル）モードまたは CINEMA（シネマ）モードにして操作します。なお、AUTO（オートー）モードにすると、一部の機能を除いてご購入時の設定に戻ります。

例 「おしらせ音」を「切」に設定する

FUNC.	**1** タッチする ● 見るモードのときは、この操作は不要。	FUNC. 064 ●II 69分 9h27m SP S.AF PHOTO MENU
MENU	**2** 項目を選ぶ ① MENU（メニュー）をタッチする。 ② をタッチする。	MENU 016 撮影モード P 強制逆光補正 OFF WB ホワイトバランス AWB AGC AGCリミット A フォーカス MF 露出 A
	3 機能を選ぶ ① 上下にドラッグして、「お知らせ音」をオレンジ色のバーに合わせる。 ● 画面に出ている機能名をタッチしてもよい。自動的にオレンジ色のバーまでスクロールされる。 ② オレンジ色の枠をタッチする。	液晶対面ミラー OFF AV/ヘッドホン AV 音量 おしらせ音 リモコンセンサー ON パワードISボタン ON カスタムキー-&ダイヤル
OFF	**4** 設定内容を選ぶ OFF（切）をタッチする。	おしらせ音 大 小 OFF 切
×	**5** タッチする	

- リモコンのMENUボタンを押してもメニューを表示できます。
- × をタッチすると、メニューはいつでも終了します。
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

カードを入れる

動画や静止画をメモリーカードに記録できます（下表）。SDスピードクラス4、6、10のカードの使用をおすすめします。

メモリーカードのタイプ	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード
スピードクラス*1	SDスピードクラス CLASS2、CLASS4、CLASS6、CLASS10
容量	128 MB以上*2

*1 SDスピードクラスに対応していないSDメモリーカードを使う場合、カードによっては動画を記録できないことがあります。

*2 容量が64 MB以下のSDメモリーカードには、動画を記録できません。

動画記録時の動作確認済みメモリーカード

次のメーカー製のSD / SDHC / SDXCメモリーカードについて、動画記録時の動作を確認しています（2010年10月現在）。

- Panasonic
- TOSHIBA
- SanDisk

SDXCメモリーカードをお使いになるときは

SDXCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDXCに対応する、レコーダー、パソコンまたはカードリーダー／ライターなどでご使用ください。

パソコンの場合、対応OSは下表のとおりです（2010 年10 月現在）*

Windows 7	○
Windows Vista	○ （Service Pack 1以降が必要）
Windows XP	○ （Service Pack 3と更新プログラム[KB955704]が必要）
Mac OS X	×

* 最新の状況については、パソコン、OSまたはカードのメーカーにお問い合わせください。

- SDXCメモリーカードに対応していないOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。**初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。**
- 撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画を保存してから、本機でカードを初期化してください。

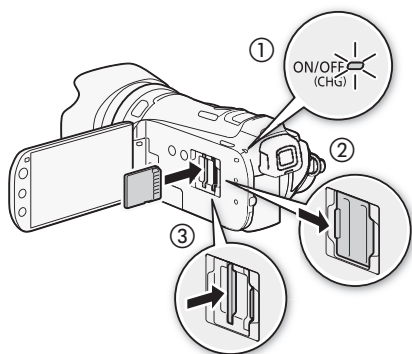
Eye-Fiカードをお使いになるときは

弊社は、Eye-Fiカードの機能（無線送信を含む）については保証いたしかねます。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。また、Eye-Fiカードの使用には、多くの国や地域で認可が必要であり、認可を取得していないものの使用は認められていません。使用が認められているかご不明の場合は、カードメーカーにご確認ください。

SDスピードクラスとは？

メモリーカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。ご購入の際は、スピードクラスのマークを確認してください。

カードを入れる

はじめて使用するときは、まず初期化してください（📖 38）。

1 電源をOFFにする（①）

2 カードカバーを開ける（②）

3 カードのラベル面をレンズ側に向けて、カチッと音がするまで奥までしっかり入れる（③）

- カードスロット🅰と🅱いずれかに一枚ずつ入れることもできる。
- Eye-Fiカードの通信機能を使用するときは、カードスロット🅱に入れる。

SDカードを出すとき

カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

4 カードカバーを閉じる

- カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - ■ 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - ■ カードを取り出さない。
- カードの出し入れは、本体の電源を切ってから行ってください。電源を切らずにカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作3のような正しい向きで入れてください。

誤ってデータを消さないために

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できます。

記録メモリーを準備する ビデオ 写真

動画や静止画を内蔵メモリーまたはカードに記録できます。

記録メモリー（記録先）を選ぶ

撮る 見る　モードスイッチ AUTO M CINEMA

FUNC.

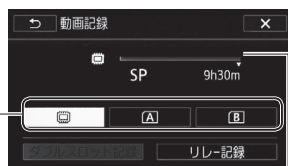
1 タッチする

MENU

2 動画または静止画の記録先を選ぶ

① MENU（メニュー）→ をタッチする。
② 上下にドラッグして、「動画記録」または「静止画記録」をタッチする。
③「（内蔵メモリー）」、「A（カードA）」または「B（カードB）」をタッチする。
④ をタッチする。

● Eye-Fiカードを使用する場合は、事前に「Eye-Fiカードをお使いになるときは」（33）を確認してください。

動画記録
SP 9h30m
A B
ダブルスロット記録 リレー記録

動画撮影可能時間/静止画記録可能枚数の目安*

* 現在設定している動画の録画モードや、静止画のサイズ（1920×1080）をもとに算出。

×

3 タッチする

撮影した動画を本機で変換して、Webアップロードを行うときは、動画の記録先を内蔵メモリーまたはカードAに設定して撮影してください。

長時間連続して撮影する（リレー記録）

動画の場合、内蔵メモリーがいっぱいになったらカードAへ、カードAがいっぱいになったらカードBへと、自動的に記録メモリーが変更され、記録できます。

1 動画を記録していないカードを入れる（📖 34）

● カードが1枚のときは、カードスロットⒶに入れる。

2 リレー記録を選ぶ

① 35ページの操作2 ②までの操作を行う。
② （内蔵メモリー）またはA（カードA）をタッチする。
③「リレー記録」をタッチする。

②で内蔵メモリーをタッチしたとき

「➡A」または「➡A➡B」をタッチする。

②でカードAをタッチしたとき

「A➡B」をタッチする。

3 タッチする

● 内蔵メモリーからカードBへのリレー記録はできません。あらかじめカードスロットⒶにカードを入れてください。
● 記録メモリーが切り換わるときに、シーンが一瞬途切れます。

リレー記録が解除される場合

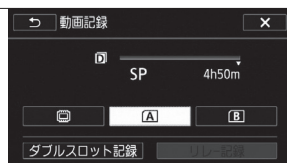
■ 電源を切ったとき。
■ カードカバーを開けたとき。
■ モードスイッチやボタンを操作したとき。
■ 記録先をカードに変更したとき。

同時に撮影する（ダブルスロット記録）

カードA、カードB両方のカードに対し、同時に記録して映像をバックアップする機能です。

1 カードスロットA、Bにカードを入れる

2 ダブルスロット記録を選ぶ

① 35ページの操作2 ②までの操作を行う。
② A（カードA）をタッチする。
③「ダブルスロット記録」をタッチする。
④「ON」をタッチする。

3 × タッチする

ダブルスロット記録中、記録容量の少ないカードがフルになると、両カードへの記録を停止します。また、一方のカードに書き込みエラーが発生した場合、他方のカードへの記録は継続します。

初期化する

カードをはじめて使用するときや、内蔵メモリー *やカードに記録した動画/静止画などすべての情報を消すときに初期化します。初期化には「初期化」と「完全初期化」があり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。

* ご購入時、すぐに撮影できるように内蔵メモリーは初期化されています。また、動画または静止画と一緒に再生する音楽とデコレーションの画像ミックスで使う画像が入っています。

撮る 見る　　モードスイッチ AUTO M CINEMA

1 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

- 初期化中は取り外さない。

FUNC.

2 タッチする

見るモードのときは、この操作は不要。

MENU

3 初期化するメモリーを選ぶ

① MENU（メニュー）→ → 「初期化 / 」をタッチする。
② 「 内蔵メモリー」、「A カードA」または「B カードB」をタッチする。

4 初期化を選ぶ

画面例：内蔵メモリーの場合

① 「初期化する」をタッチする。

データを完全に消去するとき

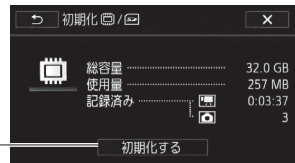
「完全初期化」をタッチする。

② 「はい」をタッチする。

完全初期化を中止するとき

「中止」をタッチする。メモリーはそのまま使用できるが、データはすべて消える。

③ 「OK」をタッチする。

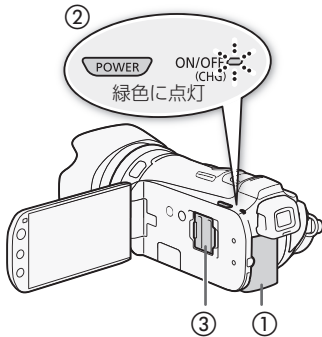
×

5 タッチする

- 初期化すると、すべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたい動画や静止画がある場合は、パソコンやDVDなどにバックアップ(📖 176、180)してから初期化してください。
- 初期化すると、動画または静止画と一緒に再生するためにパソコンから転送した音楽も消去されます。なお、ご購入時、内蔵メモリーに保存されていた音楽とデコレーションの画像ミックスで使う画像は消去されません。
- Eye-Fiカードを使用する場合は、あらかじめカードに付属のソフトウェアをパソコンにインストールしてから初期化してください。初期化すると、カードに保存されているソフトウェアも消去されます。

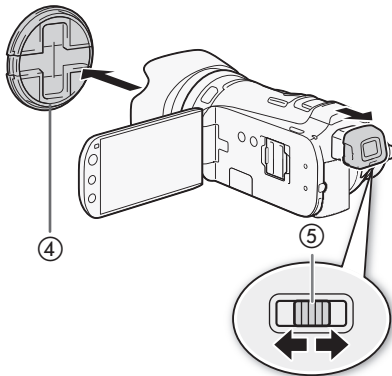
撮　影

動画や静止画を撮影する ビデオ 写真

ここでは基本的な撮影について説明します。

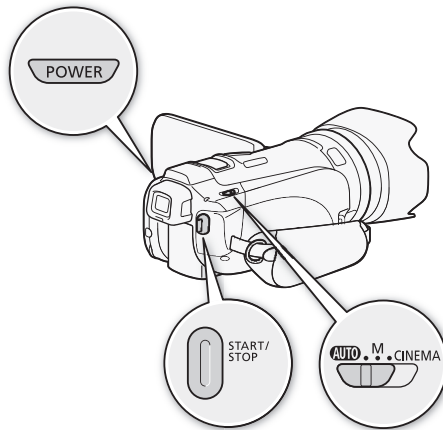
準備する

1 充電したバッテリーパックを取り付ける（①）

2 電源をONにする（②）

3 メモリーを選択する（📖 35）
- リレー記録（📖 36）を行うときは、カード1枚または2枚、ダブルスロット記録（📖 37）を行うときは、カードを2枚入れる（③）。

4 レンズキャップをはずす（④）

5 ビューファインダーを引き出して調整する（⑤）（📖 24）

撮影する

動画や静止画は内蔵メモリーまたはカードに記録（📖 35）できます。Eye-Fiカードを使うときは、事前に「ご注意」（📖 47）を確認してください。

AUTO（オートモード）

1 AUTO にする

- モードスイッチを「AUTO」側にする。

POWER

2 電源をONにする

- 電源ランプが緑色に点灯。

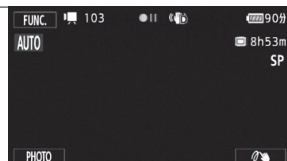
撮影

3 START/STOP（スタート／ストップ）ボタンを押す

- 撮影が始まる。画面に●が表示される。

静止画を撮るとき

PHOTOボタンをタッチする

- 画面に緑色の⊙が出て、静止画が記録される。記録先は、メニューの「静止画記録」で選んだメモリーとなる。
- 動画撮影中でも、同時に静止画を記録できる。

4 撮影を停止するとき もう一度START/STOP（スタート／ストップ）ボタンを押す

- 1シーン*の動画が記録され、撮影が一時停止する。
  * 本書では、一回の撮影操作で記録された動画を「シーン」と呼びます。
- 撮影直後のシーンにレーティング（お気に入り度）を設定することができます（📖 143）。

電源を切るとき

1. ACCESSランプが消えていることを確認する。
2. POWERボタンを押す。
3. 液晶画面を垂直にしてから閉じる。

オートモード

モードスイッチを AUTO（オート）にするとオートモードで撮影できます。このモードでは、ズーム（63）、クイックスタート（50）、ビデオスナップ（98）の他、以下の機能が使えます。

進化した手ブレ補正（68）

歩きながら撮るときはもちろんのこと、望遠撮影でも、POWERED IS（パワードIS）ボタンを押せば、安定した映像が撮れます。

フェイスキャッチ&追尾（60）

人物の顔を自動で検出してピントと明るさを合わせます。被写体が動いても、自動的に追いかけます。

タッチ追尾（62）

液晶画面上の被写体をタッチすると、タッチした被写体にピントと明るさを合わせます。被写体が動いても自動的に追いかけます。

おまかせでキレイに撮れる「こだわりオート」

ビデオカメラが被写体や撮影状況を判別して、シーンに最適な設定にするため、カメラまかせの全自動撮影ができます。

シナリオモード（126）

選んだテーマに応じてビデオカメラが案内する撮影シナリオに沿って撮るだけ。本格的な映像作品を簡単に作れます。

デコレーション（134）

液晶画面上のキャンバスにデコレーション（飾り付け）をつけて撮影すると、デコレーションに重ねて映像を記録できます。再生時やWebアップロード用の変換時にデコレーションをつけることもできます。

POINT こだわりオートの自動設定機能

ビデオカメラはシーンに応じて、ピント合わせや被写体の明るさ、色合い、手ブレ補正、画質が最適になるように自動的に調整します。判別した被写体やシーンに応じて、画面に次のようなマークが出ます。

背景 / 被写体	明るい（灰色）	青空（水色）	鮮やかな色（緑/黄/赤色）	夕景（オレンジ色）
静止した人物	（　）	（　）	（　）	—
動いている人物	（　）	（　）	（　）	—
風景など、人物以外の被写体	AUTO（　）	AUTO（　）	AUTO（　）	
近くの被写体	/ *（ / *）	/ *（ / *）	/ *（ / *）	—

（　　）は逆光下の場合。

背景 / 被写体	暗い（紺色）		
		スポットライト	夜景
静止した人物		—	—
動いている人物		—	—
風景など、人物以外の被写体	AUTO		
近くの被写体	/ *	—	—

* 望遠端付近にズームして被写体に近づくと、自動的にテレマクロが有効になります。テレマクロを使うと背景がぼけるので、被写体を強調したシーンにすることができます。

M（マニュアル）モード

AUTO・M・CINEMA

1 Mにする

● モードスイッチを「M」側にする。

POWER

2 電源をONにする

● 電源ランプが緑色に点灯。

3 動画／静止画を撮影する

● 操作のしかたは AUTO（オート）モードと同じ（📖 43）。

● ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
- ■ カードカバーを開けない。
- ■ 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- ■ モードスイッチを切り換えない。
- ■ 🎥⇆▶ボタンを押さない。

● 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

● Eye-FiカードをカードスロットBに入れて 記録先に設定した場合、静止画を記録して見るモードに切り換えると、通信が可能であれば自動的にアップロードが開始されます。Eye-Fiカードを使うときは、その国や地域での使用が認められているかを必ずご確認ください（📖 193）。

● バッテリーを使っているときに、約5分間何も操作しないと、節電のため電源が切れます（ 207）。このときは電源を入れ直してください。
● 液晶画面に光が当たって映像がよく見えないときは、ビューファインダーを使うか画面の明るさを調節してください（ 206）。

「こだわりオート」のシーン判別について

シーンによっては、実際のシーンと異なるマークが出ることがあります。特に背景がオレンジ色や青色の壁などのときは、 や「青空」のマークが出て、適切な色合いで撮影できないことがあります。そのときは**M**（マニュアル）モードで撮影することをおすすめします。

AUTO（オート）モードに切り換えたとき

FUNC.メニュー／メニューの設定内容は、ご購入時の設定に戻ります。ただし以下のメニューのみ**M**（マニュアル）モードまたは CINEMA（シネマ）モードで設定した内容がそのまま保持されます。

■ FUNC.メニューの「デコレーション」、「ズーム」
■「ソフトズームコントロール」、「ズームスピードレベル」、「グリップズームスピード」、「リモコンズームスピード」、「AFモード」、「オートスローシャッター」、「コンバージョンレンズ」、「手ブレ量表示」、「ビデオスナップ記録時間」、「撮影時レーティング」、「動画記録」、「録画モード」、「静止画記録」、「スキャンリバース」
■ 「システム設定」の全項目*
　* 「オンスクリーン表示」を除く

静止画について

● オートモードまたはマニュアルモードで、動画を撮影中または撮影一時停止中に、静止画を記録できます。静止画のサイズは1920×1080*です。
* 1 GBのメモリーカードに約670枚記録できます。撮影条件や被写体により記録できる枚数は異なります。
● デジタルズーム使用中、ダブルスロット記録設定時と、フェーダーの動作中は静止画を記録できません。

液晶画面を閉じて撮影する

● ピアノの発表会を撮影するときなど、三脚に取り付けて長時間撮影する場合は、液晶画面を閉じてビューファインダーで撮影するとバッテリーの持ちが良くなります（ 25、247 ~ 248）。

いま撮ったシーンを確認する（録画チェック）

直前に撮ったシーンを再生して、録画状態をチェックすることができます。このとき、音声は再生されません。

撮る 見る　モードスイッチ AUTO M CINEMA

FUNC.	**1 タッチする**
	2 録画チェックを選ぶ 上下にドラッグして、 （録画チェック）をタッチする。 ● 直前に撮ったシーンの最後の4秒間が再生される。

MEMO　ダブルスロット記録を設定しているときは、スロットAのみ再生します。

すばやく撮影をはじめる

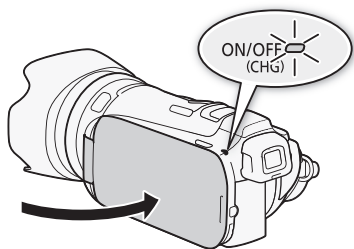
ビデオ
写真

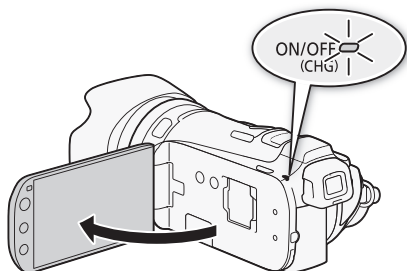
クイックスタート

液晶画面を閉じると、省エネ状態*1でスタンバイします。撮りたいときに液晶画面を開くかビューファインダーを引き出せば、、約1秒*2で撮影可能な状態に戻りますので、大切なシーンを逃すことはありません。

*1 バッテリーの消耗は撮影時の約1/3です。
*2 撮影可能な状態になるまでの時間は、状況によって異なります。

1 スタンバイする

液晶画面で撮影しているときに液晶画面を閉じると、電源ランプがオレンジ色に点灯してスタンバイ状態になる。
液晶画面を閉じて、ビューファインダーのみを使用しているときは、ビューファインダーを元の位置に戻すとスタンバイ状態になる。

2 クイックスタートする

- 液晶画面を開くかビューファインダーを引き出すと、電源ランプが緑色に点灯して撮影できる状態になる。

ご注意　スタンバイ中は電源を取り外さないでください。

MEMO　スタンバイ状態にならない場合

- ACCESSランプ点滅中。
- メニュー表示中。
- ビューファインダーが引き出されているとき。

バッテリー残量が少ないときは、スタンバイ状態にならないことがあります。必ず電源ランプがオレンジ色に変わるのを確認してください。

スタンバイ中の電源OFFについて

- スタンバイ後10分経過すると、節電のため自動的に電源が切れます。電源が切れたときは、電源を入れ直してください。
- 電源OFFまでの時間は、「パワーセーブ」メニューの「クイックスタートスタンバイ」で選べます（📖 207）。
- スタンバイ中、通常の「オートパワーオフ（📖 207）は無効になります。

- メニューの「パワーセーブ」で「クイックスタートスタンバイ」を「切」にすることで、クイックスタート機能を無効にすることもできます。
- スタンバイ中にモードスイッチを切り換えると、切り換えたモードで起動します。

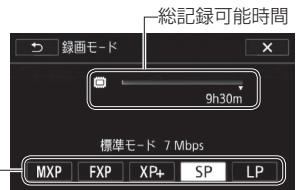
画質を選ぶ ビデオ 写真

録画モード

録画モードにはMXP、FXP、XP+、SP、LPの5種類があります。高画質で撮影したいときはMXPまたはFXP、長時間撮影したいときはLPをお選びください。

FUNC. **1** タッチする

MENU **2** 録画モードを選ぶ

① MENU（メニュー）→ をタッチする。
② 上下にドラッグして、「録画モード」をタッチする。
③ いずれかをタッチする。

× **3** タッチする

POINT 録画時間の目安

録画モード	MXP *1	FXP *1	XP+	SP	LP
内蔵メモリー（32GB）*2	2時間55分	4時間10分	5時間45分	9時間35分	12時間15分
4GBカード	20分	30分	40分	1時間10分	1時間30分
8GBカード	40分	1時間	1時間25分	2時間20分	3時間
16GBカード	1時間25分	2時間5分	2時間50分	4時間45分	6時間5分

1回の撮影操作で記録できる時間は、約12時間です。それを越えると自動的に一時停止し、約3秒後に再び記録が開始されます。なお、記録される映像は、別々のシーンになります。

*1 水平1920×垂直1080画素で記録されます。他の録画モードでは1440×1080画素で記録されます。
*2 ご購入時、内蔵メモリーには約70 MBの音楽データと約5 MBの画像データ（デコレーションの画像ミックス用）が保存されています。

- MXPモードで撮影した動画は、そのままの画質ではDVD（AVCHD形式）に保存できません。ディスクに保存するときは、ブルーレイディスクに保存するか、付属の動画用ソフトウェアVideoBrowserを使ってDVD(AVCHD形式）*に保存してください。

  * FXPモードの画質に変換されます。
- 録画時間は撮影するシーンによって変化します。被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR（Variable BitRate)方式を採用しているためです。
- オートモードに切り換えても設定した録画モードは変わりません。

映像のなめらかさを選ぶ

フレームレート

FUNC.

1 タッチする

MENU

2 フレームレートを選ぶ

① MENU（メニュー）→ をタッチする。
② 上下にドラッグして、「フレームレート」をタッチする。
③ いずれかをタッチする。

60i 標準（60i）	テレビ信号と同じように記録する（60フィールドインターレース）。
PF30 PF30	映像を30コマ/秒で撮影、60iに変換して記録する。インターネットで映像を公開するときなどに便利。
PF24 PF24	映画と同じように映像を24コマ/秒で撮影、60iに変換して記録する。
24P 24P（24プログレッシブ記録）	映画と同じように映像を24コマ/秒で撮影、記録する。

×

3 タッチする

本機では、フレームレートを「24P」にして撮影した動画を標準画質（SD-Video形式/MPEG2形式）に変換できません。動画共有サイトなどで公開する場合は、「PF24」にして撮影するか、付属の動画用ソフトウェアVideoBrowserをお使いください。

ピントを合わせる ビデオ 写真

フォーカス

本機の、マニュアルフォーカスではフォーカスプリセットができます。オートフォーカスでは、フェイスキャッチ、フェイスオンリー、タッチ追尾などができます。

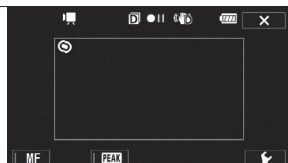
MF（マニュアルフォーカス）で調整する

フォーカスリングを回して、手動でフォーカス調整を行います。フォーカスリングの回転速度に応じてフォーカスが移動します。フォーカスリングの操作方向、敏感度をメニューで設定することができます（□ 207）。

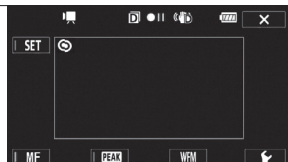
マニュアルフォーカスに設定する方法は2通りあります。

FUNC. メニューを使う

FUNC.
1 タッチする

2 フォーカスを選ぶ

（フォーカス）をタッチする。

MF
3 MFをタッチする

液晶画面上の、ピントを合わせたい被写体をタッチすると、タッチした場所にが点滅して、ピントが自動で調整された後にマニュアルフォーカスになる。

4 フォーカスリングを操作して、フォーカスを合わせる

- フォーカスリングを回してメニューの「フォーカスアシスト」を「入」に設定しているときは、画面の中央が拡大し、くっきりと表示される。操作中は、操作方向の目安として被写体との距離表示が数秒間出る。

撮影

AF/MF切り換えボタンを使う

1 AF/MF切り換えボタンを押す

2 フォーカスリングを操作して、フォーカスを合わせる

- フォーカスリングを回してメニューの「フォーカスアシスト」を「入」に設定しているときは、画面の中央が拡大し、くっきりと表示される。操作中は、操作方向の目安として被写体との距離表示が数秒間出る。

■ フォーカス位置をプリセットする

プリセットしたフォーカス位置に、フォーカスを合わせます。フォーカスを合わせるスピードはメニューで3段階から選択できます（🕮 207）。

フォーカス位置をプリセットする

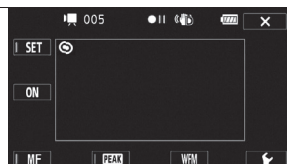
1 マニュアルフォーカスにする

- 「**MF**（マニュアルフォーカス）で調整する」の操作1 ～ 3を行う。

2 フォーカスリングを操作して、フォーカスを合わせる

SET

3 タッチする

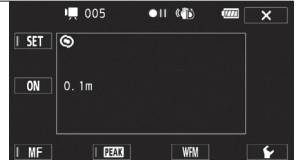
- タッチしたときのフォーカス位置がプリセットされる。

プリセットしたフォーカス位置に戻る

ON

1 タッチする

● フォーカスがプリセットした位置に合って固定される。

プリセット位置をキャンセルするとき

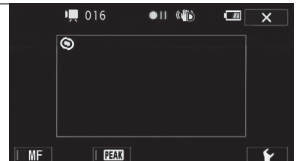
SET をタッチする

● 電源を切るとプリセットしたフォーカス位置はキャンセルされます。なお、オートモードではフォーカスプリセット機能が無効になります。
● マニュアルフォーカスで、ズームしていないときに ON がタッチできます。

ピントの合った被写体の輪郭に色をつける（ピーキング）

ピント合わせをしやすくするために、ピントの合った被写体の輪郭に色をつけて表示できます。また、画面を白黒に変えて輪郭につける色（ピーキング色）をさらに強調することもできます。なお、色は「レッド」、「ブルー」、「イエロー」の3色から選ぶことができます。

1 ピーキングを選ぶ

● 55ページの操作2までを行う。

2 タッチする

3 ピーキング色を選ぶ

① いずれかをタッチする。
② [↺]をタッチする。

「ピーキング時白黒」を入にしたとき

画面が白黒になり、ピーキング色がさらに強調される。

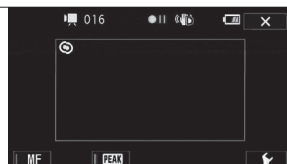
PEAK

4 ピーキング色を表示する

PEAK をタッチする。
● ピントの合った被写体の輪郭に色が表示される。

ピーキングを使わないとき

もう一度 PEAK をタッチする。

[×]

5 タッチする

MEMO ピーキングを表示しても、記録される映像に影響はありません。

AF(オートフォーカス)のスピードを選ぶ

オートフォーカスは、ビューファインダーの中央部にある被写体にピントが合うように、フォーカスを常に自動調整します。自動的にピント合わせが可能なのは2cm(ワイド端、レンズ先端から)～∞(無限遠)または60cm(ズーム全域、レンズ先端から)です。

撮影

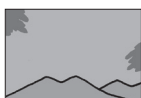
FUNC.	**1** タッチする
MENU	**2** AFモードを選ぶ ① MENU(メニュー)をタッチする。 ② 上下にドラッグして、「AFモード」をタッチする。 ③ いずれかをタッチする。 S.AF (ハイスピードAF)もっとも高速でAF動作を行います。高輝度、夜景などでも効果的です。外部センサーを併用します。 M.AF (ミディアムスピードAF) ハイスピードAFに比べてより滑らかな動作を行います。外部センサーを併用します。 AF (ノーマルAF)安定したAF動作を行います。
×	**3** タッチする

- 晴れた日の屋外など明るいシーンを撮影するときは、絞りが絞り込まれ、小絞りによるボケが生じます。このボケは、テレ側よりワイド側の方が目立ちます(被写体が小さく撮影されるため)。このときは、NDフィルターを「オート」にしてください(🕮 200)。
- 別売のコンバージョンレンズを装着して、メニューの「コンバージョンレンズ」を「テレコン」または「ワイドコン」に設定すると、ハイスピードAF/ミディアムスピードAFは使用できません。
- フレームレートをPF24、PF30または24Pに設定していると、60iよりもフォーカスが合うまで若干時間がかかります。
- 暗い室内などで撮影するときは、絞りが開き、ピントの合う範囲が非常に狭くなります。このため、特に奥行きのある被写体を撮影すると、全体にボケたような画像に見えることがあります。
- オートフォーカス中でもマニュアルリングを回すと、操作している間だけマニュアルフォーカスになります。操作をやめるとオートフォーカスに戻ります。ガラス越しに撮影するときなどに便利です。

自動でピントが合いにくいときはどんなとき？

強い光が反射

動きが速い

夜景

画面の中央に明暗の差がない

水滴が付いているガラス越しの撮影

顔を検出してきれいに撮る（フェイスキャッチ&追尾）

人物の顔を検出して、自動的にピントや明るさを調整します。複数の人物から、特定の人をねらって撮影することもできます。

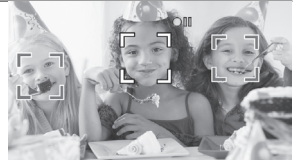
FUNC.	**1** タッチする
MENU ON ×	**2** フェイスキャッチ&追尾を選ぶ ① MENU（メニュー）をタッチする。 ② 上下にドラッグして、「フェイスキャッチ&追尾」をタッチする。 ③ ON（入）をタッチする。 解除するとき OFF（切）をタッチする。 ④ × をタッチする。

3 カメラを人物に向ける

- 主な被写体と判断した顔に白い枠、その他の顔にグレーの枠が表示される。

複数の人物から特定の人を選ぶとき

特定の人物の顔をタッチ（📖 62）する。

撮影

フェイスオンリー AF

検出した顔に対して、自動的にピントや明るさを調整します。顔がない場合はマニュアルフォーカスになります。アサインボタンに「フェイスオンリー AF」を割り当てると、アサインボタンを押してフェイスオンリー AFのON/OFFを切り換えられます（📖 107）。フェイスオンリー AFをONにすると が表示されます。フェイスオンリー AFは、オートフォーカスのときのみ有効です。

- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。その場合は「フェイスキャッチ&追尾」を「OFF」にしてください。

顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して、極端に小さいまたは大きい、暗いまたは明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れたりしているとき。

フェイスキャッチ&追尾、フェイスオンリー AFが使用できない場合

- FUNC.メニューの撮影モードを「夜景」、「ローライト」、「打上げ花火」、「マニュアル露出」に設定しているとき。
- シャッタースピードを1/30秒未満*にしているとき。

  * メニューの「フレームレート」を「PF24」または「24P」にしているときは、1/24秒未満。
- デジタルズームで40倍を超えて拡大（青色のズーム表示）しているとき。
- メニューの「スキャンリバース記録」が「OFF」以外のとき。

- 「フェイスキャッチ&追尾」を「ON」にしているとき、シャッタースピードは1/30秒以上*に設定されます。

  * メニューの「フレームレート」を「PF24」または「24P」にしているときは、1/24秒以上。

ねらった被写体をきれいに撮る（タッチ追尾）

被写体が動いてもピントと明るさを合わせながら撮影できます。「フェイスキャッチ&追尾」で主な被写体を変えたいときは、その人物の顔をタッチします。ペットなどの動いている被写体をタッチすることもできます。オートフォーカスのときのみ有効です。

1 フェイスキャッチ&追尾をONにする

60ページの操作1 ～ 2を行う。

2 カメラを被写体に向ける

3 液晶画面上の被写体をタッチする

- タッチした被写体に白い2重枠が出る。
- 被写体が動くと、自動で枠も一緒に動く。

解除するとき

「解除」をタッチする。

被写体の特徴的な部分（色など）をタッチすると追尾しやすくなります。なお、タッチした被写体と特徴が似ている被写体が周囲にあると、別の被写体を追尾することがあります。そのときは、もう一度被写体をタッチしてください。

タッチ追尾が働かない場合

- 被写体が大きすぎるとき。
- 被写体の大きさが画面上で非常に小さいとき。
- 被写体と背景が似ているとき。
- 被写体のコントラストがないとき。
- 高速で動く被写体を撮影するとき。
- 暗い室内などで撮影するとき。

拡大して撮る ビデオ 写真

ズーム

ズームは、グリップズーム、液晶画面上のズームボタン、またはリモコンで操作します。光学ズームで10倍まで拡大でき、デジタルズーム*を使うと200倍まで拡大できます（📖 200）。

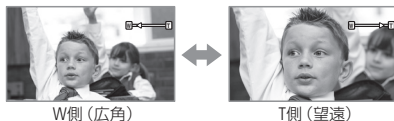
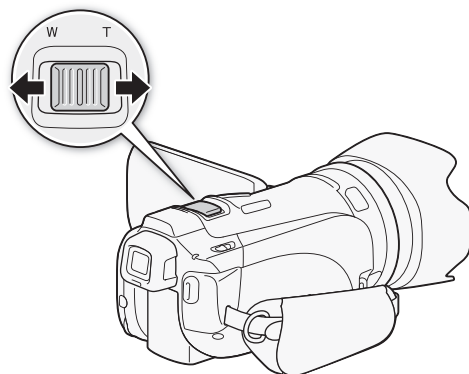
* デジタルズームは AUTO（オート）モードと CINEMA（シネマ）モードでは使えません。

撮る 見る　モードスイッチ AUTO M CINEMA

グリップズームで操作する

グリップズームでズームを操作します。

グリップズームで操作する

W側（広角）　T側（望遠）

広角にするときは**W**（ワイド）側を押し、望遠にするときは**T**（テレ）側を押します。クリップズームの押しかた（操作量）に応じてズーム速度が変わる「可変速」と、一定の速度でズームする「固定速」とを切り換えることができ、ズームスピードは MENU（メニュー）→ 📹 の「ズームスピードレベル」の設定の組み合わせで決まります。

グリップズーム操作のズームスピード

グリップズームスピードの設定	Constantスピードの設定（16段階）	ズームスピードレベルの設定とワイド端→テレ端の時間		
		ロー	ミドル	ハイ
VAR（可変速）	ズームの押しかたによって可変	約4.0秒〜約4分45秒	約3.0秒〜約3分	約2.0秒* 〜約1分
CONST（固定速）	速度1（最低速）	約4分45秒	約3分	約1分
	速度16（最高速）	約4.0秒	約3.0秒	約2.0秒*

* ズームスピードが約2.0秒のときは、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがあります。

FUNC.

1 タッチする

MENU

2 ズームスピードレベルを設定する

① MENU（メニュー）をタッチする。
② 上下にドラッグして「ズームスピードレベル」をタッチする。
③「ハイ」「ミドル」「ロー」のいずれかをタッチする。
④ ⮌ をタッチする。

3 VAR（可変速）または CONST（固定速）を設定する

① 上下にドラッグして「グリップズームスピード」をタッチする。
② VAR または CONST をタッチする。

4 CONST（固定速）の場合　ズームの速度を設定する

① ⬇ または ⬆ をタッチして設定する。
- メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。

② × をタッチする。

リモコン操作のズームスピード

リモコンズームスピードの設定	ズームスピードレベルの設定とワイド端→テレ端の時間		
	ロー	ミドル	ハイ
速度1（最低速）	約4分45秒	約3分	約1分
速度16（最高速）	約4.0秒	約3.0秒	約2.0秒*

* ズームスピードが約2.0秒のときは、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがあります。

撮影

ズームの操作を滑らかにする（ソフトズームコントロール）

ズームスタート時の加速、ズームストップ時の減速を緩やかにします。

FUNC.

1 タッチする

MENU

2 設定を選ぶ

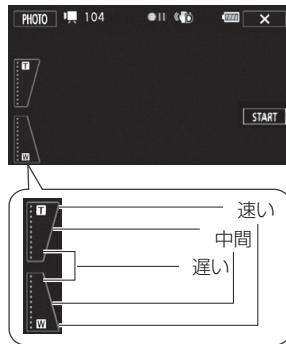
① MENU（メニュー）をタッチする。
② 上下にドラッグして、「ソフトズームコントロール」をタッチする。
③ いずれかをタッチする。

START スタート時のみ有効にする
STOP ストップ時のみ有効にする
START STOP スタート／ストップ時有効にする

×

3 タッチする

液晶画面のズームボタンで操作する

FUNC.	**1** タッチする
	2 ズームを選ぶ ① 上下にドラッグして、「ZOOM」(ズーム)をタッチする。 ● ズーム画面が出る。 ② 液晶画面上のズームボタン「**T**」または「**W**」をタッチして、ズーム操作をする。

● ズームのスピードは、タッチする場所によって、「速い」、「中間」、「遅い」を選べる。

×	**3** タッチする

画面中央を拡大して撮る（デジタルテレコン）

焦点距離を2倍にして記録します。

撮る 見る　モードスイッチ AUTO M CINEMA

撮影

FUNC.

1 タッチする

MENU
×
2.0x

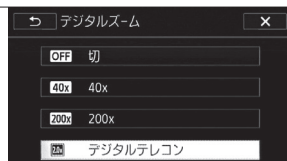
2 デジタルテレコンを選ぶ

① MENU（メニュー）をタッチする。
② 「デジタルズーム」をタッチする。
③ 「2.0x デジタルテレコン」をタッチする。
④ × をタッチする。

デジタルズーム
OFF 切
40x 40x
200x 200x
2.0x デジタルテレコン

FUNC.

3 タッチする

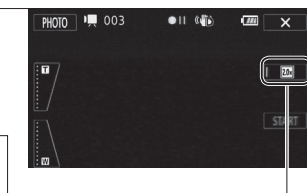
2.0x

4 デジタルテレコンを有効にする

① 上下にドラッグして、「ZOOM」（ズーム）をタッチする。
② 2.0x（デジタルテレコン）をタッチする。
● 画面の中央が拡大される。

PHOTO 003 START

解除するとき

もう一度 2.0x をタッチする。

×

5 タッチする

- ● 別売のテレコンバーターをあわせて使用すると、さらに拡大した映像を記録できます。
- ● 撮影中にデジタルテレコンを設定することはできません。
- ● 映像をデジタル処理するため、ズーム全域で映像が粗くなります。

手ブレをおさえて撮る ビデオ 写真

手ブレ補正

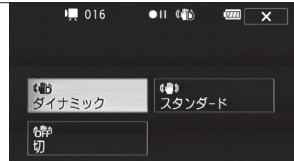
手ブレの少ない安定した映像を撮影できます。撮影のしかたによって補正方式を選べます。

撮る 見る　モードスイッチ AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

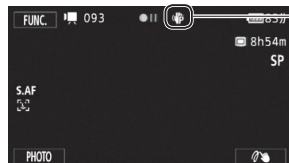
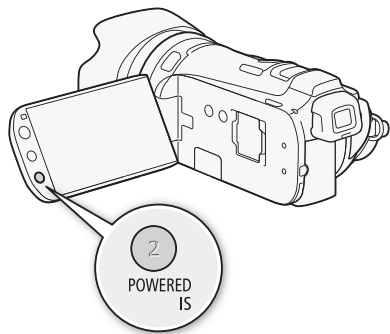
2 手ブレ補正を選ぶ

① 上下にドラッグして、（手ブレ補正）をタッチする。
② いずれかをタッチする。

ダイナミック	歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレを補正。ズームを広角側にするほど効果が大きい。
スタンダード	静止して手持ちで撮影するときなどの比較的小さな手ブレを補正。自然な映像が撮影できる。別売のワイドコンバーターやテレコンバーターを使うときはこの設定にする。
切	三脚などを使って撮影するとき。

×

3 タッチする

POINT 望遠撮影時の手ブレを、さらにおさえて撮影する（パワードIS）

パワードISを使うと、手ブレ補正を強化することができます。静止して撮影するときに、ズームを望遠側にするほど効果的です。液晶画面に左手をそえると、より安定して撮影できます。
初期設定ではアサインボタン2に「パワードIS」が割り当てられていますので、パワードISを使うときは、このボタンを押して操作します。

POWERED IS（パワードIS）ボタン*を押し続ける。
- 画面に が出る。
- パワードIS使用中は、手ブレの大きさを表示（ ～ ）で確認できる。

* 操作のしかたは、メニューの「パワードISボタン」で選べます（□ 207）。

- 手ブレが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- カメラを左右や上下に動かして撮るときは、手ブレ補正を「ダイナミック」または「スタンダード」にすることをおすすめします。
- 手ブレ補正を「切」に設定している場合でも、「POWERED IS」ボタンの操作によりパワードISは有効になります。

ゲインリミットを調整する　ビデオ 写真

AGCリミット

被写体の明るさに応じて映像アンプのゲインの上限を設定できます。

撮る 見る　モードスイッチ AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

AGC M

2 AGCリミットを選ぶ

上下にドラッグして、AGC（AGCリミット）→**M**（マニュアル）をタッチする。
- MがONになり、メーターが出る。

◀ ▶

3 感度の上限を選ぶ

◀または▶をタッチして、好みの感度を選ぶ。
- メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。
- 数値を小さくする程、感度の上限が低くなる。

感度の上限を解除するとき

A（オート）をタッチする。

×

4 タッチする

- AGCリミット設定中は、画面に感度の上限値（dB）が出ます。

AGCリミットが使用できない場合

■ 撮影モードが「マニュアル露出」または「SCN」のとき

- CUSTOM（カスタム）キーにAGC（AGCリミット）を割り当てると、CUSTOM（カスタム）ダイヤルでAGCリミット値を調整できます（104）。

動きの速いものを撮る／背景をぼかして撮る

ビデオ 写真

シャッタースピード／しぼり

シャッタースピードが速いと、動きの速い被写体を一瞬でとらえ、遅いと水の流れのような流動感を表現できます。しぼり数値が小さい（開く）と背景をぼかしたポートレートが、しぼり数値が大きい（閉じる）と風景の近くから遠くまでボケを少なくして撮影できます。

撮る 見る ｜ モードスイッチ AUTO M CINEMA

FUNC. **1** タッチする

P ◀ ▶ **2** 撮影モードを選ぶ

① P（撮影モード）をタッチする。
② いずれかをタッチする。

P	（プログラムAE）	：シャッタースピードとしぼりが自動で設定される。
Tv	（シャッター優先AE）	：シャッタースピードを自分で選ぶ。しぼりは自動で設定される。
Av	（絞り優先AE）	：しぼりを自分で選ぶ。シャッタースピードは自動で設定される。

AEはAutoExposure（オートエクスポージャー）（自動露出）、TvはTime value（タイム バリュー）（時間量）、AvはAperture value（アパーチャー バリュー）（開口量）の略です。

③ ◀ または ▶ をタッチして、好みの数値を選ぶ。
● メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。

× **3** タッチする

撮影

シャッタースピードを選ぶときの目安

例 画面に「Tv 30」と出ているときは、シャッタースピードが「1/30秒」であることを表します。

	こんなときに使います
1/8、1/15、1/30秒	少し暗い場所で、被写体を明るく撮影するとき。 水の流れなどの流動感を撮影するとき。
1/60秒	一般的な撮影のとき。
1/100秒	屋内でスポーツをしている人を撮影するとき。
1/250、1/500、1/1000秒	動きの速い乗り物を撮影するとき。
1/2000秒	晴天下でスポーツをしている人を撮影するとき。

メニューの「フレームレート」（📖 54）を「PF24」または「24P」に設定しているときのシャッタースピードは、1/6、1/12、1/24、1/48、1/60、1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000秒です。

Tvのとき

- 暗いところでスローシャッターを使うと、明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化したり、ピントが自動では合いにくいことがあります。
- 高速シャッターでは、映像がちらついて、なめらかに見えないことがあります。
- 蛍光灯下で動画を撮影する場合、画面のちらつきがとれないときは、Tvを選んでから1/100秒を選んでください。

Avのとき

- しぼり数値
  F1.8、F2.0、F2.2、F2.4、F2.6、F2.8、F3.2、F3.4、F3.7、F4.0、F4.4、F4.8、F5.2、F5.6、F6.2、F6.7、F7.3、F8.0
  (F4.0~F8.0ではNDフィルターの表示が出ます。使用するNDフィルターを選択できます)（📖 200）。
- 設定できる数値は、ズームの位置によって変わります。

- 数値が点滅するときは、明るさが適正ではありません。点滅しなくなるまで、シャッタースピード／しぼりを調整してください。
- 撮影モードがTvまたはAvのとき、露出を手動で調整してから、シャッタースピードやしぼりを変更することはできません。あらかじめシャッタースピードやしぼりを設定してから、露出を調整してください。
- CUSTOM（カスタム）キーにTv/Av（Tv/Av）を割り当てると、CUSTOM（カスタム）ダイヤルでシャッタースピードまたはしぼりを調整できます（📖 104）。

マニュアルで明るさを調整する

マニュアル露出

絞り、シャッタースピード、ゲインの3種類を自由に設定できます。設定するときにゼブラパターン（ 77）を表示すると便利です。
強制逆光補正機能（ 76）も同時に使用できます。

撮影

CUSTOM（カスタムキー）にM（マニュアル露出）を割り当てると、CUSTOM（カスタムキー）でしぼり、シャッタースピード、ゲインの項目移動、CUSTOM（カスタム）ダイヤルでマニュアル露出値を調整できます（ 104）。

明るさを調整する ビデオ 写真

露出

逆光のときに被写体が黒くなったり、強い光が当たったときに白くとんでしまうことがあります。このようなときは明るさ（露出）の調整をします。なお、撮影モードを「打上げ花火」や「マニュアル露出」に設定しているときは、使用できません*。

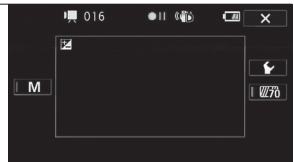
* ゼブラパターンは「マニュアル露出」設定時でも、使用できます。

撮る 見る ｜ モードスイッチ AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

2 露出を選ぶ

① (露出)をタッチする。

3 露出を調整する

① 液晶画面上の、露出を合わせたい被写体をタッチする。

- タッチした場所に が点滅して、明るさが自動で調整され、露出が固定される。
- **M**ボタンがONになり、メーターが出る。

② さらに調整するときは、◀または▶をタッチして、好みの数値を選ぶ。

- メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。
- 調整後の明るさで固定される。
- 明るさによっては数値がグレーになり、調整可能な範囲が変わる。
- ①の操作のかわりに**M**ボタンをタッチして、メーターで調整することもできる。

自動の露出調整に戻すとき

Mをタッチする。

×

4 タッチする

- 露出固定中は、画面に と露出の調整値が出る。

- 露出を手動で調整後、撮影モードを切り換えると自動調整に戻ります。
- CUSTOM（カスタム）キーに (露出)を割り当てると、CUSTOM（カスタム）ダイヤルで露出値を調整できます（104）。

明るい部分にタッチして明るさを補正する（ハイライトAE）

画面の中の明るい部分（ハイライト）にタッチして、露出を補正できます。タッチした部分が明るくなりすぎないように補正するので、白い雲などでも白とびしない範囲で明るく撮影できます。なお、タッチした部分が暗いときや、極端に明るいときは適切な補正にならないことがあります。

撮影

1 露出を選ぶ

74ページの操作2までを行う。

2 タッチする

3 ハイライトを選ぶ

「ハイライト」→ をタッチする。

タッチ露出
ノーマル ハイライト
ゼブラパターン
70% 100%

4 露出を調整する

74ページの操作3を行う。

ハイライトを使わないとき

操作3で「ノーマル」をタッチする。

5 タッチする

強制逆光補正

強制逆光補正を使うと、露出とガンマを変更し、暗い部分を明るくします。

自動逆光補正

逆光になっていることを検知して自動的に補正し、被写体を明るく撮影できます。光の状態が変わる場合に便利です。メニューで「切」にすることもできます（199）。

明るさの目安を表示する（ゼブラパターン）

ゼブラパターンを使うと映像の明るい部分に縞模様が表示されます。「100%」では白とびするような明るさのとき、「70%」ではそれに近い明るさのときに縞模様が表示されます。明るさのバランスを確認したいときに使うと安心です。

1 露出を選ぶ

74ページの操作2までを行う。

2 タッチする

3 ゼブラパターンを選ぶ

① 「70%」または「100%」のいずれかをタッチする。
② をタッチする。

4 ゼブラパターンを表示する

① 「」または「」のいずれかをタッチする。
② をタッチする。

ゼブラパターンの表示を使わないとき

もう一度 または をタッチする。

5 タッチする

MEMO ゼブラパターンを表示しても、記録される映像に影響はありません。

色合いを調整する ビデオ 写真

ホワイトバランス

太陽光や蛍光灯など周りの光によって、白い壁や白い紙などはオレンジっぽくなったり、青っぽくなったりします。撮影時の光に応じて「白いものを白く」写すように色を調整できます。撮影モードが**P**、**Tv**、**Av**、**M**のときに調整できます。

撮る 見る　モードスイッチ AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

WB

2 ホワイトバランスを選ぶ

① WB（ホワイトバランス）をタッチする。
② 上下にドラッグして、いずれかをタッチする。
● 撮影する環境に合わせて目的のホワイトバランスを選ぶ。

AWB オート	通常は AWB（オート）*を選択。自動的に自然な色合いに調整される。
太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択。
日陰	日陰で撮影するときに選択。
くもり	曇天時に撮影するときに選択。
蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
電球	電球や電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
K 色温度	2000K ～ 15000Kの範囲で色温度を設定する。
セット1　セット2	実際に白い紙などを写して設定し、設定値を「セット1」または「セット2」として登録する。

* AWBはAuto White Balance（オート ホワイト バランス）の略です。

K（色温度）を選んだとき

③ ◄ または ► をタッチして色温度を調整する。
● メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。

（セット1）または（セット2）を選んだとき

③ 白紙、白布を画面いっぱいに写す。
④「白取り込み」をタッチする。
● （セット）が点滅→消灯に変わったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

✕ 3 タッチする

● (セット1)または (セット2)を選んで調整するとき

■ メニューの「デジタルズーム」を「切」にしてください(200)。

■ 場所や明るさが変わったときは再調整してください。

■ 光によっては、ごくまれに (セット)が点滅→消灯に変わらないことがありますが、自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されていますのでそのままお使いください。

AWB(オート)でうまくいかないとき

次のような条件で撮影するとき、画面の色が不自然であれば (セット1)または (セット2)で調整をしてください。

■ 照明条件が急に変わる場所での撮影。

■ クローズアップ撮影。

■ 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。

■ 水銀灯や一部の蛍光灯のもとでの撮影。

● 蛍光灯の種類によっては、(蛍光灯)や(蛍光灯H)を選んでも色合いが最適に調整されないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、AWB(オート)または (セット1)または (セット2)を選んでください。

シーンモード（SCN）で撮影する

ビデオ
写真

シーンモード（SCN）

照り返しの強いスキー場や、海に沈む夕日、夜空を彩る打上げ花火など、場所や被写体に合わせてきれいに撮影します。

撮る　見る　｜　モードスイッチ　AUTO　M　CINEMA

FUNC.	1	タッチする
P	2	撮影モードを選ぶ ① P（撮影モード）→（ポートレート）をタッチする。 ② 上下にドラッグして、いずれかをタッチする。

POINT シーンモードで選べる項目

ポートレート

背景をぼかして、被写体を引き立たせる。

スポーツ

動きの速い被写体を撮る。

夜景

夜景をきれいに撮る。

スノー

照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。

ビーチ

照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。

夕焼け

夕焼けを色鮮やかに撮る。

ローライト

暗い場所で被写体を明るく撮る。

スポットライト

スポットライトが当たった被写体をきれいに撮る。

打上げ花火

打上げ花火をきれいに撮る。

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチの各モードで撮影した映像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- ポートレートのときにズームレバーを**T**側にすると、より効果的に背景がぼけます。
- スノー／ビーチのとき、曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎることがあります。画面で映像をご確認ください。

ローライトについて

- ■ 動きのある被写体は、残像が目立つ映像になることがあります。
- ■ 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- ■ 画面に白い点などが出ることがあります。
- ■ 自動でピントが合いにくいときは、ピントを調整してください（□ 55）。

- 打上げ花火を使うときは、手ブレを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。

好みの画質にする ビデオ 写真

ピクチャー設定

色の濃さ、シャープネス、コントラスト、明るさを調整して撮影することができます。撮影モードがP、Tv、Av、Mのときに設定できます。

撮る 見る　モードスイッチ AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

2 目的のピクチャー設定を選んで、調整する

① 上下にドラッグして（ピクチャー設定）→「ON」をタッチする。
② いずれかの調整項目をタッチする。
③ ◀または▶をタッチして調整する。

色の濃さ	：－2（薄い）～＋2（濃い）
シャープネス	：－2（弱い）～＋2（強い）
コントラスト	：－2（弱い）～＋2（強い）
明るさ	：－2（暗い）～＋2（明るい）

- メーターを左右にドラッグして調整することもできる。

ピクチャー設定を行わないとき

①で「OFF」をタッチする。

3 タッチする

- ピクチャー設定をONにすると、画面にが出る。

セルフタイマーを使う ビデオ 写真

家族や仲間たちと自分も一緒に撮影したいときに便利です。約10秒後に撮影が始まります。

撮る 見る | モードスイッチ AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

MENU / ON

2 セルフタイマーを選ぶ

① MENU（メニュー）→ をタッチする。
② 「セルフタイマー」をタッチする。
③ 「ON 入」をタッチする。

解除するとき

③で OFF（切）をタッチする。

×

3 タッチする

● 画面にが出る。

4 動画の場合 押す

● 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる（リモコンの場合は2秒）。

PHOTO

静止画の場合 タッチする

● 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる（リモコンの場合は2秒）。

セルフタイマーを解除するには

- 撮影開始までの時間を表示中に、START/STOPボタン（動画のとき）またはPHOTOボタン（静止画のとき）を押す。
- 電源を切る。
- ボタンやモードスイッチを操作する。
- スタンバイ状態にする（50）。

撮影

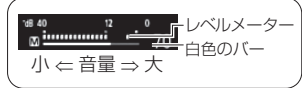
録音時の音量を変える

ビデオ 写真

マイクレベル

内蔵マイクや外部マイクの録音時の音量（マイクレベル）を手動で調整できます。

撮る 見る　モードスイッチ AUTO M CINEMA

FUNC.	**1 タッチする**
M	**2 マイクレベルを選ぶ** 上下にドラッグして、（マイクレベル）→**M**（マニュアル）をタッチする。 ● レベルメーターと調整用の◀／▶が出る。
◀ ▶	**3 マイクレベルを調整する** ◀または▶をタッチして調整する。 ● レベルメーターの表示が–12dBよりも右の位置で時々点灯するように調整する。 ● 音声ミックス（📖 87）がONのときは、レベルメーターにINT（内蔵マイク）とEXT（外部音源）のレベルが出る。 自動調整に戻すとき **A**（オート）をタッチする。
×	**4 タッチする** ● 調整した位置で録音レベルが固定される。

マイクレベル
A オート
M マニュアル
レベルメーター
白色のバー
小 ⇐ 音量 ⇒ 大

POINT 自動調整のときにレベルメーターを表示する

レベルメーターを常に表示して、録音時の音量を確認することができます。

① **A**（オート）をタッチする。
② 「レベルメーター」をタッチする。
　● レベルメーターが出る。
③ ×をタッチする。

● レベルメーターの「0」の位置が赤く表示されているときは、音がひずむことがあります。
● マイクレベルを調整したり、「マイクアッテネーター」を「入」に設定しているときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします（📖 88）。

内蔵マイクの指向性を切り換える ビデオ 写真

内蔵マイクの指向性を切り換えることができます。正面の音に重点をおいて周囲のノイズを少なくしたり、音の広がりを強調したりすることができます。

撮る 見る　モードスイッチ AUTO M CINEMA

FUNC.	**1 タッチする**
MENU	**2 内蔵マイク指向性を選ぶ** MENU（メニュー）→「内蔵マイク指向性」をタッチする。
	3 指向性を選ぶ いずれかの指向性をタッチする。

内蔵マイク指向性
モノラル
ノーマル
ワイド
ズーム

モノラル	マイク正面の音声を重点的に記録するモノラル録音。
ノーマル	ワイドとモノラルの中間。標準的な2ch録音。
ワイド	音の広がりを強調した2ch録音。臨場感を出したいときに。
ズーム	ズームレバーに連動して、音の広がりと音量が変わる2ch録音。離れた被写体を拡大して撮ると、音の広がりは小さくなり、音量は大きくなる。

×	**4 タッチする**

以下の場合は、内蔵マイクを使用しないため、指向特性は切り換えられません。

- MIC端子に外部マイクを接続し、メニューの「音声ミックス」（87）が「切」のとき。
- ミニアドバンストシューに別売のマイクを取り付けているとき。

撮影

内蔵マイクの周波数特性を変える

内蔵マイク周波数特性

内蔵マイクを使用して音声を記録するとき、マイクの周波数特性を変更することができます。周波数特性は5種類から選択できます。

撮る 見る　モードスイッチ AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

MENU

2 内蔵マイク周波数特性を選ぶ

MENU（メニュー）→「内蔵マイク周波数特性」をタッチする。

3 周波数特性を選ぶ

上下にドラッグして、いずれかの周波数特性をタッチする。

内蔵マイク周波数特性
NORM ノーマル
LB 低域強調
LC 低域カット
MB 中域強調

NORM ノーマル	最も使用頻度が高く、バランスのとれた録音ができる。
LB 低域強調	低域を強調し、迫力ある録音ができる。
LC 低域カット	風雑音や自動車走行音などの低域の環境音を低減する。
MB 中域強調	人の声を中心に録音する。
LHB 低高域強調	コンサートなど音楽を録音するときに、音のメリハリを向上させる。

×

4 タッチする

内蔵マイクと外部入力の音声を一緒に記録する

音声ミックス

内蔵マイクと外部入力（MIC端子入力）の音声をミックス（混合）して記録することができます。外部入力には、ワイヤレスマイクロホンWM-V1（別売）、市販のオーディオプレーヤー／マイクを使用できます。2つの音声の混合比率（ミックスバランス）を変えることもできます。

撮る 見る　モードスイッチ AUTO M CINEMA

MIC

1 外部入力機器をMIC端子につなぐ

FUNC.

2 タッチする

MENU

3 MIC端子の入力音声種別を切り換える

① MENU（メニュー）→「MIC端子入力選択」をタッチする。
② 接続した機器に応じて、いずれかをタッチ→ をタッチする。

LINE	外部音源	オーディオプレーヤーなどの外部機器を使用するとき。
MIC	マイク	市販の外部マイクを使用するとき。

● ワイヤレスマイクロホンWM-V1を取り付けている場合、この操作は不要。

ON

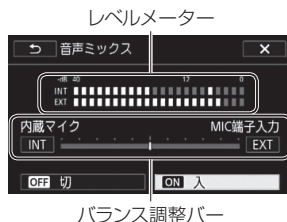
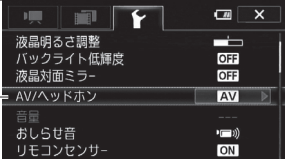
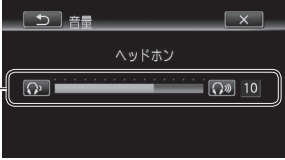
4 音声ミックスを選ぶ

① 上下にドラッグして、「音声ミックス」をタッチする。
② ON（入）をタッチする。
● レベルメーターとバランス調整バーが出る。

INT EXT

5 ミックスバランスを調整する

バランス調整バーの INT または EXT をタッチして調整する。
● メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。

×

6 タッチする

ヘッドホンを使う ビデオ 写真

撮影時や再生時にヘッドホンで音声を聞くことができます。

ヘッドホンで音声を聞きながら撮影／再生する

(ヘッドホン)端子は、AV OUT端子と兼用です。ヘッドホンを使うときは、まずメニューで切り換えます(205)。なお、AUTO(オート)モードでヘッドホンを使うときは、あらかじめM(マニュアル)モードまたはCINEMA(シネマ)モードで、設定を(ヘッドホン)に切り換えておいてください。

再生中にヘッドホン音量を調整する

撮る 見る*

* 静止画の場合、スライドショーで音楽と一緒に再生しているときのみ調整できます。

1 再生中 音量を調整する

① 液晶画面上をタッチして、操作ボタンを出す。
② をタッチする。
③ ヘッドホン音量のまたはをタッチして音量を調整する。

ご注意

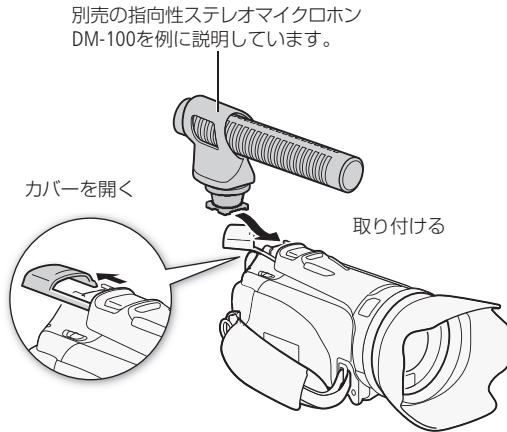
- ヘッドホンを使うときは、音量を一度下げてください。
- 画面にが出ていないときは、ヘッドホンを接続しないでください。雑音によって耳を痛める恐れがあります。

MEMO 再生時に設定した「AV/ヘッドホン」は、電源を切ると「AV」に戻ります。

別売アクセサリーを使う ビデオ 写真

ミニアドバンストシュー／MIC端子

本機のミニアドバンストシューに、別売の各種アクセサリー（📖 241）を取り付けられます。取り付け方や使い方については、各アクセサリーの説明書もあわせてご覧ください。

取り付けかた

本機には、右のロゴ表記がある「ミニアドバンストシュー」対応アクセサリーをご利用ください。従来の「アドバンストアクセサリーシュー」対応のアクセサリーは取り付けられません。

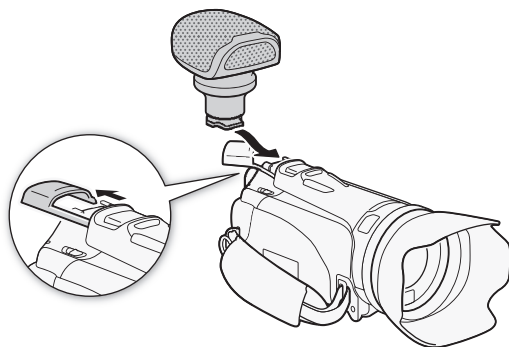
外部マイクを使う

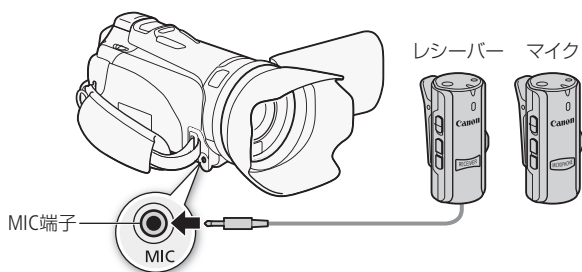
静かな場所で撮影するとき、内蔵マイクが本体の振動をひろってしまうことがあります。また、屋外で撮影するときに風の影響を受けて発生するノイズ音が大きく記録されてしまうことがあります。このようなときは、スポンジやウィンドスクリーン付きの外部マイクの使用をおすすめします。本機に取り付け可能な別売の外部マイクには、ミニアドバンストシューに取り付けて使うサラウンドマイクロホン（ウィンドスクリーン付き）や指向性ステレオマイクロホン（ウィンドスクリーン付き）、MIC（マイク）端子につないで使うワイヤレスマイクロホンがあります。市販のマイクを使うこともできます。

撮る 見る ｜ モードスイッチ AUTO M CINEMA

サラウンドマイクロホンSM-V1（別売）／指向性ステレオマイクロホンDM-100（別売）を使う

サラウンドマイクロホンSM-V1を使用すると、臨場感のある5.1chの音声を記録できます。また、指向性ステレオマイクロホンDM-100を使用すると、とらえたい音声を確実に記録でき、大切なシーンの言葉を逃しません。SM-V1またはDM-100を取り付けると、画面に が表示されます。
SM-V1、DM-100を使用する際には、風の影響を受けて発生するノイズ音を防止するため、ウィンドスクリーンを取り付けることをおすすめします。

撮影

ワイヤレスマイクロホンWM-V1（別売）を使う

ワイヤレスマイクロホンWM-V1を使用すると、内蔵マイクではとらえられない離れた場所の音声を記録することができます。また、WM-V1の音声と内蔵マイクの音声をミックスして記録することもできます。WM-V1の取り付けかたや操作については、WM-V1の使用説明書をご覧ください。

	1 レシーバーをビデオカメラのグリップベルトに取り付ける
MIC	2 レシーバーをMIC端子につなぐ
	3 必要に応じて、音声ミックスを［入］にして、ミックスバランスを調整する（□ 87）
	4 マイクを被写体に取り付ける

市販のマイクを使う

本機には市販のマイクを取り付けることもできます。電源を内蔵したコンデンサーマイクをお使いください。端子の直径が3.5 mmのステレオマイクなら、ほとんどが使用できます。ただし、録音時の音量は内蔵マイクと異なります。Φ3.5mmMIC端子にはプラグの径がΦ9.5mm以下のものをご使用ください。

1 市販のマイクをMIC端子につなぐ

2 メニューの「MIC端子入力選択」を「マイク」にする（□ 87）

● 外部マイク接続中、メニューで設定した「ウィンドカット」は自動的に「切」になります。

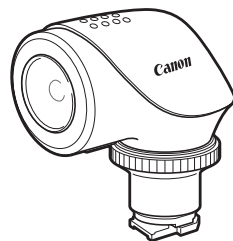
SM-V1を取り付けたとき

- メニューの「サラウンドマイク」でサラウンドマイクの設定を切り換えられます（□ 201）。
- 記録した5.1chの音声は、本機と5.1ch対応機器をHDMIケーブル（付属）で接続すると5.1chで再生されます。ステレオビデオケーブル（付属）で他機に接続するか、ヘッドホンを接続すると2chで再生されます。本機のスピーカーからはモノラルで出力されます。

■ ビデオライトVL-5（別売）／ビデオフラッシュライトVFL-2（別売）*を使う

撮る 見る　モードスイッチ AUTO M CINEMA

暗いところで撮影するときに、被写体を明るく照らすことができます。本機に取り付けて、VL-5またはVFL-2の電源スイッチを「AUTO」または「ON」にすると、画面に が表示されます。

* 本機に取り付けてフラッシュとして使うことはできません。

ズームリモートコントローラー ZR-2000（別売）を使う

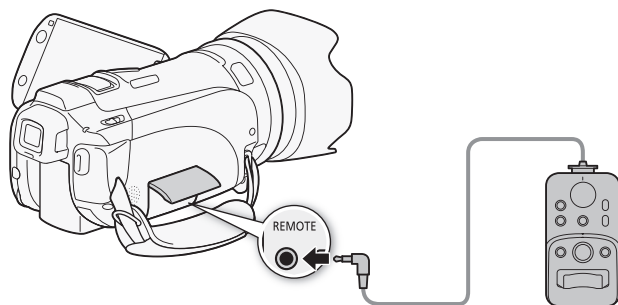
撮る 見る　モードスイッチ AUTO M CINEMA

別売のズームリモートコントローラー ZR-2000と一緒に使うと、ビデオカメラを三脚などにすえつけたまま、撮影操作を手元で行えます。

操作できる機能

電源のON/OFF、START/STOP、ズーム、フォーカス（マニュアル／オート切り換え、フォーカス調整、プッシュ AF*）、フォーカスアシスト（MAGNIFYINGボタン）、オンスクリーン表示

* プッシュ AFは、マニュアルフォーカスを使用中、ボタンを押しているときだけ自動的にピントを合わせる機能です。

各機能の詳細については、ズームリモートコントローラーの使用説明書をご覧ください。

MEMO　オートモードのときは、電源のON/OFF、START/STOP、ズームのみ操作できます。

カラーバー／テストトーンを記録する

カラーバー &テストトーン

テレビや外部モニターの色や明るさの調整を行うために、カラーバーを出力／記録することができます。
また同時に1kHZのテストトーンを出力／記録することもできます。

カラーバー／テストトーンを記録する

FUNC.

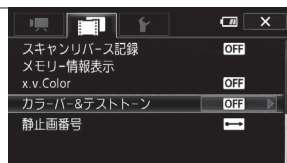
1 タッチする

MENU

2 カラーバーを選ぶ

① MENU（メニュー）→ をタッチする。
② 上下にドラッグして、「カラーバー &テストトーン」をタッチする。
③「カラーバー &トーン」をタッチする。

● 画面にカラーバーが表示され、テストトーンが出力される。

×

3 タッチする

● START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーとテストトーンを記録できる。
● テストトーンを記録しないときは「カラーバー」を選択する。

撮影

波形モニター／エッジモニターを表示する

カメラモードのとき、露出確認用に画面に波形モニター（WFM*1）を簡易表示できます。また、フォーカス確認用にエッジモニター *2を表示することもできます。なお、これら各種モニターは液晶画面のみに表示され、ビューファインダーや各出力端子からの映像には表示されません。

*1 WFM（Waveform Monitor）：明るさ（輝度）と色の各信号を合成して表示する機能。
*2 エッジモニター：映像全体の合焦度合いを波形で表示する機能。

波形モニター（WFM）を表示する

撮影モードがP（プログラムAE）のとき

撮影モードがM（マニュアル露出）のとき

FUNC.	1 タッチする
	2 撮影モードをタッチする
	3 **M**マニュアル露出をタッチする

WFM

4 タッチする

- 画面に波形モニターが表示される。
- もう一度波形モニターをタッチすると波形モニターが消える。

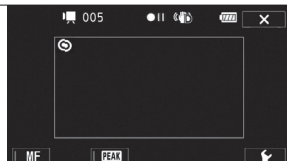
撮影

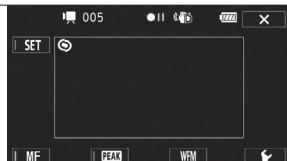
エッジモニターを表示する

FUNC.

1 タッチする

2 フォーカスを選ぶ

(フォーカス)をタッチする。

MF

3 MFをタッチする

WFM

4 タッチする

- 画面にエッジモニターが表示される。
- もう一度エッジモニターをタッチするとエッジモニターが消える。

ビデオスナップを撮る

ビデオ
写真

ビデオスナップモードを使って撮影すると、4秒間*の短い映像（ビデオスナップ）が記録できます。短い映像にすることで、再生時にテンポよく場面が切り換わります。音楽と一緒に再生（□ 146）すれば、映像に表情が加わり、よりいっそう映像を楽しめます。

* 記録時間は、メニューの「ビデオスナップ記録時間」で2秒、4秒、8秒、「シナリオ連動」のいずれかに変更できます（□ 202）。シナリオモード（□ 126）で撮影する場合、「シナリオ連動」にすると、選択しているシナリオシーンの標準撮影時間が記録時間になります。

FUNC.

1 タッチする

2 ビデオスナップを選ぶ

① （ビデオスナップ）をタッチする。
② 「ON」をタッチする。
③ [×] をタッチする。

3 押す

- 約4秒間撮影し、自動的に撮影が一時停止する。
- 撮影中は青い枠が動き、記録後、シャッターを切ったときのように画面が一度黒くなる。

MEMO モードスイッチやボタンを操作すると、ビデオスナップモードは解除されます。

撮影チャンスを逃さない ビデオ 写真

プレREC

3秒前からの映像が自動的に記録され、決定的瞬間を逃しません。

1 タッチする

2 プレRECを選ぶ

① 上下にドラッグして、(プレREC)→ON(入)をタッチする。
② ×をタッチする。

解除するとき

①でOFF(切)をタッチする。

3 押す

● ボタンを押す3秒前からの映像が記録される。

プレRECの設定直後や撮影終了後から約3秒以内に撮影を始めると、3秒前からの映像は記録されません。

プレRECが解除される場合

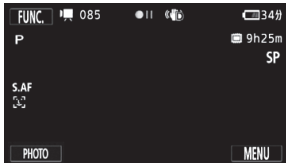
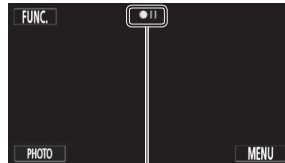
- プレRECを設定した後、約5分間操作しなかったとき。
- モードスイッチやボタンを操作したとき。
- ビデオスナップモードをONにしたとき。
- デコレーションモードの画面に切り換えたとき。
- スタンバイ状態にしたとき（📖 50）。
- FUNC.メニューの次のボタンをタッチしたとき。
  「メニュー」、「撮影モード」、「ホワイトバランス」、「AGCリミット」、「手ブレ補正」、「フェーダー」、「録画チェック」

画面の表示を切り換える ビデオ 写真

画面に表示する撮影情報などを切り換えられます。

押す

● 表示される撮影情報は、押すたびに切り換わる。

例：動画撮影中の場合

すべて表示

表示なし
●や●❚❚は表示される。

POINT 表示される内容や切り換わりかた

動画撮影中	すべて表示	→	操作ボタンを表示*1
動画再生中*2 静止画再生中*2	メニューの「データコード表示」の設定情報を表示	→	すべて表示

*1 メニューで設定したマーカー、レベルメーターは表示される。
*2 液晶画面をタッチすると、設定内容にかかわらず操作ボタンが出る。

データコードとは？

日時やカメラデータ（シャッタースピードやしぼり）などの撮影情報を「データコード」といいます。データコードはメニューの「データコード表示」で切り換えられます（📖 202）。

場面の切り換え効果をつける

フェーダー

映画で場面が切り換わるときのように、シーンの始まりと終わりを演出します。思い出のシーンにひと工夫加えてみましょう。F1↻オートフェード（毎回）またはF2↻ワイプ（毎回）を使うと、シーンの始まりと終わりに毎回効果を付けることができます。

F1オートフェード（1回）／F1↻オートフェード（毎回）

F2ワイプ（1回）／F2↻ワイプ（毎回）

撮る　見る　モードスイッチ　AUTO　M　CINEMA

FUNC.

1 タッチする

2 目的の効果を選ぶ

① 上にドラッグして、（フェーダー）をタッチする。
② いずれかをタッチする。

フェーダーを使わないとき

OFF（切）をタッチする。

③ ［×］をタッチする。

3 押す

- 撮影一時停止中（●II）にフェーダーを使うと、映像と音声が徐々に出る。撮影中（●）に使うと、映像と音声が徐々に消えて、撮影が一時停止する。

フェーダーが使用できない場合

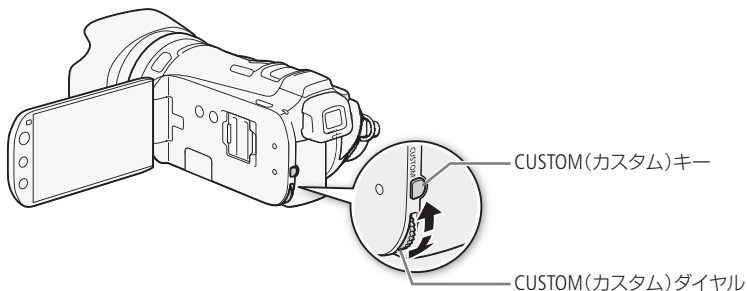
- シネマモードでシネマルックフィルターに「オールドムービー」を選んでいるとき。
- デコレーションをつけているとき。
- ビデオスナップモードのとき。
- プレRECが「ON」のとき。

● メニューの「フェーダー設定」（ 199）で、効果の色を変えることができます。

4 カスタマイズ

よく使う機能を設定する ビデオ 写真

CUSTOM(カスタム)キー／ CUSTOM(カスタム)ダイヤル

よく使う機能を選んで設定しておくと、その機能を簡単に切り換えられます。割り当てる機能はメニューまたは専用メニューで設定します。

機能を割り当てる

メニューで割り当てる

撮る 見る　モードスイッチ AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

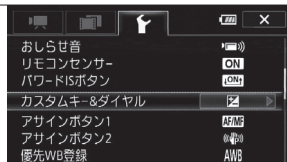
MENU

2 機能を選ぶ

① MENU (メニュー)→ をタッチする。
② 上下にドラッグして、「カスタムキー &ダイヤル」をタッチする。
③ いずれかをタッチする。

設定した機能を解除するとき

③で OFF (切)をタッチする。

④ × をタッチする。

3 機能を調整する

操作2で「Tv/Av」を選んだとき

① 撮影モードを**Tv**または**Av**にする（📖 71）。
② CUSTOM（カスタム）ダイヤルを回して調整する。

操作2で「マニュアル露出」を選んだとき

① 撮影モードを**M**にする（📖 73）。
● CUSTOM（カスタム）キーを押すたび、項目が移動する。

② CUSTOM（カスタム）ダイヤルを回して調整する。

操作2で「AGCリミット」を選んだとき

① AGCリミットを「マニュアル」にする（📖 70）。
② CUSTOM（カスタム）ダイヤルを回して調整する。

操作2で「露出」を選んだとき

① CUSTOM（カスタム）キーを押す。
② CUSTOM（カスタム）ダイヤルを回して調整する。

● 調整を止めるときは、もう一度CUSTOM（カスタム）キーを押す。

専用メニューで設定する

1 長押しする

① CUSTOM（カスタム）キーを長押しする（約2秒）。

2 よく使う機能を設定する

① CUSTOM（カスタム）ダイヤルを回して、いずれかの機能を選ぶ。
② CUSTOM（カスタム）キーを押す。

設定した機能を解除するとき

①で**OFF**を選択する。

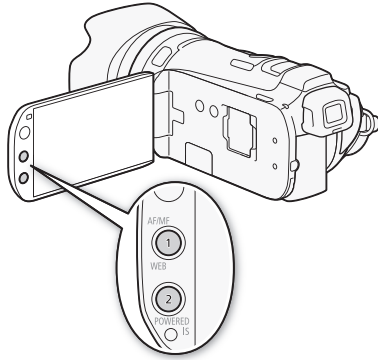
3 機能を調整する

105ページの手順3を行う。

CUSTOM（カスタム）キー／ CUSTOM（カスタム）ダイヤルの操作

設定	CUSTOM（カスタム）キー	CUSTOM（カスタム）ダイヤル
Tv/Av TV/AV	ー	シャッタースピード／しぼり値調整
M マニュアル露出	しぼり、シャッタースピード、ゲインの項目移動	マニュアル露出値調整
AGC AGCリミット	ON/OFF	AGCリミット値調整
± 露出	ON/OFF	露出値調整

アサインボタンの機能を変更する ビデオ 写真

本機には2個のアサインボタンがありますので、使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズすることができます。

アサインボタンの番号とボタン名、初期設定は次のとおりです。

ボタン名	初期設定
アサインボタン1	AF/MF*
アサインボタン2	パワードIS

* 再生時はWEBボタンとして動作します。

アサインボタンには次の機能を割り当てることができます。

機能名	内容
強制逆光補正	強制逆光補正のON/OFFを切り換える。
フェイスオンリー AF	フェイスオンリー AFのON/OFFを切り換える。
シナリオモード	シナリオモードのON/OFFを切り換える。
ビデオスナップ	ビデオスナップのON/OFFを切り換える。
優先WB	優先ホワイトバランスのON/OFFを切り換える。
パワードIS	パワードISのON/OFFを切り換える。
AF/MF	AF（オートフォーカス）とMF（マニュアルフォーカス）を切り換える。

機能を変更する

例：アサインボタン1にフェイスオンリー AFを割り当てる場合

FUNC.

1 タッチする

MENU

2 フェイスオンリー AFを選ぶ

① MENU（メニュー）→ をタッチする。
② 上下にドラッグして、「アサインボタン1」をタッチする。
③「 フェイスオンリー AF」をタッチする。

×

3 タッチする

アサインボタンを使う

必要なときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用する。

メニューデータの保存と読み出し

FUNC. メニュー、メニュー、シネマルックフィルター（📖 129）で行った各種の設定情報をメニューデータ（設定データ）としてSDカードに保存することができます。メニューデータ（設定データ）は必要に応じて本機に読み出して再利用できます。複数のカメラを同じ設定にするときに便利です。

メニューデータをSDカードに保存する

撮る 見る　モードスイッチ AUTO M CINEMA

	1 カードスロットBにコピー先となるカードを入れる
FUNC.	**2** タッチする
MENU	**3** メニュー設定保存Bを選ぶ ① MENU（メニュー）→ をタッチする。 ② 上下にドラッグして、「メニュー設定保存B」をタッチする。 ③「保存」→「はい」をタッチする。 ● 現在のメニュー設定が、SDカードに保存される。 ④「OK」をタッチする。
×	**4** タッチする

カスタマイズ

メニューデータをSDカードから読み込む

撮る 見る　モードスイッチ AUTO M CINEMA

SDカードに保存されている設定データを読み込んで本機に設定します。

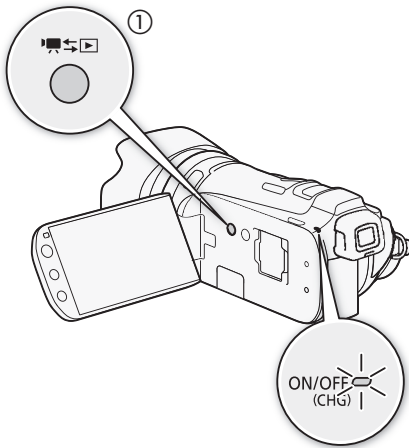
	1 カードスロットBに読み込み元となるカードを入れる
FUNC.	**2** タッチする
MENU	**3** メニュー設定保存Bを選ぶ ① MENU（メニュー）→ をタッチする。 ② 上下にドラッグして、「メニュー設定保存B」をタッチする。 ③ 「読み込み」→「はい」をタッチする。 ● SDカードから読み込んだメニュー設定の内容に設定される。 ● 設定データが本機に読み込まれたあと、画面が一度消え、本機が再起動する（メニューは消える）。

設定データは、XA10とiVIS HF G10の間で相互に読み込んで使用することができます。一度読み込むと、共通のメニュー設定はすべて変更され、共通ではない項目については、初期設定に戻ります。

5 再生／編集

ビデオを見る

ビデオ
写真

撮った動画を日付ごとに見ることができます。

1 ボタンを押す（①）

● 電源ランプが緑色に点灯する。

2 タッチする

3 インデックス画面で見たいシーンを探す

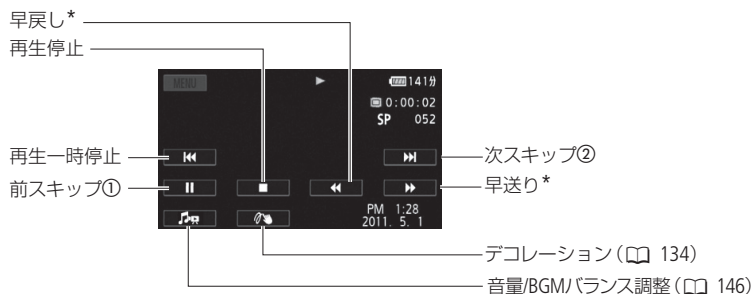
● 左右にドラッグした後、数秒間出る。つまみをドラッグしてスクロールする。

4 シーンをタッチする ▶ 再生開始！

- タッチしたシーンの再 生が終わると、インデックス画面の最後のシーンまで自動的に再生される。
- 液晶画面上をタッチすると、操作ボタンが出る。操作しないと数秒で消える（再生中のみ）。もう一度タッチしても消える。

① 現在のシーンの先頭から再生する。連続して2回タッチすると、前のシーンの先頭から再生する。
② 次のシーンの先頭から再生する。

* 操作するたびに再生速度が5倍→15倍→60倍に切り換わる。早送り/早戻し中、音声は出ない。また、液晶画面上をタッチすると通常再生に戻る。

再生中の操作

音量／ BGMバランス（📖 146）を調整する

1. 再生中に画面をタッチ→ ♫ をタッチする。
   BGMバランスとスピーカー音量*の調整バーが出る。
2. 調整バーの左右のマークをタッチするか、バー上を左右にドラッグして調節する→ ⮌ をタッチする。

* メニューの「AV/ヘッドホン」が「🎧（ヘッドホン）」のときは、「ヘッドホン音量」になる。

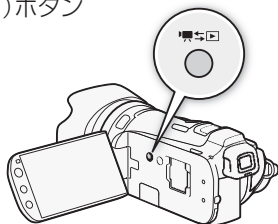
再生一時停止中の操作

* 操作するたびに再生速度が1/8倍→1/4倍に切り換わる。スロー再生/逆スロー再生中、音声は出ない。また、液晶画面上をタッチすると通常再生に戻る。

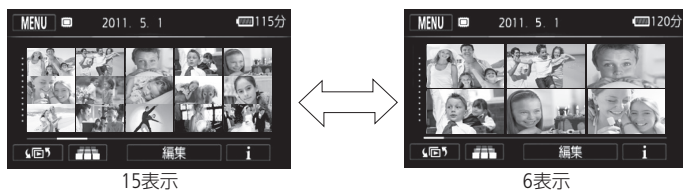
- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - モードスイッチを切り換えない。
  - ボタンを押さない。
- 他機でカードに記録した動画は本機で再生できないことがあります。

- 再生画面の日時表示を消すときは、メニューの「データコード表示」を「切」にします。表示内容を変更することもできます（ 202）。
- 撮影条件によっては、シーンが切り換わるときに映像が止まったり、音声が途切れたりすることがあります。
- 早送り/早戻し中やスロー再生/逆スロー再生中は、画面が乱れることがあります。
- 画面に出る倍速表示は目安です。
- 逆スロー再生は、連続したコマ戻しのように再生されます。

撮影と再生を切り換える（撮る／見る）ボタン

（撮る／見る）ボタンを押すと、撮影（撮るモード）と再生（見るモード）を切り換えられます。また、電源OFFのときに押すと、再生画面で起動します。
リモコン（17）の（インデックス選択）ボタンを2秒以上押しても、撮影と再生を切り換えられます。

■ インデックス画面の一覧表示数を変える

インデックス画面の一覧表示数を切り換えられます。ズームレバーを**W**側に押すと15表示、**T**側に押すと6表示となります。

15表示　6表示

■ 3Dビューからシーンを選ぶ

インデックス画面で をタッチすると3Dビュー表示に切り換わります。3Dビューでは、撮影日付が同じシーンを立体的に重ねて表示します。日付ごとに探すときに便利です。

再生／編集

メモリーと表示内容を切り換える ビデオ 写真

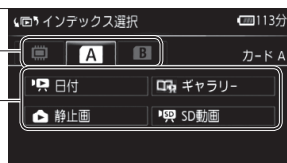
インデックス選択

インデックス画面では、表示するメモリー（内蔵メモリー／カード）とそれぞれの表示内容を切り換えることができます。また、撮影した動画を作品ごとに並べて表示することもできます（ギャラリー画面）。

表示するメモリーと内容を切り換える

1 タッチする

2 メモリーと表示内容を選ぶ

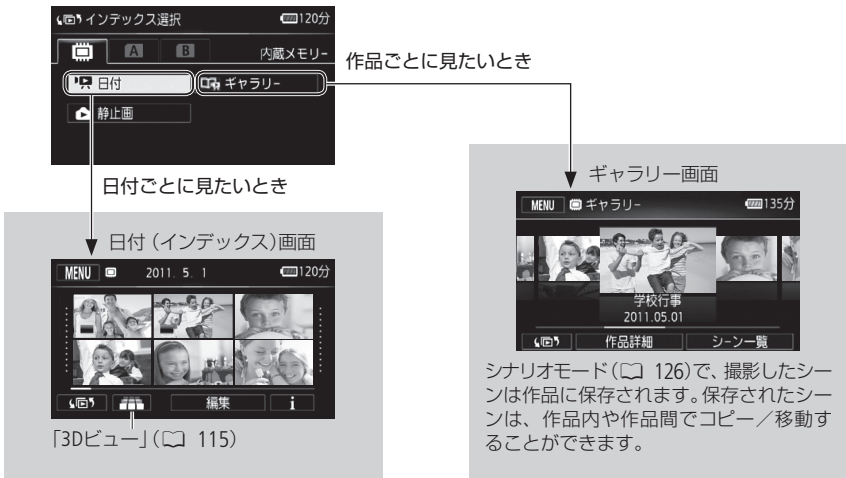
① 「(内蔵メモリー)」、「A（カードA）」または「B（カードB）」をタッチする。
② 表示する内容をタッチする。

ボタン	表示する内容
日付	撮影日付ごとの動画。
ギャラリー	「作品」ごとに分けられた動画。
静止画	静止画。
SD動画*	標準画質に変換した動画（Webアップロード用）。

* ①でA（カードA）」または「B（カードB）」を選んだときのみ。

MEMO 「SD動画」のシーンは、再生と停止のみ行えます。早送り/早戻しやスロー再生などはできません。

「日付（インデックス）」画面と「ギャラリー」画面

撮影した動画は、撮影日付ごとに一覧表示する「日付（インデックス）」画面（以下、「インデックス画面」と呼ぶ）または、作品*ごとに一覧表示する「ギャラリー」画面から再生できます。インデックス画面から再生すると、同じ日に撮ったシーンを連続して見ることができ、ギャラリー画面から再生すると、同じ作品に保存されたシーンを連続して見ることができます。ギャラリー画面の操作については141ページをご覧ください。

* 本書では、行事やイベントごとにまとめたシーンの集まりを「作品」と呼びます。

シナリオモード（□ 126）で、撮影したシーンは作品に保存されます。保存されたシーンは、作品内や作品間でコピー／移動することができます。

シーンを消す ビデオ 写真

消去

不要なシーンを複数選んでまとめて消すことができます。特定の日に撮ったシーンだけを消したり、表示しているメモリー内のすべてのシーンを消したりすることもできます。また、ギャラリー画面から1つのシーンまたはレーティングで絞り込んだシーンを消すことや、作品内の全シーンを作品ごと消すこともできます。

撮る 見る

ある日のシーン、選んだシーン、すべてのシーンをまとめて消す

1 消去するシーンを含むインデックス画面に切り換える（116）

特定の日に撮った全シーンを消すとき

左右にドラッグして、消去するシーンの日付を画面上部に出す。

編集

2 消去を選ぶ

編集 →「消去」をタッチする。

3 いずれかの消去方法をタッチする

特定の日に撮った全シーンを消すとき ― 2011. 5. 1

シーンを選んで消すとき ― 選択

すべてのシーンを消すとき ― 全シーン

（画面表示：消去）

実行

4 シーンを選んで消すとき シーンを選ぶ

① 消すシーンをタッチする。
- シーンが選択され、☑が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

② ①の操作を繰り返して、消すシーンをすべて選ぶ。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

③ 実行 をタッチする。

5 シーンを消す

① 「はい」をタッチする。

中止するとき 「中止」をタッチする。一部のシーンは消去される。

② 「OK」をタッチする。

■ 再生一時停止中のシーンを消す

II

1 消去するシーンを再生一時停止にする

① シーンまたは作品をタッチする。
- 再生が始まる。

② 液晶画面上をタッチ→ II をタッチする。
- 一時停止する。

編集

2 消去する

① 編集 →「消去」→「はい」をタッチする。
② 「OK」をタッチする。

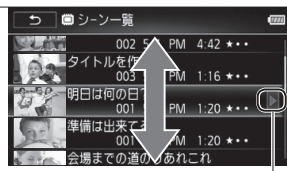
■ 作品内の1つのシーンを消す

ギャラリー画面（□ 141）で、作品内の不要なシーンを消去できます。

1 ギャラリー画面で消去するシーンを含む作品を選ぶ

① 左右にドラッグして作品を選ぶ。
② 「シーン一覧」をタッチする。

2 消去するシーンを選ぶ

① 上下にドラッグして、消去するシーンを選ぶ。
② シーンの右端のオレンジ色の枠をタッチする。

3 シーンを消去する

① 🗑(消去)→「はい」をタッチする。
② 「OK」→⮌をタッチする。

■ 作品内のシーンを絞り込んで消す

ギャラリー画面(📖 141)にて、作品内のシーンをレーティングで絞り込んで消去できます。

1 ギャラリー画面で消去するシーンを含む作品を選ぶ

① 左右にドラッグして作品を選ぶ。
② 「作品詳細」をタッチする。

2 消去を選ぶ

「作品編集」→「消去」をタッチする。

3 レーティングで絞り込んでシーンを消す

① 消去するレーティングをタッチする(複数選択可能)。
● 作品内で使われていないレーティングは灰色で表示される。

② 「決定」→「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。

③ 「OK」→⮌をタッチする。

作品と作品内のシーンをまとめて消す

ギャラリー画面（📖 141）で、作品と作品内のシーンをまとめて消去できます。「未分類」または「ビデオスナップ」の作品を消すことはできません。

1 ギャラリー画面で消去する作品を選ぶ

① 左右にドラッグして作品を選ぶ。
② 「作品詳細」をタッチする。

2 作品を消す

① 「作品編集」→「作品消去」をタッチする。
② 「はい」をタッチする。
- 作品と作品内のすべてのシーンが消去される。

中止するとき

「中止」をタッチする。

③ 「OK」をタッチする。

ご注意

- **一度消したシーンは元に戻りませんので、消す前にシーンを確認してください。**
- 作品を消去すると、作品に含まれるシーンもすべて消去されます。
- 大切な映像データは、あらかじめバックアップしてください（📖 176）。
- シーン消去中、ACCESSランプが点灯しているときは、次のことを必ず守ってください。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - モードスイッチを切り換えない。

MEMO

メモリーに記録されているすべてのシーンを消して容量を元に戻す場合は、初期化します（📖 38）。

再生／編集

シーンを分割する ビデオ 写真

分割

撮影したシーンは分割できます。分割することで、必要な部分だけを残したシーンにできます。

撮る 見る

1 分割するシーンを再生一時停止にする

① シーンまたは作品をタッチする。
- 再生が始まる。

② 液晶画面上をタッチ→［❚❚］をタッチする。
- 一時停止する。

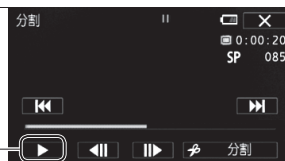
2 分割を選ぶ

［編集］→「分割」をタッチする。

3 分割する位置を決める

① 分割する位置を探す。
- ［▶］をタッチすると再生する。もう一度タッチすると一時停止する。

再生中	◀◀ ／ ▶▶	早戻し／早送り
一時停止中	◀❚❚ ／ ❚❚▶	コマ戻し／コマ送り

② 分割する位置で一時停止にする。

4 分割する

「分割」→「はい」をタッチする。
- 分割した元のシーンの次に挿入される。

MEMO
- 分割する位置を決めるときのコマ戻し／コマ送りの間隔は0.5秒です。
- 一時停止した位置で分割できないことがあります。その場合はコマ送りなどで位置を変えてください。
- 再生時、分割したシーンのつなぎ目で映像と音声が乱れることがあります。

分割できない場合

- 約3秒未満のシーンのとき。
- シーンの始めまたは終わりから約1秒以内の位置のとき。
- 付属の動画用ソフトウェアVideoBrowserで本機に書き戻したシーンのとき。

お好みのコマから再生する ビデオ 写真

タイムライン

1シーンの中からお好みのコマを選んで、選んだコマから再生できます。コマの一覧には、一定の時間ごとのコマが表示され、コマの間隔は変更できます。

撮る 見る

1 動画のインデックス画面に切り換える（ 115）

2 シーンを選ぶ

① i をタッチする。
② シーンをタッチする。

3 コマを選ぶ

他のシーンを見るとき

◀ または ▶ をタッチする。

次／前の5つのコマを表示するとき

左右にドラッグする。

コマの間隔を変えるとき

① 「6秒」をタッチする。
② いずれかをタッチ→ をタッチする。

インデックス画面に戻るとき

 を2回タッチする。

4 コマをタッチする

● 再生が始まる。

再生／編集

6 映像作品の撮影／再生／編集

映像作品を撮る

シナリオモード

シナリオモードでは、旅行、スポーツなどテーマに応じた10種類の撮影シナリオが用意され、撮影シナリオに沿って撮影することで、ストーリー性のある作品*を簡単に撮影できます。本機ではテーマは以下が用意されています。
旅行、キッズ、学校行事、ホビー、スポーツ、パーティー、イベント、メッセージ、ブログ、プロモーション
撮影した動画は、ギャラリー画面（📖 141）で作品ごとに再生できます。

* シナリオモードで、ある撮影シナリオに沿って撮影した一連の動画を「作品」と呼びます。

作品を新規に撮る

FUNC.

1 タッチする

2 シナリオモードを選ぶ

上下にドラッグして（シナリオモード）をタッチする。
● シナリオモードになる。

3 テーマを選ぶ

以前作成した作品があるとき
「新規作成」をタッチする。

左右にドラッグして、いずれかのテーマをタッチする。
● 選んだテーマのシナリオが出る。

4 「作品」を作成する

① 上下にドラッグしてシナリオシーン*を選ぶ。
* シナリオ内の各撮影項目をシナリオシーンと呼びます。
② シナリオシーンの右端の「OK」をタッチする。

タイトルを編集するとき
年月日をタッチする→画面上のキーボードから入力する（📖 153）。

③「はい」をタッチする。
●「作品」が作成され、①で選んだシナリオシーンの撮影一時停止状態になる。

5 撮影する

START/STOPボタンを押して撮影を行う。

- 選択中のシナリオシーンの標準撮影時間（秒）を目安に撮影する。
- 選択中のシナリオシーンのシーンとして、動画が記録される。
- ビデオスナップ（98）を撮ることもできる。

選択中のシナリオシーン

他のシナリオシーンのシーンを撮るとき

① シナリオシーンをタッチする。

- シナリオシーンが表示されていないときは をタッチする。

② 上下にドラッグしてシナリオシーンを選ぶ。

③ シナリオシーンの右端の枠（シーン数）をタッチする。

FUNC.

6 シナリオモードを終了する

① FUNC. →「 シナリオモード」をタッチする。

② 「はい」をタッチする。

- シナリオモードが終了し、通常の撮影一時停止画面が出る。

映像作品の撮影

- ビデオスナップを撮影する場合、「ビデオスナップ記録時間」メニュー（202）の「シナリオ連動」を「ON」にしておけば、シナリオシーンの標準撮影時間分撮ると自動的に撮影一時停止になる。
- シナリオモード中は「リレー記録」「ダブルスロット記録」は使用できません。
- アサインボタンに「シナリオモード」を割り当てると、アサインボタンを押してシナリオモードで撮影することができます。

作成済みの作品に追加撮影する

1 シナリオモードに切り換える（📖 126）

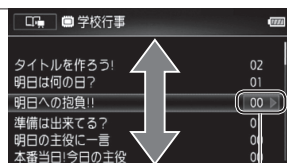
2 作品を選ぶ

左右にドラッグして、いずれかの作品をタッチする。

- 選んだ作品のシナリオが出る。

3 シナリオシーンを選択する

① 上下にドラッグしてシナリオシーンを選ぶ。
② シナリオシーンの右端のシーン数をタッチする。

- ①で選んだシナリオシーンの撮影一時停止状態になる。

4 撮影する

- 126 ～ 127ページの操作4 ～ 5を行う。

映画のように撮る ビデオ 写真

シネマモード／シネマルックフィルター

シネマモードには、9種類のシネマルックフィルターがあり、映像の色合いや調子を変えて撮影できます。シネマスタンダードでは、色の濃さ（–2 ～ +2）、ソフトフィルター（OFF、1、2、3）、キー（ローキー、ミドルキー、ハイキー）、コントラスト（–2 ～ +2）が設定できます。スタンダード以外では、効果の強さを3段階で設定できます。

CINEMA

1 CINEMAにする

2 タッチする

3 シネマルックフィルターを選ぶ

上下にドラッグして、いずれかのフィルターを選ぶ。

● 画面の表示が、選んだフィルターの色合いに変わる。

4 効果の強さを選ぶ

シネマスタンダードの場合

① をタッチする。
② 「ON」をタッチする。
③ 調整する項目名を選びタッチする。

色の濃さ	：-2（薄い）～ +2（濃い）
ソフトフィルター	：OFF、1 ～ 3
キー、ミドルキー	：L、M、H
コントラスト	：-2（暗い）～ +2（明るい）

④ 調整が終わったら をタッチする。

シネマスタンダード以外の場合

① をタッチする。
② 「L」（弱）、「M」（中）、「H」（強）のいずれかをタッチする。
③ をタッチする。

OK

5 タッチする

シネマルックフィルターの一覧

1 シネマスタンダード

映画のような基本画質。

2 ポップ

色彩にメリハリをきかせ軽快な印象に。

3 ファンタジー

まるで夢の中にいるかのような柔らかな幻想世界。

4 クール

見慣れたシーンをシャープで未来的なイメージに。

5 ノスタルジック

渋い発色と引き締まる画で、昔の映画のように。

6 セピア

何気ない日常の印象から懐かしい記憶の世界へ。

7 オールドムービー

画面に揺れや傷、明滅をつけて映画館のように。

8 メモリー

はるか昔に出会った場面のように。

9 ダイナミックモノクローム

黒と白の階調を際立たせ、力強い臨場感に。

シネマモードのときは静止画を記録できません。

映像からビデオスナップや写真を作る

ビデオ
写真

撮影した映像から4秒間*のビデオスナップを作ったり、写真として切りとったりすることができます。

* 記録時間は、メニューの「ビデオスナップ記録時間」で2秒、4秒、8秒のいずれかに変更できます（□ 202）。

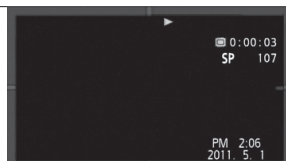
撮る 見る

映像からビデオスナップを作る

1 シーンまたは作品をタッチする

- 再生が始まる。
- ビデオスナップを作成するシーンを再生する。

2 押す

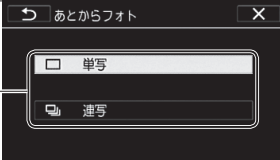
- 4秒間のビデオスナップが作成され、再生が一時停止する。
- ビデオスナップ作成中は青い枠が動き、作成後はシャッターを切ったときのように画面が一度黒くなる。

3 再生を終える

液晶画面上をタッチ→［■］タッチする。

- 再生開始前の画面に戻る。

- 再生中のみビデオスナップを作成できます。再生一時停止中は作成できません。
- 元のシーンと同じ日付（作品）の末尾に保存されます。

ビデオスナップを作成できない場合

- 約1秒未満のシーンのとき。
- 付属の動画用ソフトウェアVideoBrowserで本機に書き戻したシーンのとき。

再生中のシーンがビデオスナップのときは、作成元となるシーンの記録時間によってはビデオスナップを作成できないことがあります。

- シーンの終わりから約1秒以内の位置で作成すると、次のシーンの先頭からのビデオスナップになります。
- 再生中のシーンから作ったビデオスナップは、再生時、シーンのつなぎ目で映像と音声が乱れることがあります。

映像を写真として切りとる（あとからフォト）

撮影した映像から、気に入った場面を静止画として切りとれます。映像の中の1秒間を連続して静止画に切りとることもできます。記録される静止画のサイズは1920×1080です。

準備する

MENU / 〔アイコン〕	1	**切りとりかたを選ぶ** ① MENU（メニュー）→〔アイコン〕をタッチする。 ② 上下にドラッグして、「あとからフォト」をタッチする。 ③「単写」または「連写」をタッチする。
×	2	**タッチする**

静止画を切りとる

Eye-Fiカードを使うときは、事前に「ご注意」（📖 133）を確認してください。

	1	**静止画を切りとるシーンを再生する** シーンまたは作品をタッチする。 ● 再生が始まる。
❚❚	2	**静止画を切りとる位置で再生一時停止にする** 液晶画面上をタッチする→❚❚をタッチする。
PHOTO	3	「単写」を選んだとき **タッチする** 「連写」を選んだとき **タッチしつづける** ● コマ送りをしながら静止画が記録される。

Eye-Fiカードをカードスロット🅱に入れて記録先に設定した場合、静止画を切り取ると、通信が可能であれば自動的にアップロードが開始されます。Eye-Fiカードを使うときは、その国や地域での使用が認められているかを必ずご確認ください（📖 193）。

- 切りとった静止画の撮影日時は、元の動画を撮影したときの日付と時刻が設定されます。
- 動きの速い映像を静止画として切りとると、ブレた静止画になることがあります。
- 静止画は、メニューの「静止画記録」で記録先として選んだメモリーに記録されます。

連写のとき

- 最大100枚まで記録できます。
- 連写中、次のシーンに切り換わると連写が止まります。
- 約1/30秒ごとにコマ送りをしながら記録します。メニューの「フレームレート」を「PF24」または「24P」に設定して撮影した動画の場合は、約1/24秒ごとのコマ送りになります。

映像にデコレーションをつける

デコレーション

液晶画面上のキャンバスに、手書き文字やマーク、アニメーション、背景画像などのデコレーション（飾り付け）をつけて撮影することができます。デコレーションをつけて撮ると、デコレーションに重ねて映像が記録されるため、作品を思いのままに飾ることができます。また、シーンや作品を再生するときや、Webアップロード用に変換するとき（📖 185）にデコレーションをつけることもできます。デコレーションの手書き操作はスタイラスペン（付属）の使用が便利です。

撮る 見る | モードスイッチ AUTO M CINEMA

デコレーションモードの画面

デコレーションモードの画面には、描画領域の「キャンバス」と、描画ツールが並ぶ「ツールバー」があります。ツールバーから好みのツールを選んで、キャンバス上に自由に描くことができます。

ペン&スタンプ	ペン、クレヨンなどのペン先、星などのマークを選べ、さらにペン先／マークの色を選択できる。キャンバス上に、ペンで線を描いたり、マークでスタンプしたりできる。描いた線やマークは保存することもできる（1種類のみ）。
アニメーション	アニメーションのパターンを選び、キャンバス上の好きな位置に配置できる。
日時&タイトル	キャンバス上の好きな位置に日付や時刻、タイトル、シナリオシーンを表示する。
画像ミックス*	映像とフレーム画像を合成できる。フレーム画像は27種類から選べ、ペン&スタンプやアニメーションと組みあわせることもできる。また、再生するときにはウォーターマーク（透かし）としても使える。
画面静止*	撮るモードのとき　：画面の映像を静止させる。静止中も動画の記録が可能。▶II◀ をタッチすると画面の静止が解除される。 見るモードのとき　：再生を一時停止する。▶ をタッチすると再び再生する。
ツールバー移動	ツールバーを小さくして画面左上に移動する。をタッチすると再び出る。

* シネマモードでは使用できません。

デコレーションをつけて撮る

FUNC.

1 タッチする

2 デコレーションを選ぶ

上下にドラッグして、(デコレーション)をタッチする。

- デコレーションモードの画面が出る。
- 撮るモードのときは、液晶画面を反転収納しても、デコレーションモード画面が出る。

3 ツールバーのツールを使ってデコレーションをつける

- 各ツールの使いかたは、以降の説明を参照してください。

START/STOP

4 撮影する

- デコレーションと一緒に映像が記録される。
- 撮影中にデコレーションをつけることもできる。

×

5 タッチする

- デコレーションモードの画面が閉じる。

■「ペン&スタンプ」でデコレーションをつける

1 「ペン&スタンプ」を選ぶ

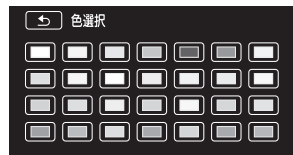
① をタッチする。
● 「ペン&スタンプ」画面が出る。

② 「ツール選択」でペンまたはスタンプをタッチする。

ツールの色を白または黒にするとき

→ □ または ■ をタッチする。

ツールの色をカラーパレットから選ぶとき

① → をタッチする。
② 好みの色をタッチする。

2 描く

タッチまたはドラッグして、キャンバスに線やマークを描く。

描いた「ペン&スタンプ」を消去するとき

→「クリア」→「はい」→ をタッチする。

描いた「ペン&スタンプ」を保存するとき

→「保存」→「はい」→ をタッチする。
● キャンバス上の「ペン&スタンプ」が内蔵メモリーに保存される。

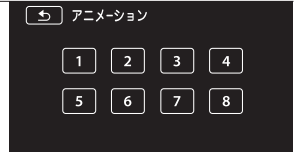
保存した「ペン&スタンプ」を読み出すとき

→「読み込み」→「はい」→ をタッチする。

「アニメーション」でデコレーションをつける

1 「アニメーション」を選ぶ

① をタッチする。
- アニメーションのパターン番号が出る。

② いずれかをタッチする。

2 描く

キャンバス上をタッチまたはドラッグする。
- 選んだパターンがキャンバスに表示される。

「日時&タイトル」でデコレーションをつける

1 「日時&タイトル」を選ぶ

① をタッチする。
② 「日付」、「時刻」、「タイトル*」、「シナリオシーン*」のうち、表示する項目をすべてタッチする。
* シナリオモードで撮影時のみ使用可能。
- タッチした項目が選択される。もう一度タッチすると解除される。

③ 「（白文字、背景あり）」または「（白文字）」、「（黒文字）」のいずれかをタッチする。
④ をタッチする。
- 「キャンバス」の中央に選んだ日時&タイトルが出る。

2 表示位置を調整する

表示された日時やタイトルなどをドラッグして、好きな位置に移動させる。

「画像ミックス」でデコレーションをつける

1 「画像ミックス」を選ぶ

① ▨ →「ON」をタッチする。

2 ミックス画を選ぶ

動画の記録/再生メモリーがカードのとき

ミックス画が保存されているメモリーをタッチする。

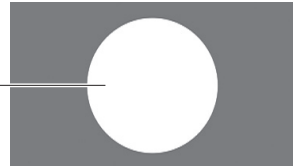
① 「+」または「−」をタッチしてミックス画を選ぶ。
② ⮌ をタッチする。
- 選んだミックス画と一緒に撮影する映像が表示される。

POINT 作った画像をミックス画として使う

① パソコン 作成した画像をミックス画の形式で内蔵メモリーまたはカードに保存する（📖 250）。
- 切り抜きたい部分を緑または青にする。

② ✋ → ▨ →「ON」をタッチする。
③ 「+」または「−」をタッチして、①で保存したファイルの番号を選ぶ。
④ ▶ をタッチする→いずれかの「クロマキー設定」を選ぶ。
⑤ バーの左右の ◀ または ▶ をタッチして切り抜き具合を調整する→「クロマキー設定」の右の ▶ をタッチする。
- バー上をドラッグして調整することもできる。

⑥ ◀ または ▶ をタッチするかバー上をドラッグして、「透過設定」を調整する→ ⮌ をタッチする。

ミックス画の例

■「画面静止」を使う

⏸	1 「画面静止」を選ぶ
	⏸ をタッチする。 ● 画面上の映像が静止する。この状態で撮影すると、静止した映像を記録できる。 ● 静止中も、ツールを選んでデコレーションできる。 ● ▶II◀ または ▶ をタッチすると再び映像が出る。

- 内蔵メモリーを初期化すると、キャンバス上に描いて保存した「ペン&スタンプ」は消去されます。なお、ご購入時、内蔵メモリーに保存されていたミックス画は消去されません。
- 「アニメーション」と「日時&タイトル」は同時に使用できません。
- メニューの「動画記録」が「(内蔵メモリー)」のとき、「A(カードA)」または「B(カードB)」に記録されているミックス画は選択できません。
- 再生中／変換中(Webアップロード用)は、ミックス画を選択できません。ミックス画は、再生一時停止中／変換開始前に選択してください。

デコレーションをつけて見る

再生する動画にデコレーションをつけて見ることができます。保存しておいた「ペン&スタンプ」のデコレーションを読み込んでつけることもできます（📖 136）。なお、再生時のデコレーションは、動画と一緒に記録されません。

1 デコレーションをつけるシーンを再生する

シーンまたは作品をタッチする。

- 再生が始まる。

2 デコレーションを選ぶ

① 液晶画面上をタッチする。

- 操作ボタンが出る。

② をタッチする。

- デコレーションモードの画面が出る。

3 デコレーションをつける

134 〜 138ページを参考に、デコレーションをつける。

映像作品を見る

ギャラリー

撮影した動画を作品ごとに見るときは、ギャラリーから再生します。作品内の各シーンにレーティング（お気に入り度）を設定しておけば、指定したレーティングのシーンだけを再生できます。なお、シナリオモードを使わないで自由に撮影したシーン／ビデオスナップは、それぞれ「未分類」／「ビデオスナップ」という名前の作品に入ります。

撮る 見る

1 ギャラリー画面に切り換える

① をタッチする。
② 「ギャラリー」をタッチする。

2 再生する作品を選ぶ

● 左右にドラッグして、いずれかの作品を中央に表示させる。
● レーティングされたシーンがある場合は、操作3を行ってください。

3 再生するシーンを絞り込む

① 「作品詳細」をタッチする。
② 「再生レーティング」をタッチする。

現在の再生レーティング

③ いずれかのレーティングをタッチする。
④ を2回タッチする。

絞り込み後の再生時間
絞り込み後のシーン数

映像作品の撮影

4 作品をタッチする

明日の主役に一言
PM 1:10
2011. 5. 1

- 再生が始まる。
- シナリオモードで撮影した作品を再生しているときは、液晶画面上をタッチ→ [アイコン] をタッチするとシナリオシーンが出る。液晶画面上をタッチ→ [アイコン] をタッチすると消える。
- 再生中の操作は、インデックス画面から再生したときと同じ（ 113）。
- タッチした作品の再生が終わると、ギャラリー画面に戻る。

ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。

- カードカバーを開けない。
- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- モードスイッチを切り換えない。
- [ボタンアイコン] ボタンを押さない。

お気に入り度を設定する

ビデオ 写真

レーティング

作品内のシーンにレーティング（お気に入り度）を設定できます。レーティングを設定しておくと、特定のレーティングのシーンだけを絞り込んで、再生、消去、コピーなどを行うことができます。
撮影直後のシーンにレーティングを設定することもできます。

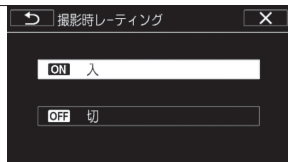
撮る 見る

撮影直後のシーンに設定する

FUNC.
1 タッチする

MENU / ON
2 撮影時レーティングをONにする

① MENU（メニュー）→ をタッチする。
②「撮影時レーティング」をタッチする。
③ ON（入）をタッチする。

×
3 タッチする

START/STOP
4 撮影する

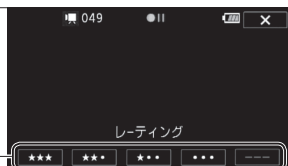
START/STOPボタンを押す。
- 撮影が終わるとレーティング選択の画面が出る。

5 タッチする

「★★★」（三つ星）～「★••」（一つ星）、「•••」（未評価）、「―――」（NG）のいずれかをタッチする。
- 撮影待機中の画面に戻る。

撮影ごとのレーティングをしないとき

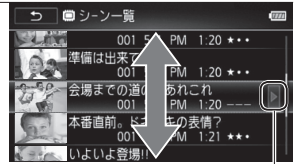
① × をタッチする。
- 設定変更の画面が出る。

②「ここで設定」で「切」をタッチする。

一覧から選んだシーンに設定する

1 ギャラリー画面で作品を選ぶ

① 左右にドラッグして作品を選ぶ。
② 「シーン一覧」をタッチする。

2 レーティングを設定するシーンを選ぶ

① 上下にドラッグして、シーンを選ぶ。
② シーンの右端のオレンジ色の枠をタッチする。

3 レーティングを設定する（□ 143）

① いずれかをタッチ→[戻る]をタッチする。
● 選んだシーンに★（選んだレーティング）が出る。

② [戻る]をタッチする。

再生中の気に入った場面で設定する

作品を再生しながら気に入った場面のシーンにレーティングを設定できます。

1 ギャラリー画面から作品を再生する

作品をタッチする。

- 再生が始まる。

2 気に入った場面で再生一時停止にする

[II]

液晶画面上をタッチ→[II]をタッチする。

3 レーティングを設定する

[編集] [×] [■]

① [編集]→「レーティング」をタッチする。
② いずれかのレーティングをタッチ→[×]をタッチする。
③ 必要に応じて、[▶]をタッチしてふたたび再生し、操作2 ～操作3を繰り返す。
④ [■]をタッチする。

レーティング

音楽と一緒に再生する

ビデオ
写真

撮りためた映像を好きな音楽と一緒に再生して、短編映画のような映像を楽しむことができます。携帯オーディオプレーヤーなどとつないで、好きな音楽と一緒に再生することもできます。

撮る　見る

ビデオカメラ内の音楽と一緒に再生する

映像と一緒に記録された音声（以下「音声」と記載）と音楽（BGM）をミックス（混合）して再生できます。音声と音楽の混合比率（BGMバランス）を変更することもできます。

1 インデックス画面またはギャラリー画面に切り換える（□ 116）

MENU ON ▲ ▼

2 選曲する

① MENU（メニュー）→「BGM選択」→ ON（入）をタッチする。
② ▲ または ▼ をタッチして曲の番号を選ぶ。

- ▶（再生）をタッチすると曲が試聴できる。もう一度タッチすると停止する。
- OFF（切）をタッチすると撮影時の音声が再生される。

曲を消すとき

②の後、🗑→「はい」をタッチする。

3 BGMバランスを調整する

または ♫ をタッチするか、バー上を左右にドラッグして調整する。

- をタッチすると音声が大きくなり、♫ をタッチすると音楽（BGM）が大きくなる。

×

4 タッチする

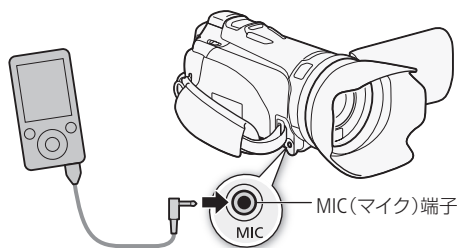
5 シーンまたは作品をタッチする

- 映像と音楽が再生される。

再生中にBGMバランスを調整する

① 液晶画面上をタッチ→ ♫ をタッチする。
② BGMバランス調整バーの左右のマークをタッチするか、バー上を左右にドラッグして調整する。
③ ⮌ をタッチする。

オーディオプレーヤーの音楽と一緒に再生する

お気に入りのシーンや作品に好きな音楽を重ねて、より印象的な映像にして楽しめます。

本機のMIC端子には、Φ3.5 mmステレオミニプラグが接続できます。Φ3.5mmMIC端子にはプラグの径がΦ9.5mm以下のものをご使用ください。

1 プレーヤーをMIC端子につなぐ

2 インデックス画面またはギャラリー画面に切り換える（□ 116）

プレーヤーの音楽と連動して再生するとき

左右にドラッグして、再生するシーンを含む日付（インデックス画面のとき）または作品（ギャラリー画面のとき）を選ぶ。

MENU
ON

3 外部音源入力を選ぶ

① MENU（メニュー）をタッチする。
② 上下にドラッグして、「外部音源入力」→「ON 入 ♫」をタッチする。

[×]

4 音量を調節する

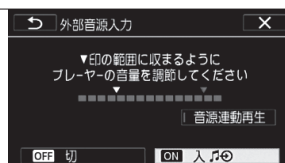
① プレーヤーの音楽を再生する。
- 現在の音量がレベルメーターに表示される。

② レベルメーターの表示が2つの▼の間に収まるように、プレーヤーの音量を調整する。

プレーヤーの音楽と連動して再生するとき

音楽の再生を止め、「音源連動再生」をタッチする。

③ [×]をタッチする。

外部音源入力
▼印の範囲に収まるように
プレーヤーの音量を調節してください
音源連動再生
OFF 切
ON 入

5

「音源連動再生」がOFFの場合

シーンまたは作品をタッチする

- プレーヤーの音楽と一緒にシーン／作品が再生される。
- 映像と音楽の停止は連動しない。

「音源連動再生」がONの場合

プレーヤーを再生する

- 選んだ日付や作品の最初の映像から自動で再生される。
- プレーヤーの音楽が終了すると、自動的に映像の再生も一時停止する。音楽が始まると、映像の再生が再開される。
- 映像の再生が終了しても、プレーヤーの音楽は自動的に停止しない。

本機能で複製した音楽著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。責任を持ってご使用ください。

MEMO

- メモリーを初期化すると、パソコンから転送した音楽が消去されます。なお、ご購入時、内蔵メモリーに保存されていた音楽は消去されません。
- 音楽は、付属の動画用ソフトウェアTransfer UtilityまたはVideoBrowserを使って、付属の「フォトアプリケーション Ver.35/音楽データ/画像ミックスデータディスク」から転送できます。その際、再生する動画と同じメモリーに保存してください。詳しくは、Transfer UtilityまたはVideoBrowserの取扱説明書(PDF)をご覧ください。
- 外部機器の音量が小さすぎる、外部機器からの音声信号にノイズが入るなどによって、映像が音楽に連動して再生されないことがあります。

作品内のシーンを並べ換える

ビデオ
写真

コピー／移動

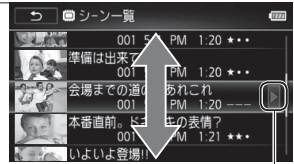
作品内のシーンをコピーしたり移動したりして、シーンを並べ換えることができます。コピー先や移動先を同じメモリー内の別の作品にすることもできます。

撮る 見る

1 ギャラリー画面で作品を選ぶ

① 左右にドラッグして作品を選ぶ。
② 「シーン一覧」をタッチする。

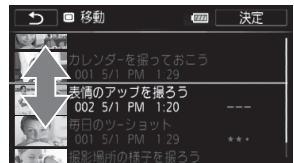
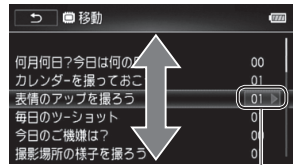
2 シーンを選ぶ

① 上下にドラッグしてシーンを選ぶ。
② シーンの右端のオレンジ色の枠をタッチする。

3 コピー／移動先を選ぶ

① 「コピー」または「移動」をタッチする。
② 左右にドラッグして、コピー／移動先の作品を選ぶ→タッチする。
③ 上下にドラッグしてシナリオシーンを選ぶ→オレンジ色の枠をタッチする。

コピー／移動先にシーンがないとき
操作4に進む。

④ 上下にドラッグして、コピー／移動先を選ぶ→「決定」をタッチする。
● オレンジ色の水平線を合わせる。

⑤ 「決定」をタッチする。

4 コピーまたは移動する

① 「はい」をタッチする。
- 「移動」の場合、対象のシーンは元の作品から消去される。

コピーを中止するとき

「中止」をタッチする。

コピーのとき

「OK」をタッチする。

② をタッチする。

MEMO 「未分類」または「ビデオスナップ」をコピー先／移動先にすることはできません。

作品のサムネイルを設定する

ビデオ
写真

作品サムネイル

作品内の映像の1場面を、ギャラリー画面で表示される作品のサムネイル（縮小画像）として設定できます。

撮る 見る

1 ギャラリー画面で作品を選ぶ

① 左右にドラッグして作品を選ぶ。
②「作品詳細」をタッチする。

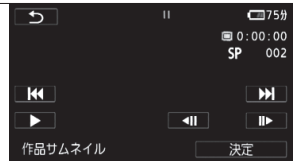
2 作品サムネイルを選ぶ

「作品編集」→「作品サムネイル」をタッチする。

3 サムネイルにする場面を選ぶ

① サムネイルにする位置を探す。
- ▶ をタッチすると再生する。もう一度タッチすると一時停止する。

再生中	◀◀ ／ ▶▶	早戻し／早送り
一時停止中	◀II ／ II▶	コマ戻し／コマ送り

② サムネイルにする位置で一時停止にする。
③「決定」をタッチする。
④ ⮌ をタッチする。

作品のタイトルを編集する

ビデオ
写真

タイトル編集

作品にお好みの名前（タイトル）を付けることができます。タイトルには、英数字と記号、スペースを最大14文字入力できます。なお、「未分類」または「ビデオスナップ」のタイトルを編集することはできません。

撮る　見る

1 ギャラリー画面で作品を選ぶ

① 左右にドラッグして作品を選ぶ。
② 「作品詳細」をタッチする。

2 タイトル編集を選ぶ

「作品編集」→「タイトル編集」をタッチする。

3 タイトルを編集する

① 画面上のキーボードをタッチしてタイトルを入力／編集する。
● 次のキーをタッチすると、キーボード上のキー配列が切り換わる。

A/a	大文字と小文字を切り換える。
123 / ABC	数字・記号と英字を切り換える。
#%? / *&+	数字・記号のキー配列のときに、記号1と記号2を切り換える。

② 「OK」をタッチ→ を2回タッチする。

MEMO タイトルに、「 / 」「 \ 」「 < 」「 > 」「 : 」「 * 」「 " 」「 | 」「 ? 」の文字を使用した場合、付属のVideoBrowserの「ギャラリーモードの映像ファイルと音楽ファイルを結合して取り込む」で、映像ファイル取り込みを行うと、取り込んだファイル名の上記文字部分が「 _ 」に置き換えられます。また、「 \ 」は、映像ファイル取り込み画面のギャラリーリスト表示では「 ¥ 」に置き換えられ、取り込んだファイル名では「 _ 」に置き換えられます。

7

接　続

テレビで見る ビデオ 写真

テレビで再生すると、より大きな画面で鑑賞できます。ハイビジョンテレビにつないで美しい映像をお楽しみください。

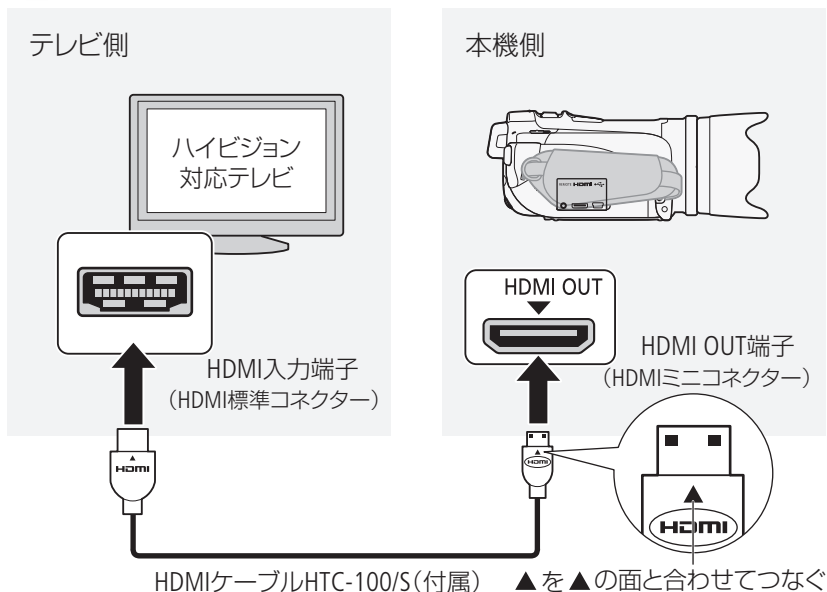
1 テレビの端子をチェックし、接続方法を決める

2 本機とテレビの電源を切る

3 ケーブルを使ってテレビと接続する

4 本機とテレビの電源を入れる
- テレビ側で入力端子を切り換える

5 再生する
動画を見るとき（📖 112）／静止画を見るとき（📖 162）

ハイビジョン画質で見る
HDMI端子に接続する

（HDMI OUT端子）に接続するときの注意

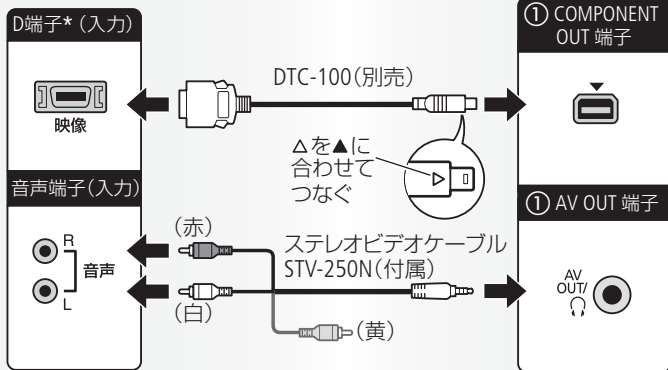
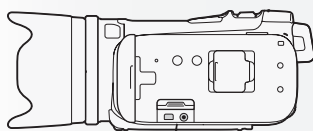
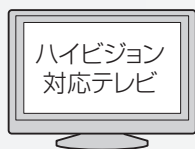
- この端子は出力専用です。他機の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- この端子で接続していると、他の端子から映像は出力されません。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- テレビによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、Ⓑ または Ⓒ の方法で接続してください。

HDMIとは？

1本のケーブルで映像と音声を高品位なデジタル信号のままで送受信できる規格です。本機のHDMI OUT端子では、接続するテレビの解像度に自動的に変換して映像を出力します。HDMI対応の機能については、メニューの「HDMI機器制御」、「HDMI出力状態」、「HDMI1080p出力」をご覧ください（208）。

接続

ハイビジョン画質で見る

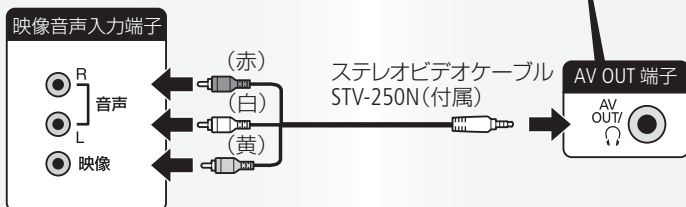
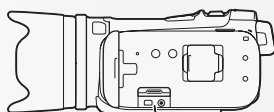
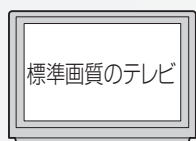
D端子と音声端子に接続する

*D3端子／D4端子／D5端子につなぎます。D1端子／D2端子では見られません。

設定する

メニューの「AV/ヘッドホン」（205）を「AV」に設定する。

標準画質で見る

映像／音声端子に接続する

つなぐ

設定する

1 ワイド（16:9）モードのない標準画質のテレビ（4:3）につなぐときは、メニューの「テレビタイプ」（□ 202）を「ノーマルテレビ」に設定する。

2 メニューの「AV/ヘッドホン」（□ 205）を「AV」に設定する。

- メニューの「x.v.Color」を「入」にして撮影した動画を、**x.v.Color**対応のテレビで見るときは、テレビ側の設定が必要になることがあります。詳しくはテレビの説明書をご覧ください。
- テレビで見るときは、本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐと、バッテリーの消耗を気にせずご覧になれます。
- AV OUT端子にステレオビデオケーブルをつなぐと、スピーカーから音声は出ません。
- 接続方法 Ⓒ でつなぐ場合、テレビがビデオ ID-1 方式に対応していると、自動的にワイド画面（16：9）に切り換わります。切り換わらない場合は、テレビ側で切り換えてください。

8 静止画

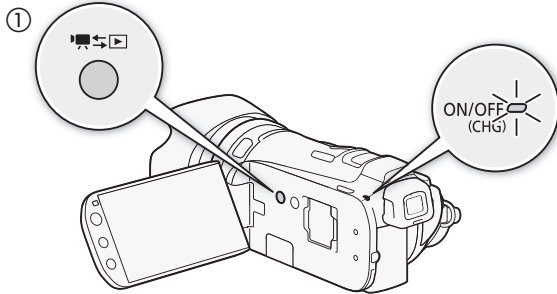
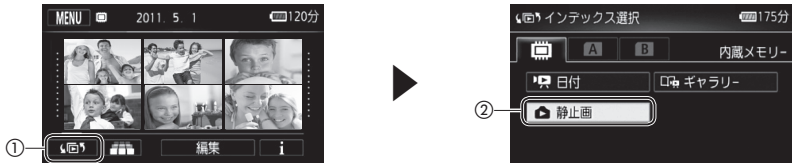
写真を見る ビデオ 写真

1 ボタンを押す（①）

● 電源ランプが緑色に点灯する。

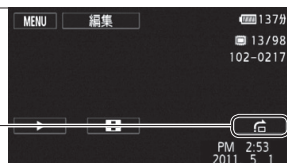
2 押す

3 見たい静止画を探す

メモリーと表示内容を切り換える（□ 116）

4 静止画をタッチする

● 静止画が再生される（1枚表示画面）。
● 再生中、左右にドラッグで次または前の静止画に切り換わる。

■ 再生中に他の静止画にジャンプする（静止画ジャンプ）

1 静止画再生中 液晶画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

2 タッチする

3 ジャンプバーのつまみを左右にドラッグする

- ジャンプ先の静止画が再生される。

4 タッチする

静止画

インデックス画面を出す

静止画再生中にインデックス画面に切り換える方法です。

1 静止画再生中 液晶画面をタッチする

● 操作ボタンが出る。

2 [⊞] タッチする

MENU 編集 137分 13/98 102-0217 PM 2:53 2011. 5. 1

● ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。

■ カードカバーを開けない。
■ 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
■ モードスイッチを切り換えない。
■ 🎥⇆▶ ボタンを押さない。

● 次の静止画は正しく再生されないことがあります。

■ 本機以外の製品で記録したとき。
■ パソコンで作成や加工をしたとき。
■ パソコンでファイル名を変更したとき。

順番に再生する

ビデオ
写真

スライドショー

音楽と一緒に静止画を順番に再生します。テレビにつないで家族や友人と見るときなどに便利です。音を出さないで再生することもできます。

撮る 見る

音楽と一緒に再生する

1 選曲する

カメラ内の音楽のとき

146ページの操作2と4を行う。

プレーヤーなどの音楽のとき

147ページの操作2 ～ 3を行う。

2 「音源連動再生」がONの場合

プレーヤーを再生する

- インデックス画面の最初の静止画からスライドショーが始まる。

「音源連動再生」がOFF、またはカメラ内の音楽の場合

スライドショーを開始する

① スライドショーを開始する静止画をタッチする。
② 液晶画面上をタッチ→ ▶ （再生）をタッチする。
- スライドショーと音楽の再生が始まる。

音量を変えるとき

液晶画面上をタッチ→🔈または🔊をタッチする。

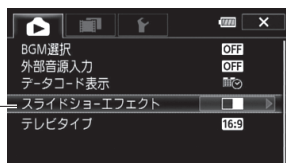
スライドショーを止めるとき

液晶画面上をタッチ→ ❚❚ をタッチする。

静止画

POINT 効果をつけて再生する

スライドショーに効果をつけて見ることができます。

① [MENU]をタッチする。
② 上下にドラッグして、「スライドショーエフェクト」をタッチする。
③ 「▦クロスフェード」または「□■スライド」をタッチ→[×]をタッチする。

MEMO

- 音楽は、付属の動画用ソフトウェアTransfer UtilityまたはVideoBrowserを使って、付属の「フォトアプリケーション Ver.35 / 音楽データ / 画像ミックスデータディスク」から転送できます。その際、再生する動画と同じメモリーに保存してください。詳しくは、Transfer UtilityまたはVideoBrowserの取扱説明書（PDF）をご覧ください。
- プレーヤーなどの音楽と一緒に再生する場合、スライドショーは音楽が終わるまで繰り返し再生され、音楽が終わると終了します。

写真を消す　ビデオ　写真

静止画消去

不要な静止画は消去できます。再生中の静止画を消す方法と、選んだ静止画やすべての静止画をまとめて消す方法とがあります。

撮る　見る

再生中の静止画を消す

1 静止画再生中 液晶画面をタッチする
- 操作ボタンが出る。

編集 2 消去を選ぶ
① 編集→「消去」をタッチする。
- 消去画面が出る。
- 左右にドラッグで別の静止画を選ぶこともできる。

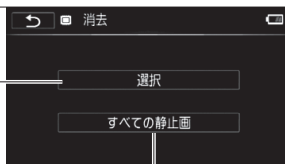
② 「実行」→「はい」をタッチする。

× 3 タッチする

選んだ静止画／すべての静止画をまとめて消す

1 消去する静止画を含む静止画インデックス画面に切り換える（116）

編集 2 消去を選ぶ
編集→「消去」をタッチする。

3 いずれかの消去方法をタッチする
静止画を選んで消すとき
すべての静止画を消すとき

静止画

4 静止画を選んで消すとき 静止画を選ぶ

① 消す静止画をタッチする。
- 静止画が選択され☑が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

② ①の操作を繰り返して、消す静止画をすべて選ぶ。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

実行

5 静止画を消す

① 静止画を選んで消すとき 実行 をタッチする。
② 「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。一部の静止画は消去される。

③ 「OK」をタッチする。

一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。
- 他機でプロテクトされている静止画は消せません。

撮影データの保存／共有

撮影データの保存／共有

ビデオ
写真

撮影した動画、静止画は以下のように保存できます。

カードにコピーする

パソコンに保存する

DVDレコーダーなどにダビングする

動画共有サイトにアップロードする

ディスクを作成する

ビデオ／写真をカードにコピーする

ビデオ
写真

コピー

撮影した動画や静止画を内蔵メモリーからカード、またはカードからカードへコピーできます。選んだシーン／静止画やすべてのシーン／静止画をまとめてコピーします。動画の場合は、特定の日に撮影したシーンをすべてコピーすることもできます。また、ギャラリー画面から作品をコピーするときは、作品内のシーンをレーティングで絞り込んでコピーすることができます。

撮る 見る

動画をコピーする

選んだシーン、ある日のシーン、すべてのシーンをまとめてコピーする

インデックス画面から、選んだシーンや指定した日に撮ったシーン、すべてのシーンをまとめてコピーできます。インデックス画面からコピーしたシーンは、コピー先の「未分類」の作品に保存されます。

1 カードスロットBにコピー先となるカードを入れる

2 コピー元となる内蔵メモリーまたはカードAのインデックス画面を出す（□ 116）

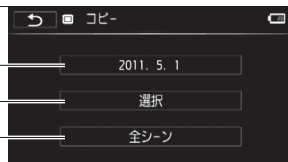
特定の日に撮ったシーンをコピーするとき

左右にドラッグして、コピーするシーンの日付を画面上部に出す。

3 コピーを選ぶ

編集 → 「コピー [→ B]」または「コピー [A → B]」をタッチする。

4 いずれかのコピー方法をタッチする

特定の日に撮った全シーンをコピーするとき
シーンを選んでコピーするとき
すべてのシーンをコピーするとき

5 シーンを選んでコピーするとき シーンを選ぶ

① シーンをタッチする。
- シーンが選択され、☑が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

② ①の操作を繰り返して、コピーするシーンをすべて選ぶ。

選択をすべて解除するとき

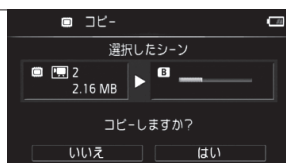
「全解除」→「はい」をタッチする。

6 カードにコピーする

① シーンを選んでコピーするとき 実行 をタッチする。
② 「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。

③ 「OK」をタッチする。

作品をコピーする

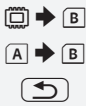
作品をカードにコピーできます。作品内のシーンは、レーティングで絞り込むことができます。コピー先には、カードスロットBのカードが自動的に選ばれます。

1 カードスロットBにコピー先となるカードを入れる

2 コピー元となる内蔵メモリーまたはカードAのギャラリー画面を出す（□ 116）

3 作品を選ぶ

① 左右にドラッグして作品を選ぶ。
② 「作品詳細」をタッチする。

[戻る]	**4 作品内のシーンを絞り込む** ① 141ページの操作3の② ～ ③を行う。 ② [戻る]をタッチする。
[内蔵メモリー→B] [A→B] [戻る]	**5 カードにコピーする** ① 「作品編集」→「コピー [内蔵メモリー→B]」または「コピー [A→B]」をタッチする。 ② 「はい」をタッチする。 中止するとき 「中止」をタッチする。 ③ 「OK」→[戻る]をタッチする。

静止画をコピーする

Eye-Fiカードを使うときは、事前に「ご注意」（📖 175）を確認してください。

再生中の静止画をコピーする

[SDカード]	**1 カードスロットBにコピー先となるカードを入れる**
	2 静止画再生中 コピー元となる静止画を選ぶ ● 内蔵メモリーまたはカードAに保存されている静止画を選ぶ。
	3 液晶画面をタッチする ● 操作ボタンが出る。
[編集] [内蔵メモリー→B] [A→B] [実行] [×]	**4 コピーする** ① [編集]→「コピー [内蔵メモリー→B]」または「コピー [A→B]」をタッチする。 ● コピー画面が出る。 ● 左右にドラッグして別の静止画を選ぶこともできる。 ② 「実行」→「はい」→[×]をタッチする。

保存／共有

静止画を選んでまとめてコピーする

1 カードスロットⒷにコピー先となるカードを入れる

2 コピー元となる内蔵メモリーまたはカードAの静止画インデックス画面を出す（📖 116）

編集

[内蔵メモリー] ➡ [B]

[A] ➡ [B]

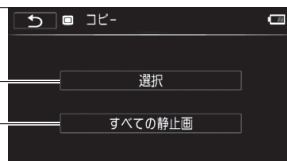
3 コピーを選ぶ

（編集）→「コピー［内蔵メモリー ➡ B］」または「コピー［A ➡ B］」をタッチする。

4 いずれかのコピー方法をタッチする

静止画を選んでコピーするとき

すべての静止画をコピーするとき

実行

5 静止画を選んでコピーするとき 静止画を選ぶ

① コピーする静止画をタッチする。

- 静止画が選択され、☑が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

② ①の操作を繰り返して、コピーする静止画をすべて選ぶ。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

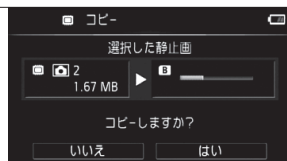
③ （実行）をタッチする。

6 カードにコピーする

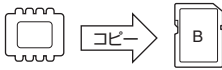
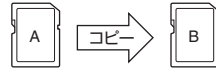
① 「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。

② 「OK」をタッチする。

ダブルカードスロットを使ってコピーするときは

本機は、動画や静止画を二つのカードスロットを使って、以下のようにコピーできます。

■ 内蔵メモリーからカードへコピーするとき　　■ カードからカードへコピーするとき

内蔵メモリーまたはカードBからカードAへのコピーや、カードAまたはカードBから内蔵メモリーへのコピーはできません。

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - モードスイッチを切り換えない。
  - ボタンを押さない。
- Eye-Fiカードをコピー先としてカードスロットBに入れて静止画をコピーすると、通信が可能であれば自動的にアップロードが開始されます。Eye-Fiカードを使うときは、その国や地域での使用が認められているかを必ずご確認ください(193)。

コピーできない場合

- カードカバーが開いていたり、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているとき。
- 付属の動画用ソフトウェアVideoBrowserで本機に書き戻したシーンのとき。
- カードスロットBにカードが入っていないとき。

- 静止画の場合、カードの空き容量が足りなくなると、コピーを中止します。

保存／共有

パソコンに保存する ビデオ 写真

撮影した映像は内蔵メモリーやカードに記録されます。万一に備えてパソコンに保存（バックアップ）してください。

撮る 見る

ハイビジョン画質で動画を保存する

付属の動画用ソフトウェアTransfer UtilityまたはVideoBrowser*1を使って、本機の内蔵メモリーやカード*2に記録された動画をパソコンに保存できます。

*1 Windowsのみ。動作環境など詳細はソフトウェアの説明書（PDF）をご覧ください。
*2 SDXCメモリーカードをご使用の場合は、「SDXCメモリーカードをお使いになるときは」（□ 33）をあらかじめご確認ください。

準備する

付属の動画用ソフトウェア（Transfer UtilityまたはVideoBrowser）をインストールしていないときは、はじめにソフトウェアのインストールが必要です。

インストールについて
→ Transfer Utility / VideoBrowserインストールガイド

詳細について
→ Transfer UtilityまたはVideoBrowserの取扱説明書（PDF）

パソコンに保存する

1 本機 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

2 本機 見るモードにする

3 本機とパソコンをつなぐ

付属のUSBケーブル

「接続するメモリーを選択してください」が出たとき

「すべて（パソコン）」をタッチする。

● パソコンの画面にTransfer UtilityまたはVideoBrowserの起動画面が出る。

4 パソコン Transfer UtilityまたはVideoBrowserを操作してパソコンに保存する

参考 Transfer UtilityまたはVideoBrowserの取扱説明書（PDF）

静止画を保存する

付属の静止画用ソフトウェア「フォトアプリケーション」を使って、撮影した静止画をパソコンに保存できます。詳しくは、フォトアプリケーションVer.35/音楽データ/画像ミックスデータディスクに入っているフォトアプリケーション使用説明書をご覧ください。

準備する

はじめて静止画をパソコンに保存するときは、ソフトウェアのインストールが必要です。2度目からは、ビデオカメラをパソコンにつなぐだけで、準備は完了です。

1 パソコン **フォトアプリケーションをインストールする**

参考 ▶▶ フォトアプリケーション使用説明書の「フォトアプリケーションをインストールする」

2 本機 **コンパクトパワーアダプターをつなぐ**

3 本機 **見るモードにする**

4 本機 **静止画のインデックス画面に切り換える**

● 内蔵メモリー、カードAまたはカードBのインデックス画面に切り換える（□ 116）。

付属のUSBケーブル

5 **本機とパソコンをつなぐ**

参考 ▶▶ フォトアプリケーション使用説明書の「ビデオカメラをパソコンに接続する」

Windowsのとき

パソコンを操作してCameraWindowを起動する。

参考 ▶▶ フォトアプリケーション使用説明書の「CameraWindowを起動する」

Macintoshのとき

CameraWindowが自動で表示される。

保存／共有

パソコンに保存する

1 パソコンで操作して静止画を保存する

参考 ▸▸ フォトアプリケーション使用説明書の「パソコンに静止画を取り込む」

- パソコンに接続しているときは次のことを必ず守ってください。
  - カードカバーを開けない。
  - カードを抜き差ししない。
  - パソコンから本機のメモリー内のフォルダーやファイルを直接操作しない。記録したデータが破損する恐れがあります。映像データをパソコンに保存したり、本機に書き戻したりするときは、付属の動画用ソフトウェアTransfer UtilityまたはVideoBrowserを使って行ってください。
- 本機のACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データが破損することがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やパソコンの電源を切らない。
  - モードスイッチやボタンを操作しない。
- パソコンに保存した映像を本機に書き戻しているときは、次のことを必ず守ってください。本機に再生できないシーンが残ることがあります。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やパソコンの電源を切らない。
- 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- 大切な元のデータを消さないために、静止画は必ずパソコンにコピーし、コピーした静止画をパソコンで使用してください。

パソコンの説明書もあわせてご覧ください。

動画を保存するとき

■ 付属の動画用ソフトウェアVideoBrowserを使用すると、動画は作品ごとに複数選んでパソコンに保存することもできます。作品ごとに保存すると、作品内のシーンがすべて結合されます。

静止画を保存するとき

■ Windows 7、Windows Vista、Windows XPおよびMac OS Xをお使いの場合は、付属のフォトアプリケーションをインストールしなくても、本機とパソコンをUSBケーブルでつなぐだけで静止画をパソコンに取り込めます。

■ 動画見るモードでパソコンに接続すると、自動的にサムネイルの作成が始まります。その場合は以下の操作を行ってください。

① 本　機　「サムネイル作成中」の画面が表示されたら、スキップをタッチする。

② パソコン　安全な取り外しを行い、USBケーブルを抜く。

③ 本　機　静止画見るモードに切り換え、パソコンと接続する。

ハイビジョン画質のディスクを作る

ビデオ
写真

付属の動画用ソフトウェアVideoBrowserを使って、ハイビジョンのディスク*1を作成できます*2。市販のブルーレイディスクレコーダーなどでハイビジョンのディスクを作るときは、はじめに撮影した映像をレコーダーにダビングします（□ 182）。ディスクの作り方については、お使いのレコーダーの説明書をご覧ください。

*1 ブルーレイやDVD（AVCHD規格）のディスク。
*2 パソコンに、書き込み可能なブルーレイドライブまたはDVDドライブが必要です。

撮る 見る

パソコンを使って作る

付属の動画用ソフトウェアVideoBrowserをインストールしていないときは、はじめにVideoBrowserのインストールが必要です。ハイビジョン画質のディスクを作るときは、はじめにディスク作成に使う動画をパソコンに保存（□ 176）します。

インストールについて

→ Transfer Utility / VideoBrowserインストールガイド

詳細について

→ VideoBrowserの取扱説明書（PDF）

標準画質のDVDを作る

付属の動画用ソフトウェアVideoBrowserを使って、標準画質のDVD（DVD-Video規格）を作成できます*。市販のDVDレコーダーなどで標準画質のDVDを作るときは、はじめに撮影した映像をレコーダーにダビングします（□ 182）。ディスクの作り方については、お使いのレコーダーの説明書をご覧ください。作ったDVDはDVDプレーヤーなどで再生できます。

* パソコンに書き込み可能なDVDドライブが必要です。

撮る 見る

パソコンを使ってDVDを作る

付属のソフトウェアVideoBrowserをインストールしていないときは、はじめにVideoBrowserのインストールが必要です。DVDを作るときは、はじめにDVDに使う動画をパソコンに保存（□ 176）します。

インストールについて

→ Transfer Utility / VideoBrowserインストールガイド

詳細について

→ VideoBrowserの取扱説明書（PDF）

DVDレコーダーなどにダビングする

ビデオ
写真

撮影した映像を他のブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーなどにダビングすることができます。

撮る 見る

ハイビジョン画質のままダビングする

USBケーブル（付属）でAVCHD規格対応のレコーダーなどと接続すれば、ハイビジョン画質のままダビングできます。また、レコーダーがお使いのカードに対応している場合は、カードからダビング可能です。なお、本機との動作確認については、お使いのレコーダーの説明書やホームページなどでご確認ください。

1 本機 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

2 本機 見るモードにする

3 本機とレコーダーをつなぐ

付属のUSBケーブル

「接続するメモリーを選択してください」が出たとき

「カードA」、「カードB」、「内蔵メモリー」のいずれかをタッチする。

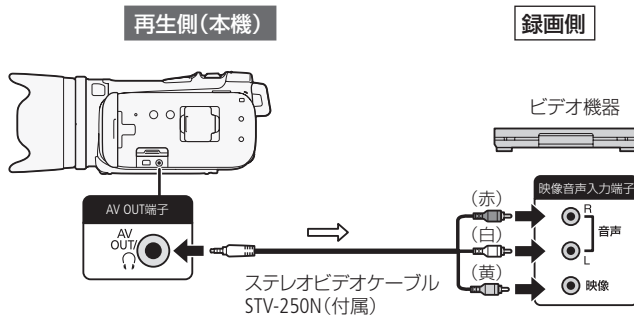
- ダビングする動画が記録されているメモリーを選ぶ。

4 レコーダー ダビングする

参考 ▶▶ お使いのレコーダーの説明書

標準画質に変換してダビングする

本機で撮った動画を映像／音声端子付きのDVDレコーダーなどにダビングできます。画質は標準画質に変換されます。

接続する

ダビングする

	1	本機 コンパクトパワーアダプターをつなぐ
	2	本機 動画のインデックス画面またはギャラリー画面に切り換える（📖 116）
MENU	3	本機 メニューの設定を確認する ● メニューの「AV/ヘッドホン」が「AV」になっていることを確認する（📖 205）。
	4	レコーダー 録画一時停止状態にする
	5	本機 シーンまたは作品をタッチして再生する ● メニューの「データコード表示」で、画面の日時表示を変更することができる（📖 202）。
	6	レコーダー 録画を始める場面で、録画操作をする

保存／共有

7 レコーダー 録画を終える

■ 8 本機 再生を終える

液晶画面上をタッチ→■をタッチする。

動画共有サイトにアップロードする

ビデオ
写真

付属の動画用ソフトウェアTransfer Utilityを使って、本機で変換した動画を動画共有サイト（YouTube）に簡単にアップロードをすることができます。VideoBrowserでは、パソコンに取り込んだ動画の変換およびアップロードをすることができます。Eye-Fiカードを使ってアップロードすることもできます。変換は、特定の日のシーン、選んだシーン、すべてのシーンをまとめて行うことや、作品内のシーンを絞り込んで行うこと、シーンの途中から行うことができます。また、変換前や変換中にデコレーション（🕮 134）をつけたり、あらかじめ選んでおいた音楽（BGM）をミックス（混合）したりする（🕮 146）こともできます。

パソコンにつないでアップロードする

撮る　見る

準備する

付属の動画用ソフトウェア（Transfer UtilityまたはVideoBrowser）をインストールしていないときは、はじめにソフトウェアのインストールが必要です。

インストールについて

→ Transfer Utility / VideoBrowserインストールガイド

詳細について

→ Transfer UtilityまたはVideoBrowserの取扱説明書（PDF）

動画をWeb用に変換（ダウンコンバート）する

はじめに、アップロードする動画を標準画質*（MPEG2形式）に変換します。変換は内蔵メモリーからカードB、またはカードAからカードBへコピーしながら行います。

* 変換した標準画質の動画を「SD動画」と呼びます。

■ 内蔵メモリーからカードへコピーしながら変換するとき

■ カードからカードへコピーしながら変換するとき

1 カードスロットBに保存先となるカードを入れる

2 内蔵メモリーまたはカードAのインデックス画面に切り換える（116）

特定の日に撮った全シーンを変換するとき

左右にドラッグして、変換するシーンの日付を画面上部に出す。

編集

3 HD→SD変換を選ぶ

特定の日に撮った全シーンを変換するとき

Webボタンを押す。

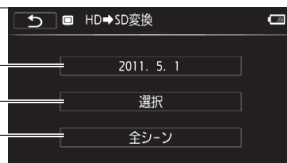
選んだシーンまたは全シーンを変換するとき

編集 →「HD→SD変換[内蔵メモリー→B]」または「HD→SD変換[A→B]」をタッチする。

4 「HD→SD変換」をタッチしたとき

いずれかの変換方法をタッチする

HD→SD変換
2011. 5. 1
選択
全シーン

特定の日に撮ったシーンを変換するとき
シーンを選んで変換するとき
すべてのシーンを変換するとき

実行

5 シーンを選んで変換するとき シーンを選ぶ

① アップロードするシーンをタッチする。
- シーンが選択され、☑が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

② ①の操作を繰り返して、アップロードするシーンをすべて選ぶ。

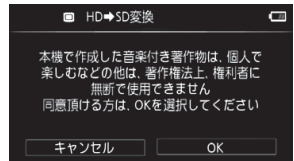
選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

③ 実行 をタッチする。

6 設定を確認する

著作権に関する確認画面が出たとき

同意する場合は、「OK」をタッチする。

- 確認画面が出る。

画質を設定するとき

① ➡「ビットレート（画質）」をタッチする。

② 「3 Mbps」または「9 Mbps」→ → をタッチする。
- 3 Mbpsは9 Mbpsよりデータ容量が小さくなるため、アップロード時間が短くなる。

長いシーンを自動分割（10分ごと）するとき

① ➡「自動分割」をタッチする。

② 「入」→ → をタッチする。

7 変換する

① 「次へ」をタッチする。

デコレーションをつけるとき

❶ をタッチ→デコレーションをつける（134）。
❷ [×]をタッチする。

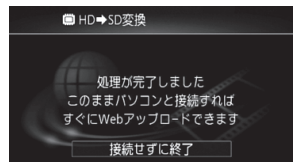
「BGMバランス」または「スピーカー音量」を調節するとき

❶ をタッチする。
❷ 調整バーの左右のマークをタッチするか、バー上を左右にドラッグして調節する。
❸ [↶]をタッチする。

② 「START」をタッチする。
- 変換が始まり、シーンが再生される。
- 変換中にデコレーションをつけることもできる。

中止するとき

「STOP」（中止）をタッチする。

- 変換が終わると右の画面が出る。

パソコンからアップロードする

1　本機とパソコンをつなぐ

- パソコンにTransfer UtilityまたはVideoBrowserの起動画面が出る。

2　パソコン　Transfer UtilityまたはVideoBrowserを操作してアップロードする

参考 ▶▶ Transfer UtilityまたはVideoBrowserの取扱説明書（PDF）

- パソコンと接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- ビデオカメラのACCESSランプが点滅しているときは、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やパソコンの電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。

- 変換には、撮影時間とほぼ同じ時間がかかります。なお、パソコンより短時間で変換できる場合が多いので、本機での変換をおすすめします。
- 188ページの操作7で「接続せずに終了」をタッチした場合、アップロードするときは動画のインデックス画面に切り換えてからパソコンに接続してください。詳しくはTransfer UtilityまたはVideoBrowserの取扱説明書（PDF）をご覧ください。

変換したSD動画を再生するには

- 「SD動画」のインデックス画面に切り換え（116）、シーンをタッチする。

保存／共有

作品内のシーンを絞り込んでWeb用に変換(ダウンコンバート)する

ギャラリー画面から、作品内のシーンをレーティングで絞り込んで標準画質(MPEG2形式)に変換します。

1 カードスロットBに保存先となるカードを入れる

2 ギャラリー画面で変換するシーンを含む作品を選ぶ

左右にドラッグして作品を選ぶ。

3 変換するシーンをレーティングで絞り込む

① 「作品詳細」→「再生レーティング」をタッチする。
② いずれかのレーティングをタッチ→ をタッチする。

4 押す

- 「作品編集」→「HD→SD変換」をタッチしてもよい。

5 設定を確認して変換する

187ページの操作6以降の操作を行う。

作品をSD動画に変換する場合

- 作品内のシーンが1つのシーンとして結合される。
- 変換後のサイズが大きい場合、10分ごとに分割されて別々のシーンになる。(「自動分割」(187)を「入」に設定しているとき)
- 変換できる記録時間は、2時間30分まで。

シーンまたは作品の途中からWeb用に変換（ダウンコンバート）する

1 カードスロットBに保存先となるカードを入れる

2 変換するシーンまたは作品を再生する

シーンまたは作品をタッチする。

- 再生が始まる。

3 変換をはじめる位置で再生一時停止にする

液晶画面上をタッチ→［II］をタッチする。

4 押す

5 設定を確認して変換する

187ページの操作6以降の操作を行う。

MEMO　再生一時停止状態で変換すると、一時停止位置から最長で10分間のシーンになります。

Eye-Fiカードを使ってアップロードする

動画のアップロードに対応したEye-Fiカード（市販）を使うと、内蔵メモリーまたはカードAに撮影した動画を標準画質（MPEG2形式）に変換するだけで、自動的に動画共有サイトにアップロードできます。

撮る 見る

準備する

あらかじめ、Eye-Fiカードに付属しているソフトウェアをパソコンにインストールして、アップロードに必要な設定を行う必要があります。詳しくは、お使いのEye-Fiカードの説明書をご覧ください。

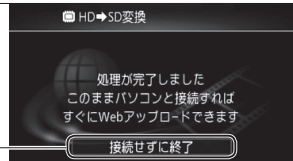
動画をWeb用に変換（ダウンコンバート）する

1 Eye-FiカードをカードスロットBに入れる

- 事前に「ご注意」（193）を確認してください。

2 シーンを選んで、アップロード用に変換する

① 186 ～ 188ページの操作2 ～ 7を行う。
- 変換が終了すると、自動的にアップロードが始まる。

② 「接続せずに終了」をタッチする。
- Eye-Fiカードの通信状態は、次のマークで確認できる。

（灰色）	未接続。
（白色点滅）	接続中。
（白色）	データの送信待機中。
（アニメーション）	データを送信中。
OFF	メニューの「Eye-Fi通信」を「切」に設定している。
	中断中。
	カード情報取得エラー（221）。

POINT **Eye-Fi通信を無効にする**

次の操作を行うと、Eye-Fi通信を無効にできます。
① [MENU](メニュー)→[設定]をタッチする。
②「Eye-Fi通信」→「切」をタッチする。
③ [×]をタッチする。

- 弊社は、Eye-Fiカードの機能(無線送信を含む)については保証いたしかねます。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。また、Eye-Fiカードの使用には、多くの国や地域で認可が必要であり、認可を取得していないものの使用は認められていません。使用が認められているかご不明の場合は、カードメーカーにご確認ください。
- 航空機の機内など、無線の使用が禁止されている場所では、Eye-Fiカードを使用しないでください。カードはあらかじめ本機から抜いてください。

- データの容量が大きいときや通信状態によっては、アップロードに時間がかかることがあります。また、通信状態が悪くなると、アップロードを中断することがあります。

電源について

■ Eye-Fiカードによる通信は、バッテリーの消耗を早めます。本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐと、バッテリーの消耗を気にせずアップロードできます。
■ アップロード中は、「パワーセーブ」メニューの「オートパワーオフ」は働きません。

- カードスロット🅰ではEye-Fiカードを使ってアップロードすることはできません。また、「Eye-Fi通信」も表示されません。カードスロット🅱にEye-Fiカードを入れてください。
- Eye-Fiカード使用中は、定期的にACCESSランプが点灯することがあります。

Eye-Fiカードの通信が行えない場合

次の場合、Eye-Fiカードによる通信は行えません。
■ 撮るモードのとき。
■ ワイヤレスマイクロホンWM-V1(別売)を取り付けているとき。
通信中に上記の状態になったときは、通信が自動的に停止されます。

- Eye-Fiカードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にしていると、メニューの「Eye-Fi通信」で通信機能をON/OFFすることはできません。また、通信状態を表すマークは[マーク]が表示されます。通信機能を使用するときは、誤消去防止ツマミのLOCKを解除してください。

10

メニュー

FUNC. ／編集メニューの紹介

撮影時の設定に使用するFUNC. メニューと、再生時に様々な編集操作を行うための編集メニューとがあります。ご購入時、FUNC.メニューは ……… がついた内容に設定されています。各機能の詳細は、📖欄のページをご覧ください。

撮影時に使う「FUNC.メニュー」

機能	設定内容	AUTO	M	CINEMA	📖
MENUメニュー	—		●	●	32
撮影モード	P（プログラムAE）、Tv（シャッター優先AE）、 Av（絞り優先AE） Mマニュアル露出		●	●	71
	ポートレート、スポーツ、夜景、スノー、 ビーチ、夕焼け、ローライト、 スポットライト、打上げ花火		●		80
強制逆光補正	ON入、OFF切		●	●	76
WBホワイトバランス	AWBオート、太陽光、日陰、くもり、蛍光灯、 蛍光灯H、電球、K色温度、セット1、 セット2		●	●	78
AGC AGCリミット	Aオート、Mマニュアル		●	●	70
フォーカス	MFマニュアル：ON、OFF 指定被写体に合わせる		●	●	55
	PEAKピーキング：ON、OFF ピーキング時白黒：切、入 ピーキング色：レッド、ブルー、イエロー		●	●	57
	WFM（エッジモニター）		●	●	97
	SET　フォーカス位置をプリセット／キャンセルする ON　プリセットしたフォーカス位置に戻る		●	●	56
露出	Mマニュアル：ON、OFF 指定被写体に合わせる		●	●	73
	タッチ露出：ノーマル、ハイライト ゼブラパターン：ON、OFF 70%、100%		●	●	75 77
	WFM（波形モニター）		●	●	96
ZOOMズーム	ズーム操作 START/STOPボタンによる動画撮影/一時停止 PHOTOボタンによる静止画撮影	●	●	●	64
マイクレベル*	Aオート、Mマニュアル オートのとき：レベルメーター 入/切		●	●	84
ピクチャー設定	色の濃さ、シャープネス、コントラスト、明るさ ON、OFF		●		82
手ブレ補正	ダイナミック、スタンダード、切		●	●	68

機能	設定内容	AUTO	M	CINEMA	📖
フェーダー *	切、オートフェード1回、オートフェード毎回、ワイプ1回、ワイプ毎回		●	●	101
デコレーション*	ペン&スタンプ	●	●	●	134
	アニメーション	●	●	●	
	日時&タイトル	●	●	●	
	画像ミックス ON/OFF	●	●		
	画面静止	●	●		
	ツールバー移動	●	●	●	
シナリオモード		●	●	●	126
ビデオスナップ	ON 入、OFF 切	●	●	●	98
プレREC*	ON 入、OFF 切		●	●	99
録画チェック*	—		●	●	49

* 動画撮影時のみ。

再生時に使う「編集メニュー」

1シーンごと、選んだシーン、全シーン、特定の日に撮ったシーンなど、表示している画面によって、操作できる動画／静止画の数が異なります。

動画

機能	インデックス画面		インデックス画面からの再生一時停止中	📖
	日付	SD動画		
コピー *1 [内蔵→B] [A→B]	ある日に撮ったシーン、選択シーン、全シーン	—	—	171
HD→SD変換*1 [内蔵→B] [A→B]	ある日に撮ったシーン、選択シーン、全シーン	—	—	186
消去	ある日に撮ったシーン、選択シーン、全シーン	1シーン、全シーン	1シーン	118
分割	—	—	●	122

機能	ギャラリー画面		ギャラリー画面からの再生一時停止中	📖
	「作品詳細」→「作品編集」	「シーン一覧」→「シーン編集」		
コピー *1 [内蔵→B] [A→B]	作品*2	—	—	172
HD→SD 変換*1 [内蔵→B] [A→B]	作品*2	—	—	120
消去／ 🗑	レーティングで絞り込んだシーン	1シーン	1シーン	120
作品消去*3	作品と作品内の全シーン	—	—	121
作品サムネイル*3	●	—	—	152
タイトル編集*3	●	—	—	153
コピー	—	1シーン	—	150
移動	—	1シーン	—	150
分割	—	—	●	122
レーティング	—	「★★★」、「★★•」、「★••」、「•••」(未評価)、「———」(NG)		143

*1 カードスロットBの作品は行えない。
*2 作品内のシーンをレーティングで絞り込み可能。
*3 「未分類」または「ビデオスナップ」には行えない。

静止画

機能	静止画		📖
	インデックス画面	再生中	
コピー [内蔵→B] [A→B]	選択した静止画、全静止画	1枚	173
消去	選択した静止画、全静止画	1枚	167

他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

メニューの紹介

撮影／再生のモードによって設定できる機能が異なります。設定できる機能は表中に●で示しています。ご購入時は、..........の内容に設定されています。各機能の詳細は、📖欄のページかまたは欄外に説明があります。設定のしかたについては「メニューの設定を変える」（📖 32）をご覧ください。

カメラ設定

機能	設定内容	M	CINEMA	📖
デジタルズーム	OFF 切、40x 40x、200x 200x	●		—
	2.0x デジタルテレコン	●		67
ソフトズームコントロール	OFF 切、START スタート、STOP ストップ、START STOP スタート&ストップ	●	●	65
ズームスピードレベル	ハイ、ミドル、ロー	●	●	64 65
グリップズームスピード	VAR（可変速）、CONST（固定速）1 ～ 16（8）	●	●	64
リモコンズームスピード	1 ～ 16（8）	●	●	65
AFモード	S.AF ハイスピードAF、M.AF ミディアムスピードAF、AF ノーマルAF	●	●	59
フォーカスアシスト*1	ON 入、OFF 切	●	●	—
フェイスキャッチ&追尾	ON 入、OFF 切	●	●	60
自動逆光補正	ON 入、OFF 切	●	●	76
オートスローシャッター	ON 入、OFF 切	●	●	—
NDフィルター	A オート、OFF 切	●	●	—
コンバージョンレンズ	Tele テレコン、Wide ワイドコン、OFF 切	●	●	—
フェーダー設定*1	BLACK 黒、WHITE 白	●	●	101
マーカー表示	OFF 切、水平（白）、水平（グレー）、グリッド（白）、グリッド（グレー）	●	●	—
手ブレ量表示	ON 入、OFF 切	●	●	—
ウインドカット*1	A オート、OFF 切	●	●	—
マイクアッテネーター *1	A オート、ON 入 ATT	●	●	—
MIC端子入力選択*1	LINE 外部音源、MIC マイク	●	●	87
音声ミックス*1	OFF 切、ON 入 ミックスバランス：INT・・・・・・・・・・・EXT	●	●	87
内蔵マイク周波数特性*1	NORM ノーマル、LB 低域強調、LC 低域カット、MB 中域強調、LHB 低高域強調	●	●	86
内蔵マイク指向性*1	2ch MONO モノラル、NORM ノーマル、2ch WIDE ワイド、2ch ZOOM ズーム	●	●	85
サラウンドマイク*1*2	5.1ch サラウンド、5.1ch ZOOM ズーム、5.1ch GUN ショットガン	●	●	—

*1 動画のみ。
*2 サラウンドマイクロホンSM-V1（別売）に付属のSDカードを使って、本機のファームウェアをバージョンアップしたときのみ、表示されます。

デジタルズーム

デジタルズームの倍率（最高倍率）を選びます。
- デジタルズームの倍率を設定してからズームを使うと、光学ズーム領域を越えた時点で自動的にデジタルズームになります。
- デジタルズーム領域では映像をデジタル処理するため、拡大するほど映像が粗くなります。
- ズーム表示は、10倍から40倍までは水色、40倍から200倍までは青色で表示します。

フォーカスアシスト

マニュアルフォーカス（📖 55）でピントを調整しやすくするために、画面の中央を拡大し、くっきりと表示します。
- 記録する動画/静止画には影響しません。撮影を開始するか、4秒経過すると拡大表示は解除されます。

オートスローシャッター

明るさが不足する場所（暗めの室内など）で撮影する場合、シャッタースピードを自動的に遅くして、より明るい映像を記録します。
- 1/30秒までのスローシャッターに設定されます。なお、「フレームレート」（📖 54）が「PF30」のときは1/15秒に、「PF24」または「24P」のときは1/12秒に設定されます。
- 撮影モードが「**P**（プログラムAE）」のときに設定でき、オートモードに切り換えても設定は変わりません。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。
- 画面に（手ブレ警告）が出たときは、三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。

NDフィルター

NDフィルター制御の切り換えを設定します。
オートにすると光量の状態を1/2、1/4、1/8で表示します。
撮影モードが「**Av**（絞り優先AE）」「**M**（マニュアル露出）」のときに設定できます。

コンバージョンレンズ

別売のテレコンバーター TL-H58（テレコン）やワイドコンバーター WD-H58W（ワイドコン）を取り付けるときに設定すると、それぞれの設定に合わせて手ブレ補正のしかた、最至近撮影距離が変わります。最至近撮影距離はテレコンバーター使用時においてズーム全域で約130cm、ワイドコンバーター使用時においてズーム全域で約40cmになります。
テレコンまたはワイドコンの設定に応じて、距離表示が適正になるように距離情報を変更しています。
コンバージョンレンズを装着していない場合には設定を「切」にしてください。
「切」以外に設定すると、メニューの「AFモード」が自動的に「ノーマルAF」に設定されます。

マーカー表示

画面に水平線や格子状の線(グリッド)を表示します。被写体の水平·垂直を確認しながら撮影できます。
- 水平線やグリッドは、撮影した動画/静止画には表示されません。

手ブレ量表示

パワードIS使用中、手ブレの大きさを 、、、、 の5段階のマークで表示します。撮影時の手ブレ状況を確認することができます。

ウィンドカット

屋外で撮影するときに風の影響を受けて発生する、「ボコボコ」というノイズ音を自動的に低減します。
- 風の音と一緒に低音の一部も低減されます。風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときは、「切」を選びます。

マイクアッテネーター

録音した音声がひずむときに使います。

オート	カメラがマイク音量に合わせて、アッテネーターを自動的に入/切します。大音量はひずまない音量に、大音量以外は最適な音量で記録できます。
入:ATT	アッテネーターが常に働き、音の強弱をより忠実に記録できます。「入」にすると画面に ATT が出ます。

サラウンドマイク

サラウンドマイクロホンSM-V1(別売)の設定を選びます。

サラウンド	通常の5.1ch録音。
ズーム	5.1ch録音。録音時の音量がズームレバーに連動するので、離れた被写体を拡大して撮ると、音量も大きくなる。
ショットガン	マイク正面の音声を重点的に記録する5.1ch録音。

再生設定

機能	設定内容	動画再生	静止画再生	参照
BGM選択	OFF 切、ON 入*1 (music_01 ～ xx) BGMバランス：	●	●	146
外部音源入力	OFF 切、ON 入 入のとき：音源連動再生　入／切	●	●	147
データコード表示	OFF 切、日付、時刻、日付&時刻、カメラデータ	●	●	—
スライドショーエフェクト	OFF 切、クロスフェード、スライド		●	166
テレビタイプ*2	4:3 ノーマルテレビ、16:9 ワイドテレビ	●	●	—

*1 静止画再生のときは「ON」に設定されています。
*2 HDMIケーブル（付属）で他の機器に接続しているときは、設定できません。

データコード表示

日付や時刻、カメラデータ（しぼり値やシャッタースピード）など、表示する撮影情報を選びます（📖 100）。

テレビタイプ

ステレオビデオケーブルSTV-250N（付属）でテレビにつないで見るときに、接続するテレビに合わせて選びます。映像の縦・横の比率を正しく再生します。

4：3 ノーマルテレビ	ノーマルテレビに接続するときに選ぶ。
16：9 ワイドテレビ	ワイドテレビに接続するときに選ぶ。

- 「4:3 ノーマルテレビ」に設定しているとき、16:9で撮影した映像を再生すると、画面に表示される映像が小さくなります。

記録設定

機能	設定内容	M	CINEMA	動画再生	静止画再生	参照
セルフタイマー	ON 入、OFF 切	●	●			83
ビデオスナップ記録時間*1	2sec 2秒、4sec 4秒、8sec 8秒 シナリオ連動：ON、OFF	●	●	—		98
	2sec 2秒、4sec 4秒、8sec 8秒			●		
撮影時レーティング*1	ON 入、OFF 切	●	●			—
動画記録*1	内蔵メモリー、A（カードA）、B（カードB） リレー記録：OFF（切）、内蔵➡A、 内蔵➡A➡B、A➡B ダブルスロット記録：OFF 切、ON 入	●	●			35

機能	設定内容	M	CINEMA	動画再生	静止画再生	📖
録画モード*1	MXP 高画質モード24Mbps、FXP 高画質モード17Mbps、XP+ 高画質モード12Mbps、SP 標準モード7Mbps、LP 長時間モード5Mbps	●	●			52
フレームレート*1*2	60i 標準（60i）、PF30 PF30、PF24 PF24、24P 24P	●	●			54
静止画記録*3	内蔵メモリー、A（カードA）、B（カードB）	●		●		35
あとからフォト*3	単写、連写			●		132
スキャンリバース記録	OFF 切、垂直、水平、水平&垂直	●	●			—
メモリー情報表示	—	●	●	●	●	—
x.v.Color	ON 入 color、OFF 切	●	●			—
カラーバー &テストトーン	OFF 切、カラーバー、カラーバー &トーン	●	●			95
静止画番号*3	オートリセット、通し番号	●		●	●	—

*1 動画のみ。
*2 マニュアルモードとシネマモードで個別に設定できます。ご購入時、シネマモードでは「PF24」に設定されています。
*3 静止画のみ。

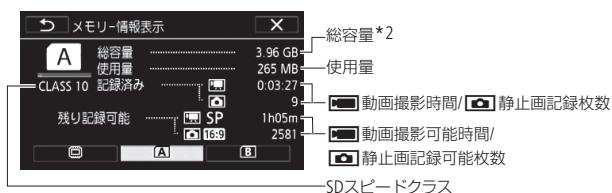
撮影時レーティング

「入」にすると、1つのシーンを撮影後にレーティングを設定する画面が出ます。動画撮影のたびにレーティング設定を行わないときは「切」にします。

スキャンリバース記録

映像を垂直反転、水平反転、水平&垂直反転させて撮影します。

メモリー情報表示

内蔵メモリーやカードの総容量/使用量、動画の撮影時間/撮影可能時間*1、静止画の記録枚数/記録可能枚数*1を確認できます。カードの場合はSDスピードクラスも確認できます。

※カードの場合の画面を載せています。

*1 現在設定している動画の録画モードや、静止画のサイズ（1920×1080）をもとに算出します。
*2 実際に使用できる内蔵メモリーの容量は、主な仕様に記載の容量より若干少ないことがあります。

x.v.Color

広い色空間で動画を記録。目で見た色に近い映像を再現します。

- x.v.Colorに対応したテレビにHDMIケーブル（付属）でつないで再生するときのみ、「入」にして撮影してください。x.v.Color非対応のテレビで再生すると、色が正しく表現されないことがあります。

静止画番号

個々の静止画に付けられる番号（静止画番号）の付けかたを選びます。撮影された静止画は、自動的に101-0101、101-0102、101-0103のように順に番号が付けられ、メモリー内のフォルダーに保存されます。

オートリセット	初期化されたメモリーに記録する場合、静止画番号は常に101-0101から始まる。メモリー内にすでに静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。
通し番号	静止画番号は、最後に記録した静止画の続き番号から始まる。ただし、メモリーに記録されている静止画番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

- 通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。
- 1つのフォルダーには100枚までの静止画を保存でき、それを超えると自動的にフォルダーが作成されます。
- 静止画番号は、メモリー内に作られるフォルダーの番号（上3桁）と静止画固有の番号（下4桁）を表しています*。
  * 静止画番号の範囲は、上3桁が101 ～ 998、下4桁が0101 ～ 9900です。
- 静止画が記録されたカードをパソコンで見ると、静止画番号が「101-0107」の静止画は、「DCIM ￥101CANON」というフォルダーの中に「IMG_0107.JPG」というファイル名で表示されます。

システム設定

機能	設定内容	M	CINEMA	動画	静止画	参照
オンスクリーン表示	ON 入、OFF 切	●	●	●	●	—
言語	日本語、ENGLISH	●	●	●	●	—
液晶明るさ調整		●	●	●	●	—
バックライト低輝度	ON 入、OFF 切	●	●	●	●	—
液晶対面ミラー	ON 入、OFF 切	●	●			—
AV/ヘッドホン	AV AV、ヘッドホン	●	●	●	●	88
音量	スピーカーのとき：、OFF			●	●	113
	ヘッドホンのとき：、OFF	●	●	●	●	88
おしらせ音	大、小、OFF 切	●	●	●	●	—
リモコンセンサー	ON 入、OFF 切	●	●	●	●	—
パワードISボタン	押し続け、ON/OFF切り替え	●	●			—
カスタムキー &ダイヤル	Tv/Av、M マニュアル露出、AGC AGCリミット、露出、OFF 切	●	●			104
アサインボタン1	強制逆光補正、フェイスオンリー AF、シナリオモード、ビデオスナップ、WB 優先WB、AF/MF AF/MF、OFF 切	●	●			107
アサインボタン2	強制逆光補正、フェイスオンリー AF、シナリオモード、ビデオスナップ、WB 優先WB、パワードIS、OFF 切	●	●			107
優先WB登録	AWB オート、太陽光、日陰、くもり、蛍光灯、蛍光灯H、電球、K 色温度、1 セット1、2 セット2	●	●			—
フォーカスリング操作方向	NORM ノーマル、REV リバース	●	●			—
フォーカスリング敏感度	ハイ、ミドル、ロー	●	●			—
フォーカスP.スピード	ハイ、ミドル、ロー	●	●			—
デコレーション自動起動	ON 入、OFF 切	●	●	●		—
パワーセーブ	オートパワーオフ：OFF 切、ON 入 クイックスタートスタンバイ：切、10分、20分、30分	●	●	●	●	—
初期化 内蔵メモリー/SD	[内蔵メモリー、A カードA、B カードB] 初期化、完全初期化、キャンセル	●	●	●	●	38
エリア/サマータイム	エリア：(自宅)、(旅行先) サマータイム：ON、OFF	●	●	●	●	—

機能	設定内容	M	CINEMA	動画再生	写真再生	📖
日付/時刻	日付/時刻：　— 日時スタイル：Y.M.D、M.D.Y、D.M.Y 24H表示　ON、OFF	●	●	●	●	31
バッテリー情報	—	●	●	●	●	—
HDMI機器制御*1	ON 入、OFF 切	●	●	●	●	—
HDMI 1080p出力*1	ON 入、OFF 切	●	●	●	●	—
HDMI出力状態	映像出力、音声出力	●	●	●	●	—
フォーカス距離単位	m メートル、ft フィート	●	●			—
メニュー設定保存B	保存、読み込み	●	●			109
デモモード	ON 入、OFF 切	●	●			—
Firmware	—				●	—
Eye-Fi通信*2	A オート、OFF 切	●	●	●	●	192

*1 HDMIケーブル（付属）で他の機器に接続しているときは、設定できません。
*2 Eye-FiカードをカードスロットBに入れると表示されます。

オンスクリーン表示

液晶画面に表示される情報を、本機に接続したテレビの画面に表示します。

言語

画面に表示される言語を変えます。

液晶明るさ調整

液晶画面の明るさを調整します。
- ☀または☀をタッチして、調整します。
- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。

バックライト低輝度

液晶画面の明るさを暗くします。暗所での撮影など、周囲に配慮したいときなどに使います。
- DISP.ボタンを約2秒以上押すと「切」にできます。
- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。
- 切」にすると、低輝度に設定する前の明るさに戻ります。

液晶対面ミラー

液晶画面をレンズ側に向けて、被写体に画面を見せながら撮るときなどは「入」にします。「入」にして、液晶画面をレンズ側に向けたときは、デコレーションをつけることはできません。

おしらせ音

電源を入れたり、セルフタイマーを使うときなどに音が鳴ります。

- プレREC（📖 99）を「ON」にしていると、おしらせ音は鳴りません。

リモコンセンサー

リモコン（📖 17）の信号を受け付けるかどうかを設定します。

パワードISボタン

POWERED IS（パワードIS）ボタンの操作のしかたを選びます。

押し続け	ボタンを押している間だけ、パワードISが働く。
ON/OFF切り替え	ボタンを押すとパワードISがONになり、もう一度押すとOFFになる。

優先WB登録

アサインボタンで優先WBを使用時、設定する項目を選択します。

フォーカスリング操作方向

フォーカスリングの操作方向を設定します。

フォーカスリング敏感度

フォーカスリングの敏感度を設定します。

フォーカスP.スピード

フォーカスプリセットのスピードを設定します。

デコレーション自動起動

「ON」にした場合、液晶画面を反転して（表側にして）閉じると、自動的にデコレーションモードに切り換わります。

パワーセーブ

オートパワーオフ

バッテリー使用時、約5分間何も操作しないと、節電のために電源が切れます。

- 電源が切れる約30秒前に、「❗オートパワーオフ」が表示されます。
- スタンバイ中は、「クイックスタートスタンバイ」（下記参照）の設定時間が優先されます。

クイックスタートスタンバイ

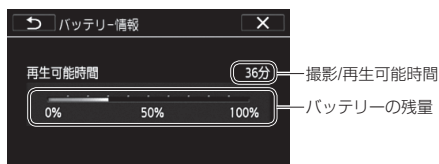
スタンバイ中に自動的に電源が切れる時間を設定します。「切」にするとスタンバイ状態になりません。

メニュー

エリア／サマータイム

住んでいる地域と旅先の地域をそれぞれ設定できます。設定は、🏠または✈を選んだあと、[▲]または[▼]をタッチして地域を選びます。選んだ地域がサマータイムを導入しているときは☀（サマータイム）をONにします。

バッテリー情報

バッテリーの残量（%）と撮影/再生可能時間（分単位まで）を確認できます。

HDMI機器制御

HDMI機器制御機能（HDMI CEC*）対応のテレビとHDMIケーブル（付属）でつないだとき、テレビとビデオカメラの操作を連動させることができます。

- 「入」に設定した後にテレビにつなぐと、テレビ側の入力が自動的にビデオカメラを接続しているHDMI端子に切り換わり、テレビのリモコンで映像を再生できます。リモコンの▲/▼/◀/▶のボタンを押してシーンまたは静止画を選び、決定ボタンを押すと再生します。
- テレビによってはHDMI機器制御機能を有効にする必要があります。詳しくはテレビの説明書をご覧ください。
- HDMI機器制御機能に対応したテレビであっても、正しく操作できないことがあります。その場合は、本機の「HDMI機器制御」を「切」にして、ビデオカメラ側で操作して再生してください。
- HDMI機器制御機能は、本機が動画/静止画の見るモードの場合に使用できます。撮影時に使用すると、本機が撮影中でも、テレビの電源OFFに連動して、ビデオカメラの電源が切れることがあります。
- 同時に接続するHDMI機器は、3台以内にすることをおすすめします。

* HDMI CECとは、HDMI規格で決められた相互機器制御機能のことです。

HDMI 1080p出力

HDMIケーブル（付属）でテレビに接続する場合、テレビが1080p（プログレッシブ）に対応していれば、1080iで記録した映像を1080pに変換して出力することができます。

HDMI 出力状態

現在のHDMI出力端子の出力状態を確認できます。

フォーカス距離単位

マニュアルフォーカスでピント合わせを行うと、画面に被写体までの距離が出ます。この距離表示の単位を選びます。

デモモード

機能紹介（デモモード）の映像を画面に表示します。

- コンパクトパワーアダプター使用時に、カードが入っていない状態で約5分経過するとデモモードとなり、機能紹介が始まります。デモモードにしない場合は、「切」に設定します。
- なんらかの操作をするとデモモードは終了します。

Firmware

ビデオカメラの、現在のバージョンを確認できます。

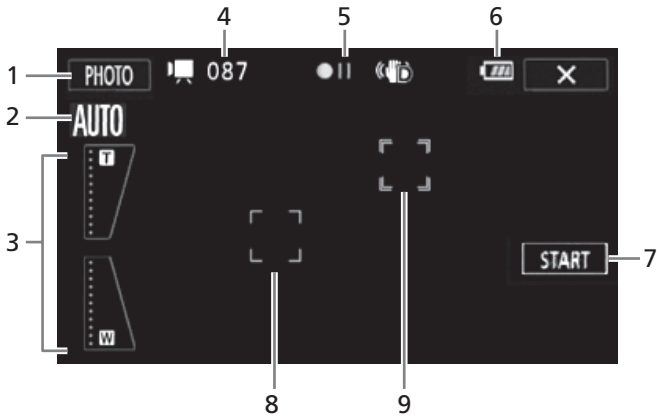
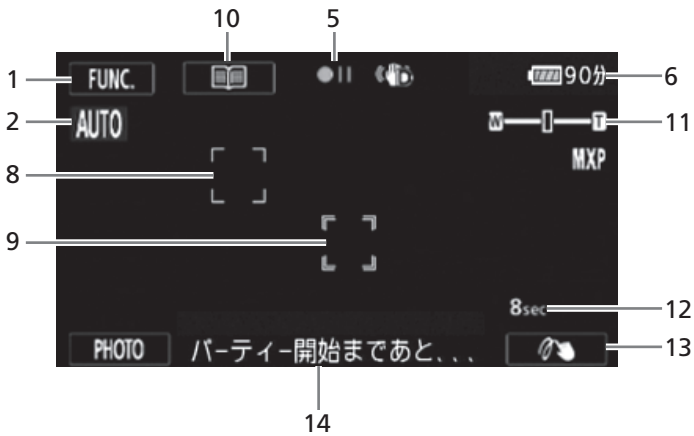
- 通常は灰色で表示されます。

11 その他

画面の見かた

撮影中や再生中に表示される情報です。

撮影時の画面表示

AUTO（オート）モード

オートモード（シナリオ撮影時）

1 PHOTO ボタン ▶▶ 📖 44 ／
FUNC. メニュー ▶▶ 📖 196

2 こだわりオート ▶▶ 📖 46

3 ズームボタン ▶▶ 📖 66

4 撮影シーン数

5 撮影状況
●：撮影（録画）　●II：撮影一時停止
▶：再生　II：再生一時停止
▶▶：早送り　◀◀：早戻し
◀I/I▶：逆スロー再生／スロー再生
◀II/II▶：コマ戻し／コマ送り

6 バッテリー残量の目安
バッテリーの残量の目安をマークで、撮影または再生可能な時間を分で表示します。
が赤く表示されたら、バッテリーが消耗しています。充電したバッテリーと交換してください。本機やバッテリーの状態によっては、実際のバッテリー残量と表示内容が一致しない場合があります。

7 START/STOPボタン ▶▶ 📖 43

8 顔検出枠 ▶▶ 📖 60

9 タッチ追尾枠 ▶▶ 📖 62

10 （シナリオシーン選択）ボタン ▶▶ 📖 126

11 ズーム ▶▶ 📖 63

12 標準撮影時間（秒） ▶▶ 📖 127

13 デコレーション ▶▶ 📖 134

14 シナリオシーン ▶▶ 📖 126

その他

Mモード

15 撮影モード ▶▶ 📖 71

16 露出 ▶▶ 📖 74

17 AGCリミット ▶▶ 📖 70

18 フォーカス ▶▶ 📖 55

19 フェイスキャッチ&追尾 ▶▶ 📖 60

20 ホワイトバランス ▶▶ 📖 78

21 レベルメーター ▶▶ 📖 84

22 x.v.Color ▶▶ 📖 204

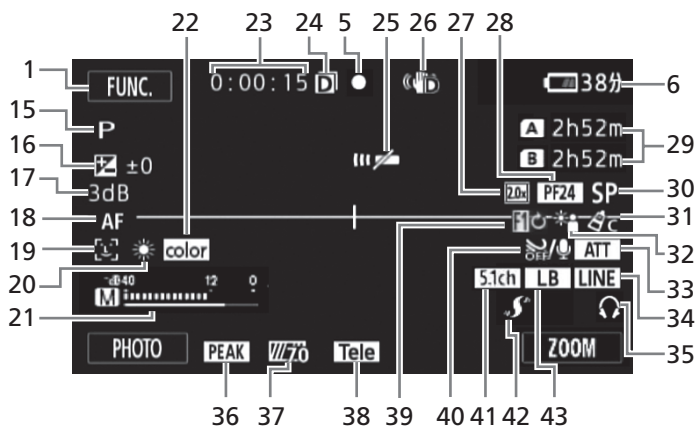
23 記録時間（時：分：秒）

24 ダブルスロット記録 ▶▶ 📖 37

25 リモコンセンサー ▶▶ 📖 207

26 手ブレ補正 ▶▶ 📖 68

27 デジタルテレコン ▶▶ 📖 67

28 フレームレート ▶▶ 📖 54

29 撮影可能時間
メモリーに空きがなくなると、「▣END」、「A END」または「B END」が赤くが点灯し、停止します。

30 録画モード ▶▶ 📖 52

31 ピクチャー設定 ▶▶ 📖 82

32 強制逆光補正 ▶▶ 📖 76

33 マイクアッテネーター ▶▶ 📖 201

34 外部音源入力 ▶▶ 📖 87

35 ヘッドホン ▶▶ 📖 88

36 ピーキング ▶▶ 📖 57

37 ゼブラパターン ▶▶ 📖 77

38 コンバージョンレンズ ▶▶ 📖 200

39 フェーダー ▶▶ 📖 101

40 ウィンドカット ▶▶ 📖 201

41 サラウンドマイク／内蔵マイク指向性 ▶▶ 📖 201、85

42 ミニアドバンストシュー

43 内蔵マイク周波数特性 ▶▶ 📖 86

シネマモード

44 しぼり数値／NDフィルター ▶▶ 📖 73

45 シャッタースピード ▶▶ 📖 73

46 ゲイン ▶▶ 📖 73

47 ハイスピードAF ▶▶ 📖 59

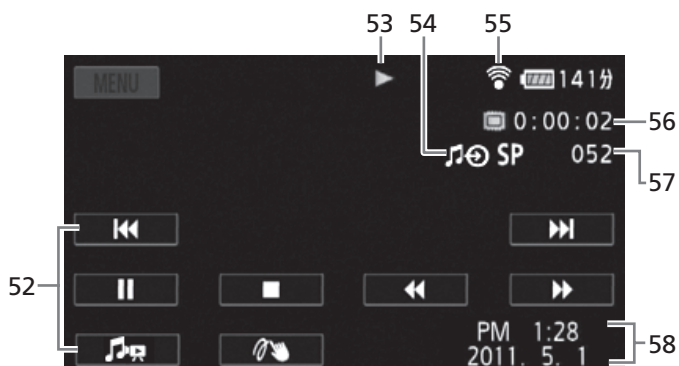
48 CINEMA モード ▶▶ 📖 129

49 セルフタイマー ▶▶ 📖 83

50 マーカー ▶▶ 📖 201

51 シネマルックフィルター ▶▶ 📖 129

再生のときの画面

動画のとき（操作ボタン表示時）

52 操作ボタン（動画）

53 再生状況

● ：撮影（録画） ●❚❚ ：撮影一時停止 ▶ ：再生 ❚❚ ：再生一時停止 ▶▶ ：早送り ◀◀ ：早戻し
◂❚/❚▸ ：逆スロー再生／スロー再生 ◀❚❚/❚❚▶ ：コマ戻し／コマ送り

54 外部音源入力 ▶▶ 📖 147

55 Eye-Fi ▶▶ 📖 192

56 再生時間（時：分：秒）

57 再生シーン番号

58 データコード ▶▶ 📖 202

静止画のとき（操作ボタン表示時）

59 操作ボタン（静止画）

60 表示枚数／全枚数

61 静止画番号 ▶▶ 🕮 204

トラブルシューティング

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、カメラ修理受付センター（🕮 259）またはご購入になった販売店にご相談ください。

まずココを確認しよう！

電源

□ バッテリーは充電されていますか？（🕮 20）
□ 本機はコンパクトパワーアダプターで正しく接続されていますか？（🕮 20）

撮影するとき

□ 電源を入れて撮るモードにしていますか？見るモードになっているときは 撮影/再生 ボタンを押してください。
□ カードに記録する場合は、本機にカードが入っていますか？（🕮 33）

再生するとき

□ 電源を入れて見るモードにしていますか？撮るモードになっているときは 撮影/再生 ボタンを押してください。
□ カードから再生する場合は、本機にカードが入っていますか？（🕮 33）

その他

□ 本機を振るとカタカタ音がするときは？撮るモードにして音がしなければ、内部のレンズが動く音です。故障ではありません。

電源

こんなときは	どうするの？	🕮
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	20
バッテリーが充電できない。	● 電源を切ってから充電する。 ● バッテリーの温度が使用温度（約0 ℃ ～ 40 ℃）の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 ● 周囲の温度が約0 ℃ ～ 40 ℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 ● 本機と通信できないバッテリー（キヤノン推奨以外）が取り付けられているため、充電できない。	20
	● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	259
コンパクトパワーアダプターから音がする。	● コンパクトパワーアダプターを使用中に小さな音がすることがある。故障ではない。	—
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	● バッテリーの寿命と考えられる。新しいバッテリーを購入する。	—

撮影中

こんなときは	どうするの？	📖
START/STOPボタンを押しても録画しない。	● 撮影した映像を本機に書き込んでいる間は録画できない。書き込み終了まで待つ。 ● メモリーに空き容量がない。または3999シーン記録されている。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。	— 38 118 167
START/STOPボタンを押した時点と、記録されたシーンの始めと終わりの時点が異なる。	● START/STOPボタンを押してから、録画の開始・終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—
ピントが合わない。	● 被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ● レンズやハイスピードAFセンサーが汚れているのでお手入れする。	55 238
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
動画の「●撮影／ ●❚❚撮影一時停止／ ▶再生」の切り換えに時間がかかる。	● シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	38 176
動画や静止画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	38 176
動画撮影中、静止画を記録できない。	● 次の場合は動画撮影中に静止画を記録できない。 • モードスイッチが CINEMA のとき。 • ズーム倍率がデジタルズーム領域のとき。 • フェーダー実行中のとき。 • ダブルスロット記録を設定しているとき。	—
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使いつづけると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	259
作品が作成できない。	● 作品は、1つのメモリー内に98個までしか作成できない。ギャラリー画面で不要な作品を消すか、動画の記録先を別のメモリーに切り換える。	35 121

再生中

こんなときは	どうするの？	
作品内のシーンを並べ換えることができない。	● メモリーの空き容量がない。不要なシーンや静止画を消す。	118 167
シーンの消去ができない。	● 他機で記録・編集したシーンは消去できないことがある。	—
シーンの消去に時間がかかる。	● シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	38 176
ビデオスナップを作成できない。	● 他機で記録したシーンからは作成できない。 ● メモリーに空き容量がない。不要なシーンや静止画を消す。	118 167
音楽と映像を組合せて再生した場合、正しく再生できない。	● 記録や消去を繰り返したメモリーに音楽を転送すると、このようになることがある。動画と静止画をパソコンに保存してメモリーを初期化する。音楽を転送し、動画や静止画を書き戻す。 ● Transfer UtilityまたはVideoBrowserを使って音楽を転送中に、USBケーブルが抜けると、本機で再生できない音楽ファイルになることがある。その曲を消去してから、転送し直す。 ● カードの読み取り速度が遅い。推奨のカードを使う。	38 176 149 33
プレーヤーの音楽と連動して再生できない。	● オーディオプレーヤーの音量が小さいと、連動しないことがある。プレーヤーの音量を上げる。	—
シーンを分割できない。	● 他機で記録・編集したシーンは分割できない。 ● メモリーに空き容量がない。不要なシーンや静止画を消す。	— 118 167
シーンまたは静止画をコピーできない。	● 他機で記録したシーンや静止画はコピーできないことがある。	—
シーンまたは静止画を選択できない。	● シーンや静止画は、100個を超えて選択できない。「選択」ではなく、「全シーン」または「すべての静止画」を使う。	—

表示やランプ

こんなときは	どうするの？	
画面で が赤く点灯する。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	20
画面に が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	—
AまたはBが赤く点灯する。	● カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、カードを初期化する。 ● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。	34 38 34 118 167

こんなときは	どうするの？	📖
撮影を中断してもACCESSランプが点灯している。	● 撮影したシーンをメモリーに書き込んでいる。故障ではない。	—
充電中にCHGランプが速く点滅する。	● ☀ ☀ ☀ ☀ ☀（0.5秒に1回の点滅）コンパクトパワーアダプター、バッテリーに異常があるため、充電が中止される。カメラ修理受付センターにご相談ください。	259
充電中にCHGランプがゆっくりと点滅する。	● ☀ ☀（2秒ごとに1回の点滅）バッテリーの温度が使用温度（約0 ℃ ～ 40 ℃）の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 ● 周囲の温度が約0 ℃ ～ 40 ℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。	20
画面に 🔒 が出る。	● Eye-Fiカードの誤消去防止ツマミが「LOCK」側になっている。LOCKを解除する。 ● Eye-Fiカードから情報が取得できなかった。本機の電源を入れ直す。頻繁に発生する場合は、カードの不具合の可能性がある。カードメーカーに問い合わせる。	34 —

画面や音

こんなときは	どうするの？	📖
液晶画面が暗い。	● バックライトが低輝度設定になっている。DISP.ボタンを約2秒以上押すと解除できる。	26
画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	20
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。それでも解決しない場合は、電源を取り外し、先のとがったものでRESET（リセット）ボタンを押す。すべての設定が解除される。	12 20
画面にノイズが出る。	● プラズマテレビや携帯電話などから離して本機を使用する。	233
画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。撮影モードを **Tv** にしているときは **P** に切り換えると軽減する。故障ではない。	71
ビューファインダーの画像がはっきりしない。	● 画像がはっきり見えるように視度調整レバーを動かす。	24
ビューファインダーに映像が出ない。	● ビューファインダーを引き出す。 ● 再生時、HDMI OUT端子、COMPONEN OUT端子またはAV OUT端子にケーブルを接続していると、ビューファインダーに映像が出ない。端子に接続しているケーブルを抜く。	24 —

こんなときは	どうするの？	📖
音声が記録されない	● φ3.5mmマイク端子にマイクを取り付けているが、マイクのスイッチがOFFになっている。または、マイクの電池が切れている。 ● 音声レベルが正しく設定されていない。	—
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● マイクレベルを手動で調整する。	84
ワイヤレスマイクロホンWM-V1（別売）で記録した音声が途切れる。	● Eye-Fiカードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にして、撮影中に通信が発生すると、このようになることがある。Eye-Fiカードの誤消去防止ツマミのLOCKを解除する。	34
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	● スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。 ● ステレオビデオケーブルをはずす。 ● メニューの「AV/ヘッドホン」を「AV」にする。	113 — 205

アクセサリー

こんなときは	どうするの？	📖
カードが入らない。	● 正しい向きでカードを入れる。	34
カードに記録できない。	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。 ● はじめて使用するときは、カードを初期化する。 ● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、反対側にする。 ● 動画を記録する場合は、対応しているカードを確認する。 ● 静止画番号が最大になったため、カードに記録できない。新しいカードを入れて、メニューの「静止画番号」を「オートリセット」にする。	34 118 167 38 34 33 204
リモコンが動作しない。	● メニューの「リモコンセンサー」を「入」にする。 ● リモコンの電池を交換する。	207 28
Eye-Fiカードからアップロードできない。	● Eye-FiカードをカードスロットⒶに入れている。カードスロットⒷに入れる。 ● メニューの「Eye-Fi通信」が「切」になっている（画面に[OFF]が出る）。「オート」にする。 ● 撮るモードのときと、ワイヤレスマイクロホンWM-V1（別売）を取り付けているときは、通信できない。見るモードに切り換える。WM-V1は取り外す。 ● 電波状況が悪いときは、液晶画面を開くと改善することがある。 ● 通信中に通信状況が悪くなると、通信が停止することがある（画面に[アイコン]が出る）。通信状況の良い場所に移動する。 ● カードメーカーに問い合わせる。	34 206 112 — — —

こんなときは	どうするの？	📖
Eye-Fiカードの通信状態を示すマークが表示されない。	● Eye-FiカードをカードスロットAに入れている。カードスロットBに入れる。	34

他機

こんなときは	どうするの？	📖
テレビの放送画面にノイズが出る。	● テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプターを離す。	—
再生しても、テレビに映像が出ない。	● テレビの設定を、接続した端子に切り換える。 ● D端子ケーブル（別売）をつないでいると、AV端子から映像が出力されない。そのため、ステレオビデオケーブルの黄色プラグをテレビにつないでも映像は表示されない。D端子ケーブルを抜く。	—
テレビで音声が出ない。	● D端子ケーブル（別売）でテレビにつなぐときは、音声を出力するためにステレオビデオケーブルの白と赤のプラグもつなぐ。	158
HDMIケーブルで接続しているとき、テレビに映像や音が出ない。	● HDMIケーブル（付属）を抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。	—
HDMI機器制御機能が動作しない。	● 接続ケーブルを抜き差しし、本機とテレビの電源を入れ直す。 ● 本機の「HDMI機器制御」が「切」になっているので、「入」にする。 ● テレビのHDMI機器制御機能が無効になっているので、有効にする。 ● テレビによってHDMI機器制御機能でできることが異なる。テレビの説明書を確認する。	— 208 — —
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。 ● パソコンの別のUSB端子につなぐ。	—
静止画をパソコンに取り込めない。	● 内蔵メモリーまたはカードに2500枚以上（Windows）/1000枚以上（Macintosh）の静止画があると、パソコンに取り込めないことがある。 ● カードリーダーなどを使って取り込む。内蔵メモリーの場合は、静止画をカードにコピーしてからパソコンに取り込む。	— 173

エラーメッセージ

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。

メッセージ	どうするの？	📖
空き容量が不足しています	● カードの不要なシーンや静止画を消去するか、「ビットレート（画質）」を「3Mbps」に設定する。	118 167 187
カードカバーがあいています	● カードを入れたらカードカバーを閉じる。	34
カードがありません	● カードを本機に入れる。	34
カードがいっぱいです	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。	34 118 167
カード シーン数がいっぱいです	● カードに3999シーン記録されているため、動画のコピーができない。カードの不要なシーンを消す。	118
カードにアクセス中です カードを取り出さないでください	● カードにアクセスしているときに、カードカバーを開けた。またはカードカバーを開けたときにアクセスし始めた。メッセージが消えるまでカードを絶対に抜かない。	—
カードに書き込みエラーがあります データの修復を試みますか？	● 記録中に電源がはずれた後、電源を入れた。撮影データを修復するときは「修復する」を選ぶ。他機で記録したカードを入れたときは「いいえ」を選ぶことを推奨します。	—
カードにシーンがあるためリレー記録できません	● カードの動画をバックアップしたあと、カードの動画をすべて消去する。	118 176
カード 認識できない記録方式です	● カードに記録されている動画のテレビ方式が異なるため再生できない。	—
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため、カードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	34
カードの修復が必要です カードの誤消去防止ツマミを解除してください	● カードに記録中に電源が切れた後、カードの誤消去防止ツマミをLOCK側にした。誤消去防止ツマミを反対側にする。	34
カードを確認してください	● カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 ● カードにエラーがあり、記録や再生ができない。カードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。 ● マルチメディアカードを入れた。推奨のカードを入れる。 ●「カードを確認してください」が4秒後に消えてAまたはBが赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。AまたはBが緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、動画と静止画をバックアップして初期化する。	34 — 33 34 38 176
画像がありません	● 静止画を撮影する。	42
キャンバスが保存できません	● キャンバスのデータを内蔵メモリーに書き込めない。動画と静止画をバックアップして内蔵メモリーを初期化する。	38 176

メッセージ	どうするの？	📖
キャンバスが読み込めません	● キャンバスのデータが壊れている。 ● 他機で保存したキャンバスのデータは読み込めない。	—
記録できません	● ビデオスナップは、他機で記録したシーンから作れない。 ● メモリーに異常があるため、記録できない。頻繁に発生する場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	259
記録できません カードを確認してください	● カードに異常があるため、記録できない。 ● カードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。	38
記録できません 内蔵メモリーにアクセスできません	● 内蔵メモリーに異常があるため、記録できない。 ● 内蔵メモリーを完全初期化する。それでも解決しない場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	38 259
このカードでは動画記録できないことがあります	● SDスピードクラスに対応していないカードを入れた。SDスピードクラス2、4、6または10のカードを使用する。	33
このカードでは録画モードXP+/SP/LPを推奨します	● 録画モードをMXP/FXPにすると、動画が正しく記録できないことがある。	—
このカードは動画記録できません このカードは動画再生できません	● 64 MB以下のカードは動画の記録・再生ができない。推奨のカードを入れる。	33
このカードは動画記録できません 本機で初期化してお使いください このカードは動画再生できません 本機で初期化してお使いください	● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。	38
コピーできません	● カードの空き容量がコピーするデータ量より小さい。カードの不要なシーンを消すか、コピーするシーンを減らす。 ● 記録可能なシーン数（3999シーン）に達した。不要なシーンを消す。 ● 記録可能な作品数（98作品）に達した。不要な作品を消す。	118 121
再生できない画像です	● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした静止画は再生できないことがある。	—

メッセージ	どうするの？	📖
再生できません	● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした動画を、内蔵メモリーに書き戻して再生することはできない。 ● 他機で記録したカードがプロテクトされている場合は、ギャラリー情報を付与できないため「ギャラリー」画面では再生できない。「日付」インデックスで再生するか、プロテクトを解除してから、カードを入れ直す。 ● メモリーに異常があるため、再生できない。頻繁に発生する場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	259
再生できません カードを確認してください	● カードに異常があるため、再生できない。 ● カードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。	38
再生できません 内蔵メモリーにアクセスできません	● 内蔵メモリーに異常があるため、再生できない。内蔵メモリーを完全初期化する。それでも解決しない場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	38 259
作品数がいっぱいです	● 作品は、1つのメモリー内に98個までしか作成できない。ギャラリー画面で不要な作品を消すか、動画の記録先を別のメモリーに切り換える。	35 121
サポートしていないギャラリー情報があります 録画、編集はできません ギャラリー情報を消去しますか？	● 選択中のカードに記録されている動画のギャラリー情報は、本機でサポートしていない形式のため、本機で録画・編集できない（再生のみ可能）。「はい」を選ぶとギャラリー情報を消去して録画できる。ギャラリー情報を消去すると、動画を記録したビデオカメラでギャラリーから再生できなくなる。	—
シーンがありません	● 動画を撮影していないならば、撮影する。	42
シーン数がいっぱいです	● 記録可能なシーン数（3999シーン）に達した。不要なシーンを消す。	118
シーン番号を選択してください	● 動画管理情報が異なる同一日付が複数あった。日付変更線の付近で撮影したり、パソコンで編集したシーンを本機に書き戻したりすると、このようになることがある。いずれかを選択する。	—
時間が長すぎます	● HD→SD変換を行うシーンの合計記録時間が、2時間30分を超えている。変換するシーンを減らす。	186 191
消去ができないシーンがありました	● 他機でプロテクトや編集したシーンは消去できない。	—
処理中です 電源をはずさないでください	● 内蔵メモリーまたはカードに書き込んでいる。書き込みが終わるまで、そのまま待つ。	—
スタンバイに入れません	● バッテリー残量が少なくなっているときは、スタンバイに入れない。バッテリーを充電する。	20

メッセージ	どうするの？	📖
静止画像が多すぎます USBケーブルをぬいてください	● メモリーに記録されている静止画が多すぎる。USBケーブルを抜き、静止画をカードにコピーしたあと、カードリーダーなどを使用して静止画をパソコンに移動する。または、不要な静止画を消す（Windowsパソコン：2500枚未満に。Macintoshパソコン：1000枚未満に）。その後、USBケーブルを接続し直す。 ● OSの設定によってはパソコンのモニターにメッセージが出ることがある。メッセージを閉じてからUSBケーブルを接続し直す。	173 —
設定したレーティングのシーンがありません	● 作品内のシーンにレーティングが設定されていない。気に入ったシーンにはレーティングを設定する。 ● 絞り込みの結果、シーンが1つも残らなかった。絞り込みの条件（再生レーティング）を設定し直す。	141 143
データを修復できませんでした	● 壊れたデータを修復できない。動画と静止画をバックアップして、メモリーを初期化する。	38 176
動画／静止画データのバックアップは定期的に行ってください	● 万一の故障やデータ破損に備えて、撮影したデータを定期的にバックアップする。	176
内蔵メモリーがいっぱいです	● 内蔵メモリーに空き容量がない。画面に「▣END」が出る。不要なシーンを消すか、動画と静止画をバックアップして内蔵メモリーを初期化する。	38 118 176
内蔵メモリーが認識できません	● 内蔵メモリーが壊れている。カメラ修理受付センターにご相談ください。	259
内蔵メモリーから動画再生できません 本機で初期化してお使いください	● 内蔵メモリーがパソコンから初期化された。本機で初期化する。	38
内蔵メモリーにアクセスできません	● 内蔵メモリーが壊れている。カメラ修理受付センターにご相談ください。	259
内蔵メモリーに書き込みエラーがあります データの修復を試みますか？	● 記録中に電源がはずれた後、電源を入れた。撮影データを修復するときは「修復する」を選ぶ。	—
内蔵メモリーに動画記録できません 本機で初期化してお使いください	● 内蔵メモリーがパソコンから初期化された。本機で初期化する。	38
認識できない記録方式です	● テレビ方式が異なる映像を本機に書き戻した。	—

その他

メッセージ	どうするの？	📖
USB接続 電源をはずさないでください パソコンで安全な取り外しをするまではUSBケーブルをぬかないでください	● 動画再生時、本機をUSBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作はできない。本機のメモリー内のデータが破損しないよう、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機を操作する。 ● コンパクトパワーアダプターをつないで、USBケーブルでパソコンに接続しているときは、データの転送や書き戻しができる。	—
USB接続 電源をはずさないでください 書き込みできない接続方法です 書き込む場合はコンパクトパワーアダプターを接続してからUSBを接続しなおしてください パソコンで安全な取り外しをするまではUSBケーブルをぬかないでください	● コンパクトパワーアダプターをつながないで、USBケーブルでパソコンに接続したときは、本機の操作や書き込みはできない。本機のメモリー内のデータが破損しないよう、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機を操作する。 ● 本機のメモリー内にデータを書き込む場合は、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、コンパクトパワーアダプターを接続してから、USBケーブルを接続しなおす。	—
バックライトが低輝度に設定されています	● 明るくするときは、DISP.ボタンを2秒以上押す。	26
バッテリーと通信できません このバッテリーを使用しますか？	● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。 ● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	259
バッテリーパックを取り替えてください	● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	20
バッファオーバーです 記録を中止しました	● カードの書き込み速度が遅いため、記録を中止した。SDスピードクラス2、4、6または10のカードを使用する。 ● 撮影や編集を繰り返しているカードでは、データの書き込み速度が低下して、記録が停止することがある。本機でカードを初期化してから使用する。	33 38
ファイル名が作成できません	● フォルダー番号や静止画番号が最大になった。「オートリセット」してカードを初期化するか、静止画をすべて消す。	38 167 204
分割できません 分割できません 初期化が必要です	● 本機の動画管理情報がいっぱいになったため、分割できない。動画と静止画をパソコンに保存して、記録メモリーを初期化する。シーンを本機に書き戻して、再度分割を行う。	38 176
変換できないシーンがあります	● 変換元に、本機や他機で記録した24p方式のシーンが含まれている。本機や他機で記録したシーンを変換対象からはずす。	—

メッセージ	どうするの？	📖
変換できません	● カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 ● マルチメディアカードを入れた。推奨のカードを入れる。 ● 変換するシーンの総記録時間が短すぎる。合計0.5秒以上シーンを選ぶ。 ● ファイル名が作成できなかった。メニューの「静止画番号」を「オートリセット」してカードを初期化するか、静止画とSD動画をすべて消す。	34 33 — 38 167 204
本機で記録したシーンではありません コピーできません （再生できません） （分割できません）	● 他機で記録したシーンは再生、コピー、分割できない。	—
本機で記録したシーンではないためコピーできないシーンがあります	● 他機で記録したシーンが含まれた動画はコピーできない。	—
本機で初期化してお使いください	● メモリーに異常があるためアクセスできない。内蔵メモリーまたはカードを本機で初期化する。	38
無線機能を使用するにはカードスロットBをお使いください	● Eye-Fiカードを本機のカードスロットBに入れる。	34

その他

安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

こんなときは

- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落として壊した
- 内部に水や異物が入った

▶▶

バッテリーを外して、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、カメラ修理受付センター（📖 259）に問い合わせるか、購入販売店に修理を依頼してください。

⚠ 警告　死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

禁止

内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。
➤ 火災 感電 けが

雷が鳴っているときには電源プラグに触れない。 ➤ 感電

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 ➤ 感電

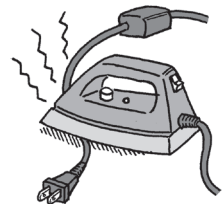
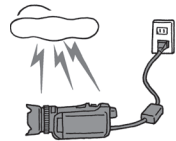
ぬらさない。 ➤ 火災 感電 やけど
降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は特に気をつける。

液漏れしたバッテリーは使用しない。 ➤ 皮膚の傷害 失明 発火
液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

分解や改造をしない。 ➤ 発熱 感電 火災 けが

強い衝撃や振動を与えない。 ➤ 火災 やけど けが
ストラップ使用時は特に注意する。液晶画面やレンズは割れるとけがの原因。

電源コードについて次のことを守る。 ➤ 火災 感電

- 傷つけない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 引っ張らない
- 熱器具に近付けない
- 加熱しない
- 重いものを載せない

禁止

バッテリーやコイン型リチウム電池を熱しない、火中投入しない。➤ やけど けが

バッテリー端子部に金属のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。➤ やけど けが
ショートして、高熱や液漏れの恐れあり。

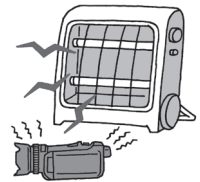
充電中は長時間にわたる接触をしない。➤ 低温やけど

海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC/ACコンバーターなどの電源につながない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。➤ 火災 感電 けが

油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。
➤ 火災 感電 やけど
内部にほこりや水などが入る恐れあり。

直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60 ℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。
➤ 火災 やけど けが
発熱や破裂の恐れあり。

運転中に使用しない。➤ 交通事故

不安定な場所に置かない。➤ けが
落下、転倒の恐れあり。

乳幼児の手の届くところに置かない。➤ 感電 失明 けが
スタイラスペン（付属）の誤飲や、スタイラスペンの先端で目をつつくことによる失明やけがの恐れあり。このようなときは、すぐに医師に相談。

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。➤ 火災
内部に熱がこもる恐れあり。

強制

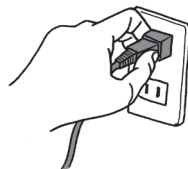
指定された機器を使う。➤ 火災 感電 けが

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。➤ 火災

電源プラグは根元まで確実に差し込む。➤ 火災 感電

コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く。
➤ 火災 感電

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
➤ 火災

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。➤ けが 交通事故

⚠注意 傷害、物的損害を負う恐れがある内容です。

禁止

コイン型リチウム電池を金属ピンセットなどでつかまない。
➤ やけど
発熱の恐れあり。

強制

コード類は、つまずかないように配置する。➤ けが
足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下する恐れあり。

バッテリー、リストストラップ、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは脱落しないように確実に取り付ける。➤ けが

バッテリーやテレコンバーター、ワイドコンバーターなどを取り外すときは、落とさないように気をつける。➤ けが

飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従う。
機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れ。

注意

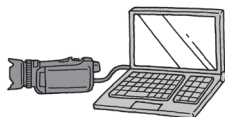
なるべくビデオカメラを固定して撮影する。
撮影時に不用意にビデオカメラを揺らしたり、素早いズームを多用したりすると、再生時に乗り物酔いのような症状を起こす恐れがあります。その場合はすぐに再生を中止し、休息を取って目を休めてください。

取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとメモリーカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

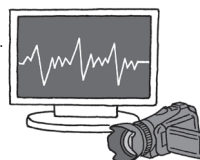
ビデオカメラ本体

データはバックアップする

故障などに備えて、撮影した動画や静止画はパソコンやDVD、ビデオ機器などにバックアップしてください。データ消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。

テレビの上などで使わない

プラズマテレビや携帯電話の近くなど、電磁波の出る場所で使うと映像や音声が乱れることがあります。

太陽にレンズやビューファインダーを向けない

太陽や強いライトなどにレンズやビューファインダーを向けると内部の部品が溶けることがあります。

液晶画面を. . .

つかんでもちあげない

➔ 液晶画面の接合部が破損することがあります。

無理に閉じない

➔ 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

ボールペンなどスタイラスペン（付属）以外のとがったものでタッチしない

➔ タッチパネルが破損することがあります。

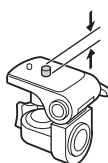
強くタッチしない

➔ タッチパネルの表示がムラになったり、液晶画面の接合部が破損することがあります。

保護シートなどを貼らない

➔ タッチパネルは圧力を感知するタイプのため、正しく動作しなくなることがあります。

ネジの長い三脚は使わない

取り付けネジの長さが6.5 mm以上の三脚を取り付けると、本体を破損することがあります。

バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

正しく残量表示されない場合は

バッテリーをフル充電してください。ただし、バッテリーの使用回数が多いとき、フル充電後に放置したとき、高温下で長時間使ったときは、正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

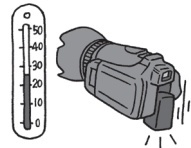
インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

- インテリジェントシステム（□ 243）に対応していないバッテリーを本機やバッテリーチャージャーCG-800D（別売）に取り付けて、充電することはできません。
- インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。

使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10 ℃ ～ 30 ℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30 ℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

カード

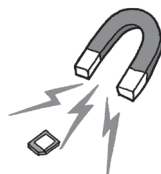
データはバックアップする

静電気、カードの故障などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

カード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまる恐れがあります。

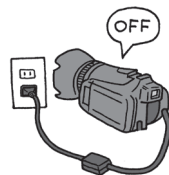
ていねいに扱う

落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた（所要時間：24時間）

① 電源を切る
② 本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐ

その他のご注意

情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

内蔵メモリーやカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。
譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度内蔵メモリー またはカードの完全初期化（📖 38）を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度完全初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

結露について

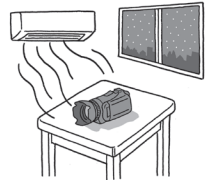
室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、カードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

コイン型リチウム電池（CR2025）

コイン型リチウム電池はリモコンに使用されます。捨てるときは、燃えないゴミとして処理してください（地域によって異なりますので指示に従ってください）。

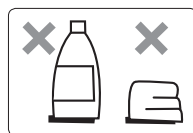
- ○ 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
  ホームページ　http://www.jbrc.com
- ○ プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- ○ 被覆をはがさないでください。
- ○ 分解しないでください。

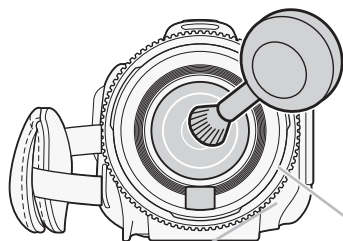
日常のお手入れ

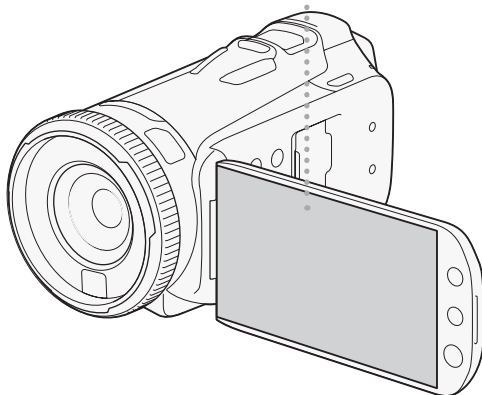
大切なビデオカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

本体がよごれたときは

柔らかい布で拭こう

- 乾いた布で軽く拭いてください。
- 化学ぞうきんやシンナーは表面を傷めますので使わないでください。

液晶画面

市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。水滴が付着しているときは柔らかい布で拭き取ります。

ハイスピードAFセンサー

市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。

自動でピントが合わない？

レンズやハイスピードAFセンサーが汚れていると自動でピントが合わなくなることがあります。

レンズ／ビューファインダー

ブロアでゴミやホコリを取ったら、市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。

海外で使う

海外で使用するときの便利機能やマメ知識です。

充電する

海外でも付属のコンパクトパワーアダプター（AC100 ～ 240 V 50 ／ 60 Hzまでの電源に対応）を使ってそのまま充電できます。コンセントの形が異なる国では、変換プラグを使用してください。
コンパクトパワーアダプターを変圧器に接続しないでください。
故障する恐れがあります。

テレビで見る

本機は撮影した動画をNTSC方式で記録します。以下の国や地域ではNTSC方式を採用しているため、本機をテレビに接続するとそのまま映像を見ることができます。

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- 大韓民国
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバゴ
- トンガ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- ボリビア
- ミャンマー
- メキシコ

（NTSC方式を採用している国や地域　－NHK放送文化研究所発行「世界の放送2007」による－）

旅行先の日時に合わせる

2つの地域の日時を登録できるため、海外旅行先の日時を設定しておくと、撮影した映像を現地時間で記録できます。

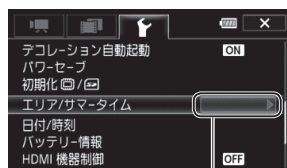
1. MENU（メニュー）→ をタッチする。
2. 上下にドラッグして、「エリア/サマータイム」をオレンジ色のバーに合わせ、オレンジ色の枠をタッチする。
3. ✈ をタッチする。
4. ▲ / ▼ をタッチして、旅行先を選ぶ。

旅行先がサマータイムのとき

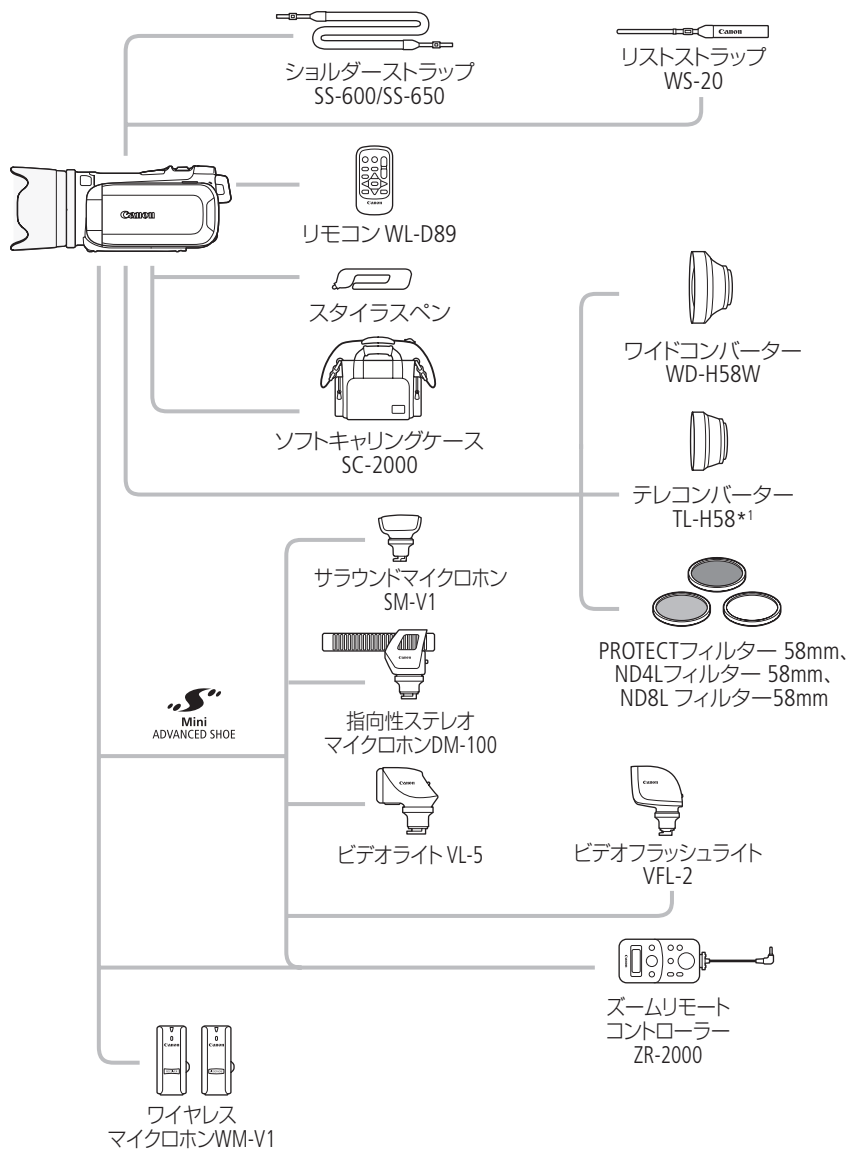
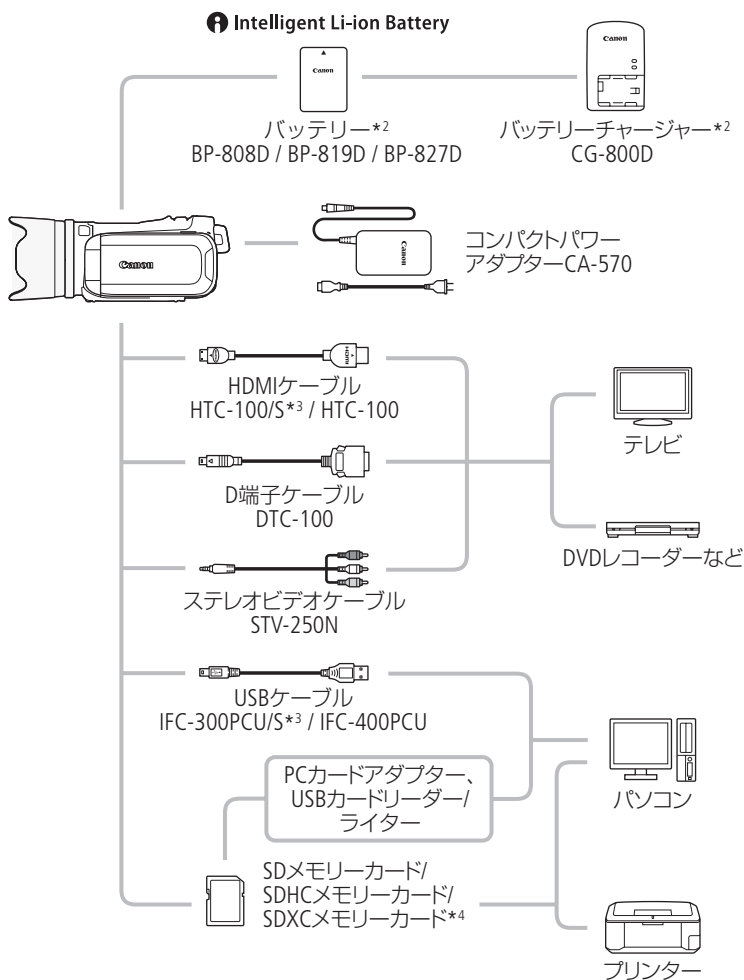
☀ をタッチする。

5. ⮌ をタッチする。
6. 上下にドラッグして、「日付/時刻」をタッチする。
7. 「時計を合わせる」（📖 31）の操作2を行う。
8. × をタッチする。

旅行から帰ってきたら

1. 上記の操作3で、🏠 をタッチする。
2. × をタッチする。

アクセサリー紹介

本機の付属品または別売品について紹介しています。

その他

*1 本機に取り付けると、ピントの合う距離はズームのT端で約1.3 mとなります。
*2 改正電気用品安全法の要求により、これら以外のバッテリー／バッテリーチャージャーは本機で使用できません。
*3 本機の付属品です。別売していません。
*4 ご使用の場合は、「SDXCメモリーカードをお使いになるときは」（📖 33）をあらかじめご確認ください。

- **アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。**
  本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。
- 従来の「アドバンストアクセサリーシュー」対応のアクセサリーは、本機の「ミニアドバンストシュー」には取り付けられません。本機には、右記のマークが表示されているミニアドバンストシュー対応アクセサリーをご利用ください。

インテリジェントリチウムイオンバッテリーについて

バッテリーパックBP-808Dは、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。インテリジェントシステムに対応したビデオカメラかバッテリーチャージャー CG-800D（別売）でのみ使用／充電できます。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

その他

主な仕様

iVIS HF G10本体

システム	
内蔵メモリー／ カード記録	動画： AVCHD規格 映像圧縮方法：MPEG4-AVC/H.264 音声圧縮方法：Dolby Digital 2ch、Dolby Digital 5.1ch*1 静止画： DCF準拠、Exif Ver2.2準拠 静止画圧縮方法：JPEG
信号方式	1080/60i方式*2
記録メモリー	内蔵メモリー（容量：32 GB）、 SD／SDHC／SDXCメモリーカード
録画／再生時間の目安（📖 247）	内蔵メモリー（MXP、FXP、XP+、SP、LP）： 2時間55分、4時間10分、5時間45分、 9時間35分、12時間15分 16 GBメモリーカード（MXP、FXP、XP+、SP、LP）： 1時間25分、2時間5分、2時間50分、 4時間45分、6時間5分
撮像素子	1/3型CMOS、総画素数 約237万画素 有効画素 動画／静止画： 約207万画素
液晶画面	3.5型TFTワイドカラー液晶（約92.2万ドット、視野率100％）、タッチパネル
ビューファインダー	0.24型ワイドカラー液晶（約26万ドット相当、視野率100％）
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=4.25 – 42.5mm F=1.8 – 2.8 光学10倍ズーム 虹彩絞り 35 mmフィルム換算時の焦点距離 動画／静止画： 約30.4 – 304 mm

*1 サラウンドマイクロホンSM-V1（別売）使用時。

*2 メニューの「フレームレート」を「PF24」または「PF30」に設定しているときは、60iに変換して記録します。

レンズ構成	10群12枚、非球面レンズ1枚（2面）使用
焦点調整	TTL自動焦点（TTL＋外部測距：ハイスピードAF選択時）、マニュアル調整可
フィルター径	58 mm
最短撮影距離	ワイド端2 cm、ズーム全域60 cm
ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、くもり、電球、蛍光灯、蛍光灯H、色温度、 セット（白取り込み）
最低被写体照度	0.1ルクス （ローライト（シーンモード）、シャッタースピード1/2秒時） 1.5ルクス （P（プログラムAE）モード（オートスローシャッターオン）、シャッタースピード1/30秒時）
推奨被写体照度	100ルクス以上
手ブレ補正機能	光学式

動画サイズ	MXP ／ FXP：　1920×1080 XP+ ／ SP ／ LP：　1440×1080
静止画サイズ	1920×1080

入・出力端子	
映像／音声出力端子 （AV OUT端子）	Φ3.5 mmステレオミニジャック、1 Vp-p ／ 75 Ω －10 dBv（47 kΩ負荷時）／ 3 kΩ以下
USB端子	mini-B、Hi-Speed USB
コンポーネント出力端子 （COMPONENT OUT端子）	Y：1 Vp-p、75 Ω Pb/Pr：±350 mV、75 Ω D3（1080i）対応、出力のみ、特殊D端子
HDMI OUT端子	HDMIミニコネクター、出力のみ、CEC対応、x.v.Color対応
ヘッドホン端子	Φ3.5 mmステレオミニジャック（AV OUT端子兼用）
音声入力端子	マイク端子：Φ3.5 mmステレオミニジャック（不平衡） 感度（MIC時）：－65 dBV（ボリュームオート、フルスケール－12 dB）／ 5 kΩ以上 感度（LINE時）：－30 dBV（ボリュームオート、フルスケール－12 dB）／ 5 kΩ以上 ATT：20 dB

電源その他	
電源電圧	DC7.4 V（バッテリーパック）、DC8.4 V（DC IN）
消費電力 （内蔵メモリー、 SPモード、AF合焦時）	液晶画面のみ使用時：　約3.1 W（明るさ標準） ビューファインダーのみ使用時：　約2.9 W
動作温度	約0 ℃ ～＋40 ℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約94×78×195 mm　（レンズフード含み、グリップベルト含まず）
撮影時総質量	約590 g　（BP-808D、メモリーカード（1枚）、レンズフード、グリップベルト含み、レンズキャップ含まず）
本体質量	約545 g　（レンズフード、グリップベルト含み、レンズキャップ含まず）

その他

付属品

コンパクトパワーアダプター CA-570	
電源	AC 100 V－240 V、50 ／ 60 Hz
出力／消費電力	公称DC8.4 V、1.5 A/29 VA（100 V）～ 39 VA（240 V）
使用温度	約0 ℃ ～＋40 ℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約52×29×90 mm
本体質量	約135 g

バッテリーパック BP-808D	
使用電池	リチウムイオン（インテリジェントリチウムイオンバッテリー）
使用温度	約0 ℃ ～＋40 ℃
公称電圧	DC7.4 V
公称容量	890 mAh
定格（最小）容量	6.3 Wh / 850 mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約30.7×23.3×40.2 mm
質量	約46g

■ バッテリーの充電時間／使用時間の目安

付属のバッテリー BP-808Dと別売のBP-819D / BP-827Dをフル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです。

内蔵メモリーに記録時

録画モード	使用時間	使用画面	BP-808D	BP-819D	BP-827D
MXP	連続撮影時間	液晶画面	1時間45分	3時間35分	5時間30分
		ビューファインダー	1時間50分	4時間00分	5時間50分
	実撮影時間	液晶画面	1時間00分	2時間15分	3時間20分
		ビューファインダー	1時間05分	2時間25分	3時間35分
	再生時間	液晶画面	2時間25分	5時間15分	7時間35分
FXP	連続撮影時間	液晶画面	1時間45分	3時間40分	5時間35分
		ビューファインダー	1時間55分	3時間55分	5時間55分
	実撮影時間	液晶画面	1時間05分	2時間20分	3時間25分
		ビューファインダー	1時間05分	2時間30分	3時間40分
	再生時間	液晶画面	2時間30分	5時間05分	7時間40分
XP+	連続撮影時間	液晶画面	1時間50分	3時間45分	5時間45分
		ビューファインダー	2時間00分	4時間00分	6時間10分
	実撮影時間	液晶画面	1時間05分	2時間25分	3時間30分
		ビューファインダー	1時間10分	2時間35分	3時間45分
	再生時間	液晶画面	2時間30分	5時間10分	7時間50分
SP	連続撮影時間	液晶画面	1時間50分	3時間50分	5時間45分
		ビューファインダー	2時間00分	4時間05分	6時間10分
	実撮影時間	液晶画面	1時間05分	2時間25分	3時間30分
		ビューファインダー	1時間10分	2時間35分	3時間45分
	再生時間	液晶画面	2時間30分	5時間10分	7時間55分
LP	連続撮影時間	液晶画面	1時間50分	3時間50分	5時間45分
		ビューファインダー	2時間00分	4時間05分	6時間10分
	実撮影時間	液晶画面	1時間05分	2時間25分	3時間30分
		ビューファインダー	1時間10分	2時間35分	3時間45分
	再生時間	液晶画面	2時間30分	5時間10分	7時間55分

メモリーカードに記録時

録画モード	使用時間	使用画面	BP-808D	BP-819D	BP-827D
MXP	連続撮影時間	液晶画面	1時間45分	3時間40分	5時間30分
		ビューファインダー	1時間55分	3時間55分	5時間55分
	実撮影時間	液晶画面	1時間05分	2時間20分	3時間25分
		ビューファインダー	1時間05分	2時間25分	3時間40分
	再生時間	液晶画面	2時間25分	5時間00分	7時間35分
FXP	連続撮影時間	液晶画面	1時間45分	3時間40分	5時間35分
		ビューファインダー	1時間55分	3時間55分	6時間00分
	実撮影時間	液晶画面	1時間05分	2時間20分	3時間25分
		ビューファインダー	1時間05分	2時間30分	3時間40分
	再生時間	液晶画面	2時間30分	5時間05分	7時間35分
XP+	連続撮影時間	液晶画面	1時間50分	3時間50分	5時間45分
		ビューファインダー	2時間00分	4時間05分	6時間10分
	実撮影時間	液晶画面	1時間05分	2時間25分	3時間30分
		ビューファインダー	1時間10分	2時間35分	3時間45分
	再生時間	液晶画面	2時間30分	5時間10分	7時間55分
SP	連続撮影時間	液晶画面	1時間50分	3時間50分	5時間50分
		ビューファインダー	2時間00分	4時間05分	6時間15分
	実撮影時間	液晶画面	1時間05分	2時間25分	3時間35分
		ビューファインダー	1時間10分	2時間35分	3時間50分
	再生時間	液晶画面	2時間35分	5時間15分	7時間55分
LP	連続撮影時間	液晶画面	1時間50分	3時間50分	5時間50分
		ビューファインダー	2時間00分	4時間05分	6時間15分
	実撮影時間	液晶画面	1時間05分	2時間25分	3時間35分
		ビューファインダー	1時間10分	2時間35分	3時間50分
	再生時間	液晶画面	2時間35分	5時間15分	8時間00分

* 実撮影時間とは撮影、撮影一時停止、電源の入／切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間です。
* 液晶画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。
* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

バッテリーは予定撮影時間の2 ～ 3倍分をご用意ください

ビデオカメラの消費電力はズームなどの操作によって変化します。そのため、上記の使用時間より短くなることがあります。

音楽ファイルについて

本機でビデオスナップなどに使う音楽は以下の形式です。
サンプリング周波数：48kHz
音声形式：リニアPCM
量子化ビット数：16bit
チャンネル数：2
再生時間：1秒以上
データ形式：WAV
フォトアプリケーション Ver.35 / 音楽データ / 画像ミックスデータディスク
└ MUSIC

音楽ファイルはパソコンで見ると、以下のように保存されます。

内蔵メモリーのとき

CANON
└ MY_MUSIC
  └ MUSIC_01～XX

カードのとき

CANON
└ PRIVATE
  └ MY_MUSIC
    └ MUSIC_01～XX

画像ミックスに使う画像ファイルについて

デコレーションの画像ミックスに使う画像は以下の形式です。

サイズ：1920×1080

データ形式：ベースラインJPEG

サンプリング比：4:2:2または4:2:0

フォトアプリケーション Ver.35 / 音楽データ / 画像ミックスデータディスク

└ MY_PICT

画像ファイルは、パソコンから以下の場所に保存します。

内蔵メモリーのとき

CANON
└ MY_PICT
　└ MIX_01～XX

カードのとき

CANON
└ PRIVATE
　└ MY_PICT
　　└ MIX_01～XX

Full HD 1080について

Full HD 1080とは垂直画素（走査線）数1080画素（本）のHD（High Definition）映像に対応しているキヤノン製ビデオカメラを示しています。

iVIS HF G10は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
iVIS HF G10は、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。ExifPrintは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。ExifPrint対応のプリンターで印刷することで、撮影時のカメラ情報を生かし、それを最適化して、よりきれいな印刷出力が得られます。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

索引

ア

カ

サ

タ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

その他

商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- 「x.v.Color」および「x.v.Color」ロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- "AVCHD"および"AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DCFロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- YouTubeはGoogle Inc.の商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本機器は、MicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。

MPEG-2使用許諾について

個人使用目的以外で、MPEG-2規格に適合した本機を、パッケージメディア用に映像情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許使用許諾を取得する必要があります。この特許使用許諾はMPEG LA, L.L.C.,（250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206 USA）から取得可能です。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

アフターサービス

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、本保証書を製品に添付のうえ弊社修理受付窓口、またはお買い上げ店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛りにつきましても、一部ご負担いただく場合があります。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理を依頼されるときは

- 故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は、十分な梱包でお送りください。

アフターサービス期間について

- ビデオカメラのアフターサービス期間は、製造打ち切り後8年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

修理について

修理に出すまえに

- 修理によっては、内蔵メモリーの初期化・交換をすることがあり、その場合、記録データはすべて消去されます。修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、不具合症状の再現・確認のために、必要最小限の範囲でメモリー内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。

修理のお問い合わせは

カメラ修理受付センター

050-555-99077（全国共通）

平日・土曜日 9:00～18:00

日曜日、祝日、年末年始、弊社休業日はお休みさせていただきます。

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようにお願いいたします。

上記電話番号をご利用になれない場合は、043-211-9316をご利用ください。

- 購入年月日、型名「iVIS HF G10」、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口（サービスセンター、修理センター）をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法（宅配便発送／弊社によるお引き取り）やお届けについてご案内いたします。

PIXELA社製ソフトウェアの使いかた

株式会社ピクセラ ユーザーサポートセンター

0120-727-231（固定電話用、無料）

0570-064-246（携帯電話用）

10:00～18:00（年末年始、祝日を除く）

※インストールに必要な認証コードの
自動発行サービスは、24時間受け付けております。

※上記番号をご利用になれない場合は、
FAX 06-6633-2992 をご利用ください。

使用方法に関するご相談窓口は

キヤノンお客様相談センター

050-555-90003（全国共通）

平日 9:00～20:00／土日祝日*10:00～17:00
*1月1日～1月3日を除く

※上記番号をご利用になれない方は043-211-9394を
ご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによって
つながらないことがあります。

キヤノンデジタルビデオカメラホームページ

キヤノンデジタルビデオカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されておりますので、インターネットをご利用の方はぜひお立ち寄りください。

デジタルビデオカメラ製品情報
http://canon.jp/ivis

キヤノン サポートページ
http://canon.jp/support

CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net/

■保証書は製品の箱に添付されています
保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

■本書の記載内容は2011年12月現在のものです
製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

リチウムイオン電池の
リサイクルにご協力ください。

PUB. DIJ-0368-000B